



令和4(2022)年度  
事業報告書

学校法人 麻布獣医学園



# 令和4(2022)年度 事業報告書

## 目 次

### I 法人の概要

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 建学の精神 .....             | 1  |
| 2. 沿革 .....                | 2  |
| 3. 設置する学校・学部・学科等 .....     | 4  |
| 4. 機構図 .....               | 5  |
| 5. 学生・生徒の状況 .....          | 6  |
| (1) 入学定員、収容定員、学生・生徒数 ..... | 6  |
| (2) 収容定員充足率の推移 .....       | 6  |
| (3) 入学者数の推移 .....          | 7  |
| (4) 専任教員一人当たりの学生数 .....    | 7  |
| (5) 非正規課程履修者 .....         | 7  |
| 6. 役員・評議員 .....            | 8  |
| (1) 役員 .....               | 8  |
| (2) 役員賠償責任保険契約の状況 .....    | 8  |
| (3) 評議員 .....              | 9  |
| 7. 教職員の状況 .....            | 10 |
| (1) 大学教員〔常勤〕 .....         | 10 |
| (2) 高等学校教員〔常勤〕 .....       | 11 |
| (3) 職員〔常勤〕 .....           | 11 |
| (4) 非常勤教職員 .....           | 11 |

### II 事業の概要

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 基本経営方針 ミッションステートメント ..... | 12 |
| 2. 将来に向けてのビジョン .....         | 12 |
| 3. 令和4年度事業計画の実施状況 .....      | 13 |
| 4. 教育研究の概要 .....             | 28 |
| (1) 教育実施体制 .....             | 29 |
| (2) 入学試験実施状況 .....           | 30 |
| (3) 卒業者・修了者数及び進路状況 .....     | 36 |
| (4) 国家試験 .....               | 40 |
| (5) 退学者数・中退率・留年者数 .....      | 41 |
| (6) 国際交流 .....               | 42 |
| (7) 研究・知的財産等 .....           | 43 |
| (8) 産官学連携 .....              | 46 |
| (9) 地域連携 .....               | 47 |
| (10) 麻布大学附属高等学校に関する情報 .....  | 49 |

### III 財務の概要

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 1. 学校法人会計の特徴と企業会計との比較 .....           | 51 |
| 2. 決算の概要 .....                        | 52 |
| 3. 財務比率の推移 .....                      | 57 |
| 4. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策 ..... | 67 |

# I 法人の概要

|        |                                                                   |
|--------|-------------------------------------------------------------------|
| 法人名    | 学校法人 麻布獣医学園                                                       |
| 理事長名   | 小倉 弘明                                                             |
| 所在地    | 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1 - 1 7 - 7 1                                      |
| 電話番号   | 042-754-7111(代表)                                                  |
| FAX 番号 | 042-754-7661(代表)                                                  |
| ホームページ | <a href="https://www.azabu-u.ac.jp">https://www.azabu-u.ac.jp</a> |

## 1. 建学の精神

### 「学理の討究と誠実なる実践」

本学は、創設者 與倉東隆（よくらはるたか）先生の建学の精神である、  
「学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、  
人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探究することを目的として、  
獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の知識を教授研究し、  
その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、  
平和社会の建設に貢献すること」としています。

## 2. 沿革

|                    |                                   |                     |                                                                   |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 明治23(1890)年<br>9月  | 東京獣医講習所開所<br>(現 東京都港区南麻布)         | 昭和 53(1978)年<br>11月 | 麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止                                               |
| 明治27(1894)年<br>4月  | 麻布獣医学校開設                          | 昭和 54(1979)年<br>6月  | 麻布公衆衛生短期大学廃止                                                      |
| 明治45(1912)年<br>3月  | 麻布獣医畜産学校と改称                       | 昭和 55(1980)年<br>4月  | 麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更                                                 |
| 大正 9(1920)年<br>9月  | 財団法人麻布獣医畜産学校設立                    |                     | 獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更                                        |
| 昭和 9(1934)年<br>4月  | 実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置             | 昭和 59(1984)年<br>4月  | 獣医学教育 6 年制発足 (学校教育法の一部改正による)                                      |
|                    | 財団法人麻布獣医専門学校と校名変更                 | 昭和 60(1985)年<br>10月 | 渕野辺高等学校を麻布大学附属渕野辺高等学校に名称変更認可                                      |
| 昭和19(1944)年<br>12月 | 麻布獣医畜産専門学校と改称                     | 昭和 63(1988)年<br>4月  | 麻布大学附置生物科学総合研究所設置                                                 |
| 昭和22(1947)年<br>6月  | 現在地 (神奈川県相模原市) に移転                | 平成元(1989)年<br>12月   | 獣医学部環境畜産学科、環境保健学部臨時定員増認可                                          |
| 昭和25(1950)年<br>2月  | 新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園     | 平成 2(1990)年<br>4月   | 麻布大学大学院獣医学研究科博士課程 (4 年制) 開設                                       |
| 4月                 | 麻布獣医科大学として開学                      | 平成 5(1993)年<br>4月   | 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 開設                                   |
| 昭和26(1951)年<br>3月  | 財団法人から学校法人へ改組、学校法人麻布獣医学園となる       | 平成 6(1994)年<br>4月   | 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設                                 |
| 昭和27(1952)年<br>3月  | 麻布獣医畜産専門学校廃止                      |                     | 麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組                                     |
| 昭和32(1957)年<br>4月  | 麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設               |                     | 麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止                                                |
| 昭和35(1960)年<br>4月  | 麻布獣医科大学大学院修士課程開設                  | 平成 7(1995)年<br>4月   | 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 開設                                   |
| 昭和36(1961)年<br>5月  | 麻布獣医学園渕野辺高等学校開校                   | 平成 8(1996)年<br>4月   | 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 開設                                 |
| 昭和37(1962)年<br>4月  | 麻布獣医科大学大学院博士課程開設                  | 平成 9(1997)年<br>7月   | 麻布大学附属動物管理センター設置                                                  |
| 昭和40(1965)年<br>4月  | 麻布公衆衛生短期大学開学                      |                     | 麻布大学大学学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更                                    |
| 昭和51(1976)年<br>4月  | 麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科開設               | 平成 10(1998)年<br>4月  | 麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更                               |
| 昭和53(1978)年<br>4月  | 麻布獣医科大学環境保健学部 (環境保健学科及び衛生技術学科) 開設 | 12月                 | 麻布大学獣医学部動物応用科学科、環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可 (平成 11 年度まで) |

|                   |                                                                                      |                    |                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 平成11(1999)年<br>3月 | 麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可                                                                   | 平成 27(2015)年<br>9月 | 麻布大学いのちの博物館開館                                                      |
| 4月                | 麻布大学環境保健学部環境政策学科開設                                                                   | 平成 28(2016)年<br>3月 | 麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）廃止                                    |
| 7月                | 麻布大学獣医学部動物応用科学科、環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成 16 年度まで）                     | 4月                 | 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程収容定員変更                                  |
|                   | 麻布大学獣医学部動物応用科学科、環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員の廃止に伴う収容定員増に係る学則変更認可                     | 平成 29(2017)年<br>4月 | 麻布大学獣医学部動物応用科学科収容定員変更                                              |
| 10月               | 麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可                                                   | 令和 3(2021)年<br>4月  | 麻布大学フィールドワークセンター（島根県美郷町）開設                                         |
|                   |                                                                                      | 令和 3(2021)年<br>10月 | 大学教育推進機構を設置し、同機構の下に教育推進センター、教育方法開発センター、データサイエンスセンター及び教学 IR センターを設置 |
| 平成12(2000)年<br>4月 | 麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し、麻布大学附属学術情報センターを設置                                       | 令和 4(2022)年<br>12月 | DEI 推進センター設置                                                       |
| 平成15(2003)年<br>4月 | 麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）開設                                                      |                    |                                                                    |
| 平成18(2006)年<br>7月 | 麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可                                                       |                    |                                                                    |
| 平成19(2007)年<br>4月 | 麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更                                                   |                    |                                                                    |
|                   | 麻布大学附属教育推進センター設置                                                                     |                    |                                                                    |
| 平成20(2008)年<br>4月 | 麻布大学環境保健学部を改組し、生命・環境科学部臨床検査技術学科、食品生命科学科及び環境科学科を開設（環境保健学部健康環境科学科、衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止） |                    |                                                                    |
|                   | 麻布大学研究推進・支援本部を設置                                                                     |                    |                                                                    |
| 平成25(2013)年<br>3月 | 麻布大学環境保健学部（健康環境科学科、衛生技術学科及び環境政策学科）を廃止                                                |                    |                                                                    |
| 平成26(2014)年<br>4月 | 麻布大学附属刈野辺高等学校を麻布大学附属高等学校に名称変更                                                        |                    |                                                                    |
| 平成27(2015)年<br>4月 | 麻布大学地域連携センター設置                                                                       |                    |                                                                    |

### 3. 設置する学校・学部・学科等

#### 大 学

学 部・学 科

大 学 院

研 究 科

#### 麻布大学

獣医学部（獣医学科、動物応用科学科）

生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）

麻布大学大学院

獣医学研究科

獣医学専攻（博士課程）

動物応用科学専攻（博士前期課程、博士後期課程）

環境保健学研究科

環境保健科学専攻（博士前期課程、博士後期課程）

設置認可年月

昭和 25(1950)年 2 月

学 長 名

川上 泰

所 在 地

神奈川県相模原市中央区淵野辺 1 - 1 7 - 7 1

目 的

〔大学〕

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献する。

〔大学院〕

建学の精神に則り、学部における教育の基礎の上に、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、高い技術力及び研究指導能力を養い、また、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する。

#### 高等学校

課 程・学 科

#### 麻布大学附属高等学校

全日制課程 普通科

設置認可年月

昭和 36(1961)年 5 月

校 長 名

飯田 敦往

所 在 地

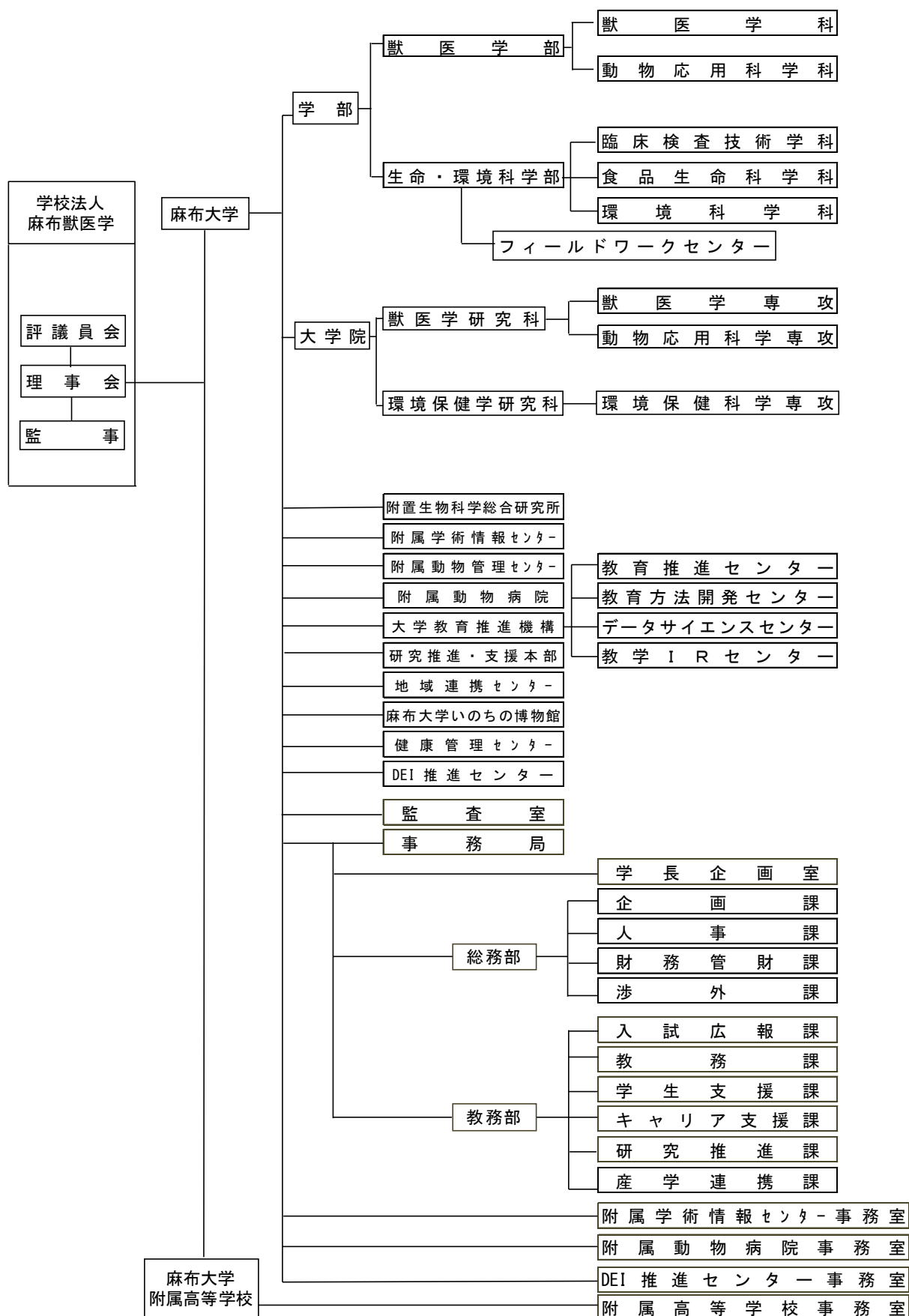
神奈川県相模原市中央区淵野辺 1 - 1 7 - 5 0

目 的

教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施す。

## 4. 機構図

令和 5(2023)年 5 月 1 日現在



## 5. 学生・生徒の状況

令和5(2023)年5月1日現在

## (1) 入学定員、収容定員、学生・生徒数

(人)

| 学部・学科等 |                         |           | 入学<br>定員 | 収容<br>定員 | 学生・生徒数 |     |     |     |     |     |       |       |
|--------|-------------------------|-----------|----------|----------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
|        |                         |           |          |          | 1年次    | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 合計    |       |
| 学部     | 学 獣<br>部 医              | 獣医学学科     |          | 120      | 720    | 170 | 162 | 140 | 154 | 134 | 144   | 904   |
|        |                         | 動物応用科学科   |          | 130      | 520    | 188 | 141 | 125 | 122 | —   | —     | 576   |
|        |                         | 小計        |          | 250      | 1,240  | 358 | 303 | 265 | 276 | 134 | 144   | 1,480 |
|        | 境 生 命<br>科 学 ・ 環<br>部 境 | 臨床検査技術学科  |          | 80       | 320    | 132 | 102 | 88  | 80  | —   | —     | 402   |
|        |                         | 食品生命科学科   |          | 80       | 320    | 59  | 46  | 65  | 52  | —   | —     | 222   |
|        |                         | 環境科学科     |          | 80       | 320    | 79  | 77  | 55  | 65  | —   | —     | 276   |
|        |                         | 小計        |          | 240      | 960    | 270 | 225 | 208 | 197 | —   | —     | 900   |
|        | 学部計                     |           |          | 490      | 2,200  | 628 | 528 | 473 | 473 | 134 | 144   | 2,380 |
| 研究科    | 研 獣 医<br>究 科 学          | 獣医学専攻博士課程 |          | 10       | 40     | 7   | 12  | 5   | 5   | —   | —     | 29    |
|        |                         | 動物応用科学専攻  | 博士前期課程   | 20       | 40     | 35  | 22  | —   | —   | —   | —     | 57    |
|        |                         |           | 博士後期課程   | 4        | 12     | 3   | 1   | 1   | —   | —   | —     | 5     |
|        |                         | 小計        |          | 34       | 92     | 45  | 35  | 6   | 5   | —   | —     | 91    |
|        | 環 境 保 健<br>究 科 学 研      | 環境保健科学専攻  | 博士前期課程   | 7        | 14     | 9   | 10  | —   | —   | —   | —     | 19    |
|        |                         |           | 博士後期課程   | 2        | 6      | 1   | 2   | 0   | —   | —   | —     | 3     |
|        |                         | 小計        |          | 9        | 20     | 10  | 12  | 0   | —   | —   | —     | 22    |
|        | 研究科計                    |           |          | 43       | 112    | 55  | 47  | 6   | 5   | —   | —     | 113   |
|        | 附属高等学校                  |           |          | 258      | 774    | 269 | 372 | 305 | —   | —   | —     | 946   |
| 総合計    |                         |           | 791      | 3,086    | 952    | 947 | 784 | 478 | 134 | 144 | 3,439 |       |

## (2) 収容定員充足率の推移

(%)

各年度の5月1日時点

| 学部・学科 |                 |          | 令和5<br>年度 | 令和4<br>年度 | 令和3<br>年度 | 令和2<br>年度 | 令和元<br>年度 |
|-------|-----------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 学部    | 学 獣 医 部         | 獣医学科     | 125.6%    | 121.8%    | 122.5%    | 120.4%    | 120.4%    |
|       |                 | 動物応用科学科  | 110.8%    | 106.0%    | 104.2%    | 110.8%    | 115.3%    |
|       | 生 命 ・ 環 境 科 学 部 | 臨床検査技術学科 | 125.6%    | 119.4%    | 120.3%    | 119.4%    | 117.8%    |
|       |                 | 食品生命科学科  | 69.4%     | 79.1%     | 93.8%     | 104.4%    | 109.1%    |
|       |                 | 環境科学科    | 86.3%     | 90.3%     | 94.4%     | 104.1%    | 104.4%    |

| 大学院             |          |        | 令和5<br>年度 | 令和4<br>年度 | 令和3<br>年度 | 令和2<br>年度 | 令和元<br>年度 |
|-----------------|----------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 研 獣 医 科 学       | 獣医学専攻    | 博士課程   | 72.5%     | 75.0%     | 55.0%     | 65.0%     | 77.5%     |
|                 |          | 博士前期課程 | 142.5%    | 125.0%    | 97.5%     | 67.5%     | 80.0%     |
|                 | 動物応用科学専攻 | 博士前期課程 | 41.7%     | 16.7%     | 33.3%     | 50.0%     | 58.3%     |
|                 |          | 博士後期課程 | 41.7%     | 16.7%     | 33.3%     | 50.0%     | 58.3%     |
| 学 環 境 保 健 科 学 部 | 環境保健科学専攻 | 博士前期課程 | 135.7%    | 157.1%    | 150.0%    | 128.6%    | 121.4%    |
|                 |          | 博士後期課程 | 50.0%     | 50.0%     | 33.3%     | 66.7%     | 66.7%     |



## (3) 入学者数の推移

(人)

各年度の5月1日時点

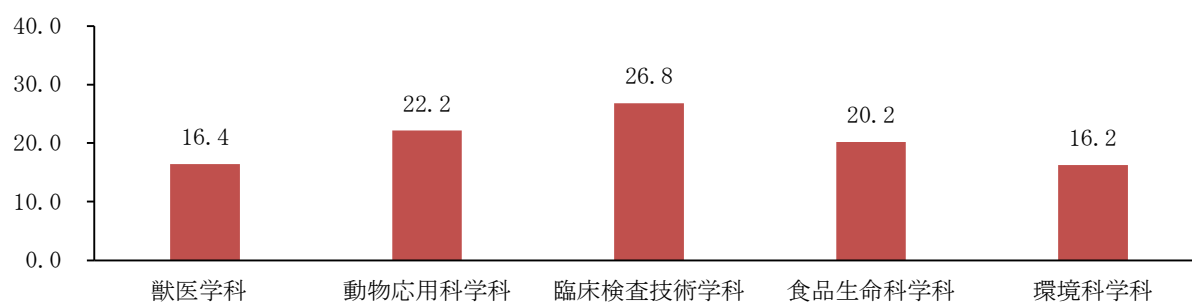
| 学部・学科 |          |          | 令和5年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 学部    | 獣医学部     | 獣医学科     | 163   | 146   | 154   | 148   | 133   |
|       |          | 動物応用科学科  | 171   | 153   | 135   | 137   | 145   |
|       | 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 119   | 99    | 99    | 97    | 91    |
|       |          | 食品生命科学科  | 57    | 49    | 57    | 74    | 78    |
|       |          | 環境科学科    | 70    | 77    | 60    | 83    | 86    |

| 大学院     |          |        | 令和5年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|---------|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 研究獣医学   | 獣医学専攻    | 博士課程   | 6     | 9     | 9     | 5     | 7     |
|         |          | 博士前期課程 | 34    | 23    | 25    | 15    | 15    |
|         | 動物応用科学専攻 | 博士後期課程 | 3     | 1     | 1     | 0     | 2     |
| 学環境研究保健 | 環境保健科学専攻 | 博士前期課程 | 9     | 10    | 12    | 9     | 9     |
|         |          | 博士後期課程 | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |

※令和4年度までの10月期入学者を含む。

## (4) 専任教員一人当たりの学生数 (人)

令和5(2023)年5月1日現在



※1 獣医学科には附属動物病院及び大学教育推進機構(教学 IR センター)所属の専任教員、動物応用科学科には基礎教育系及び附置生物科学総合研究所所属の専任教員、環境科学科には国際コミュニケーション、教職課程、フィールドワークセンター及び数理・データサイエンス所属の専任教員をそれぞれ含む。

※2 学長及び特任教員Ⅰ種～Ⅳ種及びⅥ種は除き、特任教員Ⅴ種は含む。

## (5) 非正規課程履修者 (人)

令和5(2023)年5月1日現在

| 区分         | 獣医学部 | 生命・環境科学部 | 獣医学研究科 | 環境保健学研究科 | 動物病院 | 合計  |
|------------|------|----------|--------|----------|------|-----|
| 研究生        | 16   | 6        |        |          |      | 22  |
| 研修生        | 1    |          |        |          |      | 1   |
| 研修獣医師      |      |          |        |          | 73   | 73  |
| 聴講生        | 1    |          |        |          |      | 1   |
| 科目等履修生     | 2    | 3        |        |          |      | 5   |
| 外国人研究生     |      |          |        |          |      | 0   |
| 特別聴講学生(受入) |      |          |        |          |      | 0   |
| 特別研究学生(受入) |      |          |        |          |      | 0   |
| 合計         | 20   | 9        | 0      | 0        | 73   | 102 |

※ 特別聴講学生、特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は、両研究科ともになし。

## 6. 役員・評議員

令和 5(2023)年 5 月 1 日現在

|     | 任期 | 定数     | 現員  |
|-----|----|--------|-----|
| 理事  | 4年 | 9～12人  | 11人 |
| 監事  | 4年 | 2人     | 2人  |
| 評議員 | 4年 | 28～34人 | 33人 |

## (1) 役員

| 理事<br>監事 | 氏名   | 常勤<br>非常勤 | 担当職務                      | 業務<br>執行<br>役員 | 現職等                       | 就任年月日<br>(重任年月日)         | 寄附<br>行為   | 選任区分              | 備考                 |
|----------|------|-----------|---------------------------|----------------|---------------------------|--------------------------|------------|-------------------|--------------------|
| 理事       | 小倉弘明 | 非常勤       | 理事長                       | ●              | 全国肉用牛振興基金協会専務理事           | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第5号 | 学識経験者<br>(理事会選任)  | 理事長就任:<br>令和3年9月1日 |
| 理事       | 川上 泰 | 常勤        | 学長理事                      | ●              | 大学長                       | 平成28年6月1日<br>(令和3年11月1日) | 第8条<br>第1号 | 大学長               |                    |
| 理事       | 飯田敦往 | 常勤        | 校長理事                      | ●              | 高等学校長                     | 令和元年9月4日                 | 第8条<br>第2号 | 高等学校長             |                    |
| 理事       | 村上 賢 | 常勤        | 総務担当                      | ●              | 教授                        | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第3号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 佐原弘益 | 常勤        | 財務担当、<br>情報化推進、<br>学術研究担当 | ●              | 教授                        | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第3号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 折戸謙介 | 常勤        | 動物病院、<br>産学・社会連携<br>担当    | ●              | 教授                        | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第3号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 有賀 誠 | 非常勤       |                           |                | 開業獣医師                     | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第4号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 柴田武志 | 非常勤       |                           |                | 開業獣医師                     | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第4号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 函城悦司 | 非常勤       |                           |                | 兵庫県淡路獣医師会<br>会長           | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第4号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 小澄正敬 | 非常勤       |                           |                | 熊本県獣医師会会<br>長             | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第4号 | 評 議 員<br>(評議員会選任) |                    |
| 理事       | 林 徹  | 非常勤       |                           |                | 共栄火災海上保険<br>株式会社顧問        | 令和2年6月15日                | 第8条<br>第5号 | 学識経験者<br>(理事会選任)  |                    |
| 監事       | 小林正明 | 非常勤       |                           |                | 中間貯蔵・環境安<br>全事業株式会社社<br>長 | 令和2年6月15日                | 第9条        |                   |                    |
| 監事       | 佐藤 隆 | 非常勤       |                           |                | —                         | 令和2年6月15日                | 第9条        |                   |                    |

## (2) 役員賠償責任保険契約の状況

本学園は、私立学校法第44条の5で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する「役員賠償責任保険契約」を保険会社との間で締結し、当該保険により被保険者の職務執行に関し被保険者が負う損害賠償責任に関する費用等を補填することとしております。

加入する保険 : 役員賠償責任保険  
 契約者(団体) : 日本私立大学協会  
 引受保険会社 : 東京海上日動火災保険株式会社  
 加入期間 : 令和4年4月1日～令和5年4月1日  
 被保険者 : 理事、監事及び評議員

## (3) 評議員

| 氏名    | 就任年月日<br>(重任年月日)         | 寄附行為    | 選任区分              | 備考                                                          |
|-------|--------------------------|---------|-------------------|-------------------------------------------------------------|
| 白石政美  | 平成21年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               | 議長                                                          |
| 佐藤 泰  | 平成24年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               | 副議長                                                         |
| 五十嵐祐  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 折戸謙介  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              | 評議員会選任理事                                                    |
| 柏崎直巳  | 平成18年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 菊水健史  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 栗林尚志  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 齋藤眞砂子 | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 佐原弘益  | 平成28年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第1号 | 法人職員              | 評議員会選任理事                                                    |
| 武田 守  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 長井 誠  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 増田雄一  | 令和2年6月1日                 | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 村上 賢  | 平成24年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第1号 | 法人職員              | 評議員会選任理事                                                    |
| 柳原新太郎 | 平成24年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第1号 | 法人職員              |                                                             |
| 高橋 徹  | 平成12年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 佐々木亨  | 令和2年6月1日                 | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 安中憲治  | 令和2年6月1日                 | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 有賀 誠  | 平成18年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               | 評議員会選任理事                                                    |
| 横尾清文  | 平成24年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 柴田武志  | 平成28年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               | 評議員会選任理事                                                    |
| 函城悦司  | 平成28年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               | 評議員会選任理事                                                    |
| 松田芳行  | 令和2年6月1日                 | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 松家芳実  | 平成24年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 小澄正敬  | 令和2年6月1日                 | 第18条第2号 | 卒業者               | 評議員会選任理事                                                    |
| 佐藤正広  | 平成28年6月1日<br>(令和2年6月1日)  | 第18条第2号 | 卒業者               |                                                             |
| 小倉弘明  | 令和2年6月8日                 | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) | 理事会選任理事、理事長                                                 |
| 内山武史  | 令和2年6月8日                 | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) |                                                             |
| 谷川 力  | 令和2年6月8日                 | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) |                                                             |
| 中田祐児  | 平成28年6月1日<br>(令和2年6月8日)  | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) |                                                             |
| 林 徹   | 令和2年6月8日                 | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) | 理事会選任理事                                                     |
| 村上 昇  | 令和2年6月8日                 | 第18条第3号 | 学識経験者<br>(評議員会選任) |                                                             |
| 川上 泰  | 平成24年6月1日<br>(令和3年11月1日) | 第18条第4号 | 大学長               | 兼理事 平成24年6月1日～令和3年10月31日寄附行為第18条第1号評議員、令和3年11月1日～第18条第4号評議員 |
| 飯田敦往  | 平成30年4月1日<br>(令和5年4月1日)  | 第18条第5号 | 高等学校長             | 兼理事                                                         |

## 7. 教職員の状況

令和 5(2023)年 5 月 1 日現在

## (1) 大学教員〔常勤〕

(人)

| 学部・学科等     |             | 学長 |   | 教授     |     | 准教授  |     | 講師   |     | 助教 |   | 助手 |   | 特任教員 |    | 合計     |
|------------|-------------|----|---|--------|-----|------|-----|------|-----|----|---|----|---|------|----|--------|
|            |             | 男  | 女 | 男      | 女   | 男    | 女   | 男    | 女   | 男  | 女 | 男  | 女 | 男    | 女  |        |
| 学長         |             | 1  | 0 | —      | —   | —    | —   | —    | —   | —  | — | —  | — | —    | —  | 1      |
| 獣医学部       | 獣医学科        | —  | — | 19     | 2   | 9    | 2   | 12   | 5   | 5  | 1 | 0  | 0 | 0    | 0  | 55     |
|            | 動物応用科学科     | —  | — | 8      | 0   | 5    | 2   | 2    | 2   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 2  | 21     |
|            | 基礎教育系       | —  | — | 2      | 0   | 3    | 0   | 1    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 6      |
|            | 寄附講座        | —  | — | (2)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (2)    |
|            | 小計          | —  | — | 29 (2) | 2   | 17   | 4   | 15   | 7   | 5  | 1 | 0  | 0 | 0    | 2  | 82 (2) |
| 生命・環境科学部   | 臨床検査技術学科    | —  | — | 4      | 2   | 6    | 0   | 0    | 1   | 2  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 15     |
|            | 食品生命科学科     | —  | — | 4      | 1   | 2    | 1   | 1    | 2   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 1  | 12     |
|            | 環境科学科       | —  | — | 4 (1)  | 1   | 2    | 0   | 1    | 0   | 0  | 2 | 0  | 0 | 0    | 1  | 11 (1) |
|            | 国際コミュニケーション | —  | — | (1)    | 0   | 0    | 0   | 1    | 1   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 2 (1)  |
|            | フィールドワーク    | —  | — | 1      | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 1      |
|            | 数理・データサイエンス | —  | — | (1)    | 0   | 1    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 1 (1)  |
|            | 教職課程        | —  | — | 2      | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 2      |
|            | 寄附講座        | —  | — | (2)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 1  | 1 (2)  |
|            | 小計          | —  | — | 15 (5) | 4   | 11   | 1   | 3    | 4   | 2  | 2 | 0  | 0 | 0    | 3  | 45 (5) |
| 大学院        | 獣医学研究科      | —  | — | (29)   | (1) | (14) | (4) | (9)  | (5) | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (62)   |
|            | 環境保健学研究科    | —  | — | (14)   | (4) | (10) | (1) | (3)  | (4) | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (36)   |
|            | 小計          | —  | — | (43)   | (5) | (24) | (5) | (12) | (9) | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (98)   |
| 附置生物科学総合研究 |             | —  | — | 1 (3)  | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 1 (3)  |
| 附属学術情報センター |             | —  | — | 0      | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 0      |
| 附属動物管理センター |             | —  | — | 0      | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | 0      |
| 附属動物病院     |             | —  | — | (2)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 7    | 8  | 15 (2) |
| 寄附講座       |             | —  | — | (2)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 1    | 0  | 1 (2)  |
| 大学教育推進機構   |             | —  | — | (4)    | (1) | 0    | 0   | 0    | 1   | 0  | 0 | 0  | 0 | 2    | 1  | 4 (5)  |
| 研究推進・支援本部  |             | —  | — | (1)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (1)    |
| 地域連携センター   |             | —  | — | (1)    | 0   | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (1)    |
| 健康管理センター   |             | —  | — | 0      | (1) | 0    | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (1)    |
| DEI推進センター  |             | —  | — | 0      | 0   | (1)  | 0   | 0    | 0   | 0  | 0 | 0  | 0 | 0    | 0  | (1)    |
| 合計         |             | 1  | 0 | 45     | 6   | 28   | 5   | 18   | 12  | 7  | 3 | 0  | 0 | 10   | 14 | 149    |

麻布大学 教員〔常勤〕

平均年齢 46.8 歳

- ( )は兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。
- 附属施設の長は兼務者とする。また、副病院長、寄附講座等責任者、寄附講座等教員も兼務者とする。

## (2) 高等学校教員〔常勤〕(人)

令和5(2023)年5月1日現在

|        | 校長 |   | 副校長 |   | 教頭 |   | 教諭 |    | 契約講師 |   | 合計 |
|--------|----|---|-----|---|----|---|----|----|------|---|----|
|        | 男  | 女 | 男   | 女 | 男  | 女 | 男  | 女  | 男    | 女 |    |
| 附属高等学校 | 1  | 0 | 1   | 0 | 1  | 0 | 33 | 12 | 2    | 0 | 50 |

麻布大学附属高等学校 教員〔常勤〕 平均年齢 40.4 歳

## (3) 職員〔常勤〕(人)

令和5(2023)年5月1日現在

|        | 事務局長 |   | 事務局次長 |   | 部長 |   | 課長・事務長<br>室長・主監 |   | 計 |
|--------|------|---|-------|---|----|---|-----------------|---|---|
|        | 男    | 女 | 男     | 女 | 男  | 女 | 男               | 女 |   |
| 麻布大学   | 1    | 0 | 0     | 1 | 1  | 0 | 15              | 3 |   |
| 附属高等学校 | 0    | 0 | 0     | 0 | 0  | 0 | 0               | 1 |   |
| 合計     | 1    | 0 | 0     | 1 | 1  | 0 | 15              | 4 |   |

|        | 補佐 |   | 主査 |   | 主任 |   | 一般職 |   | 契約職員 |   | 計  |
|--------|----|---|----|---|----|---|-----|---|------|---|----|
|        | 男  | 女 | 男  | 女 | 男  | 女 | 男   | 女 | 男    | 女 |    |
| 麻布大学   | 2  | 1 | 14 | 5 | 13 | 5 | 8   | 7 | 1    | 7 | 84 |
| 附属高等学校 | 0  | 0 | 0  | 1 | 2  | 0 | 0   | 0 | 0    | 0 | 4  |
| 合計     | 2  | 1 | 14 | 6 | 15 | 5 | 8   | 7 | 1    | 7 | 88 |

麻布大学 職員〔常勤〕 平均年齢 42.3 歳

麻布大学附属高等学校 職員〔常勤〕 平均年齢 39.5 歳

## 常勤教職員【(1)～(3)の実人数の合計と平均年齢】

|                          |                         |                            |
|--------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 男 204 人<br>(平均年齢 45.3 歳) | 女 82 人<br>(平均年齢 41.9 歳) | 総合計 286 人<br>(平均年齢 44.3 歳) |
|--------------------------|-------------------------|----------------------------|

## (4) 非常勤教職員(人)

令和5(2023)年5月1日現在

| 学部等      | 非常勤講師 | 非常勤職員 | 合 計 |
|----------|-------|-------|-----|
| 獣医学部     | 43    | 33    | 76  |
| 生命・環境科学部 | 43    | 11    | 54  |
| 附属高等学校   | 30    | 1     | 31  |
| 事務組織     | 0     | 40    | 40  |
| 合 計      | 116   | 85    | 201 |

1. 非常勤講師欄は、両学部を兼務していても代表身分に片寄せした実人数である。
2. 非常勤講師には、後期のみ授業を担当する者及び業務委託による講師を含む。
3. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

## II 事業の概要

### 1. 基本経営方針 ミッションステートメント

私たちは、学生・生徒の成長を第一に考え、「学理の討究と誠実なる実践」を建学の精神とし、人と動物と環境の共生を探究する「地球共生系」の実現を目指すことを教育理念に掲げ、常に学生・生徒の夢と希望を正面から受け止め、社会の変化を見通して、社会に貢献するよう、教育研究を実践していきます。

### 2. 将来に向けてのビジョン

学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [令和 3 (2021) 年度～令和 7 (2025) 年度]

麻布獣医学園の中期目標・中期計画は、平成 16 年度に第 1 期を策定以来、令和 2 年度までに 5 年又は 6 年ごとに 3 期に渡り策定・遂行してきました。

第 4 期中期目標・中期計画は、令和 3(2021)年度からの 5 年間とし、令和 7(2025)年度に学園創立 135 周年を迎える上で、以下のとおり学園の諸課題及び取り組むべき事項を整理し策定しました。

《学園の課題》

- ・教育の質の転換（「一律の学生対応」から「個々の学生対応」への取組等）
- ・数値目標（KPI）の設定と PDCA の実施
- ・教職員の共通理解と学園運営への参画
- ・将来を見越した財政基盤の確立
- ・次期認証評価の結果を反映できるよう、受審サイクルに適した中期計画の想定

《社会の状況》

- ・少子高齢化、入学定員の厳格化、私学助成の多様化、大学版ガバナンスコードの策定
- ・ICT 教育、SDGs、Society5.0、グローバル化、新型コロナウイルス禍での新たな教育への発展等

《私立学校法改正（令和 2(2020).4.1 施行）への対応》

- ・中期的計画が義務化（期間：原則 5 年以上）
- ・認証評価（指摘された改善事項含む）の結果を踏まえたもの
- ・評議員会での意見聴取
- ・データやエビデンスに基づく計画の作成等

第 4 期は、これらの諸課題を踏まえ『時代を切り拓くフロントランナーの育成【実践の最前線で活躍できる人材を送り出す、時代に即した「実学の麻布」を達成する（5A-2025）】』を第 4 期の Vision に掲げ、学園創立 150 周年を迎える 2040 年（18 歳人口が現在の 7 割となる 88 万人）においても、社会から高い評価を受ける学園の礎を築くための 5 年間と位置づけます。

学校法人麻布獣医学園 第4期中期目標・中期計画（令和3年度～令和7年度）

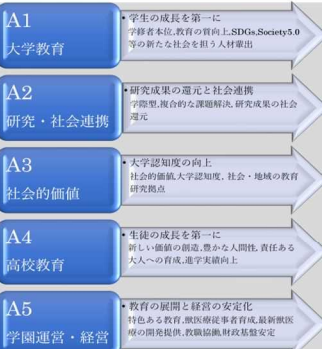
Vision

時代を切り拓くフロントランナーの育成・時代に即した「実学の麻布」の達成

## Vision達成に向けた5つの方針



Vision 達成のための 5 つの方針 (5A)



令和3年度～令和7年度のスケジュール



～「実学の麻布」としての5つの方針～（5A-2025）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建学の精神           | 学理の討究と誠実なる実践                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ミッション<br>(教育理念) | 大 学：人と動物と環境の共生を追求する「地球共生系」の実現<br>高 校：夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の下、平和社会に貢献する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ビジョン            | 時代を切り拓くフロントランナーの育成<br>実践の最前線で活躍できる人材を送り出す、時代に即した「実学の麻布」を達成する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ビジョン達成に向けた5A    | <b>A1 大学教育《学生の成長を第一に》～Academic Policy～</b><br>(1) 学修者本位の教育への転換により、学生の成長を第一に考え、真摯に教育と向き合い、教育の質の向上と教育改革を進める。<br>(2) 時代に求められる学問分野に視野を広げ、SDGs、Society5.0等の社会環境で実践できる新たな社会を担う人材を輩出する。<br><br><b>A2 研究・社会連携《研究成果の還元と社会連携》～Advanced Research～</b><br>(1) 地球共生系、One Healthの実現に向けた「実学の麻布」として、時代の先駆けとなる研究ならびに社会・地域と連携した研究を推進する。<br>(2) 学際型（教員間の連携、学部横断型）の取組、産業界との共同研究等により、複合的な課題を解決できる研究を推進するとともに、研究成果を学修者・社会・地域へ還元する。<br><br><b>A3 社会的価値《大学認知度の向上》～Abundant Value～</b><br>(1) 教育、研究、社会貢献活動の取組を適切に発信し、学園の社会的価値及び大学認知度を向上させて、持続可能な社会の実現に向けて、社会や地域における教育や研究の拠点となる。<br><br><b>A4 高校教育《生徒の成長を第一に》～Affiliated High School～</b><br>(1) 生徒の成長を第一に考えた多彩な教育プログラムを構築し、ICTを活用した主体的・協同的な授業の実践により、新しい価値を創造できる人材を育成する。<br>(2) 文武両道を基軸に、人権を尊重する豊かな人間性を育み、責任ある大人へと成長させる学校として社会に貢献する。<br>(3) 新しい社会を見据えた実践的なキャリア教育を推進し、生徒の進路意識の醸成及び高大接続改革を踏まえて進学実績を向上させる。<br>(4) インターネットを効果的に活用した広報活動を展開し、定員充足を基本とした入学数を確保する。<br><br><b>A5 学園運営・経営《教育の展開と経営の安定化》～Activation of organization～</b><br>(1) 特色ある教育を推進し、持続的に発展する学園の財政基盤の礎を構築する。<br>(2) 附属動物病院においては、教育病院として学修者の育成と最新の獣医療の開発・提供に励み、社会・地域への貢献と学園運営に寄与する動物病院経営を推進する。<br>(3) 教職員の人材育成を推進し教職協働を深化させ、教職員の情熱と努力により、学園運営の活性化を推進する。 |

## 3. 令和4年度事業計画の実施状況

令和4年度は、第4期中期目標・中期計画（令和3年度～令和7年度の5年間）の2年目の事業計画に取り組みました。

本学園では、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止への継続的な対応の中、各部局において86件の事業計画（アクションプラン）を遂行し、学生・生徒の成長を第一に時代に即した教育を提供し、学園運営・経営の安定化に努めました。



## 〈学校法人麻布獣医学園 令和4年度事業計画一覧（第4期中期目標・中期計画アクションプラン）〉

| 計画<br>No.     | A1<br>大学教育              | 計画<br>No.     | A2<br>研究・社会連携          | 計画<br>No.    | A3<br>社会的価値             | 計画<br>No.    | A4<br>高校教育  | 計画<br>No.     | A5<br>学園運営・経営           |
|---------------|-------------------------|---------------|------------------------|--------------|-------------------------|--------------|-------------|---------------|-------------------------|
| A11101<br>★重点 | 学修ポートフォリオの導入と普及         | A21101<br>重点  | 査読付論文3本／3年を実現する教員割合増加  | A31101<br>重点 | 地域と連携した動物保護体制の支援        | A41101<br>重点 | I C T 教育の推進 | A51101<br>重点  | 入学定員の確実な確保（一般入試・共通テスト）  |
| A11102        | 在学生調査の実施・調査結果の活用        | A21201        | 社会・地域と連携した実践教育         | A31102       | 包括協定に基づく活動の強化（市民大学の開催等） | A41201<br>重点 | 英語力の醸成と定着   | A51102<br>重点  | 入学定員の確実な確保（推薦等入学試験）     |
| A11103        | 卒業生調査の実施・調査結果の活用        | A21202        | 大学と社会を繋ぐイベント           | A31201       | 博物館を利用した取組（学生・一般向け）     | A41301       | 習熟度別教育の実践   | A51103        | 学部学科の改組等の教育組織改革         |
| A11104        | リテラシー・コンピテンシー調査結果の活用    | A22101<br>★重点 | 「ヒトと動物の共生科学センター」の活動を推進 | A31202       | 博物館を利用した取組（小学生向け）       | A41401       | 補習授業の充実     | A51104        | 博物館の教育への活用              |
| A11201<br>★重点 | 習熟度別クラス編成・全学共通教養教育の充実   | A22102        | 産官学共同研究の推進             | A31203       | 博物館を利用した取組（中高生向け）       | A41501<br>重点 | 教員研修の充実     | A51201<br>★重点 | 附属高校との充実した連携            |
| A11202<br>重点  | アセスメント・プラン              | A22103        | 協定等に基づく学・学(大学間)連携研究の推進 | A31301<br>重点 | 認知度向上に向けた情報発信の強化        | A42101       | 生徒の人格の尊重    | A51202<br>重点  | 新たな協定校の開拓               |
| A11203<br>重点  | ティーチング・ポートフォリオ(TP)の活用   | A22104        | 協定等に基づく研究活動を推進         | A31302       | 教育・研究施設建物の紹介(情報公開)      | A42201       | いじめ防止教育の推進  | A51401        | 5年間で収益源となる事業の整理・調査・提案   |
| A11204<br>重点  | 参加型臨床実習（産業動物）の維持と充実     | 7事業           |                        |              | 7事業                     |              |             | A52101<br>重点  | 動物病院の経営改善の取組            |
| A11205<br>重点  | DXの推進とICTの活用による新たな授業の構築 |               |                        |              |                         |              |             | A52102<br>重点  | 動物病院業務体制の整備             |
| A11206        | 実践的FDの実施                |               |                        |              |                         |              |             | A52103<br>重点  | 動物病院改修に向けた構想・方針の策定と改修   |
| A11207<br>重点  | 代替動物利用の一層の推進            |               |                        |              |                         |              |             | A52104<br>重点  | 動物病院改修工事の早期着工（参加型臨床実習）  |
| A11301<br>★重点 | 学部・大学院一貫教育の実施           |               |                        |              |                         |              |             | A52201<br>重点  | 馬の診療の充実化                |
| A12101<br>★重点 | 出る杭を引き出す教育プログラム         |               |                        |              |                         |              |             | A52202        | 動物病院webサイトの改修           |
| A12201<br>重点  | 新規入学選抜対応                |               |                        |              |                         |              |             | A52301        | 学園内外に向けた教育セミナー          |
| A12301<br>重点  | 学部、研究科を越えた横断的な資格取得      |               |                        |              |                         |              |             | A52302        | 市民向け公開講座の開講             |
| A12302<br>★重点 | 実践的ジェネラリスト育成プログラムの実施    |               |                        |              |                         |              |             | A53101        | 事務職員ポートフォリオ（スキル等可視化）    |
| A12303<br>★   | 動物・生命科学データサイエンスセンター     |               |                        |              |                         |              |             | A53102        | 事務職員の専門知識・能力向上の取組       |
| A12401<br>重点  | フィールドワーク教育の推進           |               |                        |              |                         |              |             | A53103        | 大学運営の現状理解の浸透・教職協働       |
| A12402        | PBL学習について               |               |                        |              |                         |              |             | A53201        | 特定資産の純増計画及び資産運用の見直し     |
| A12403        | SDGsに鑑みた学習の充実           |               |                        |              |                         |              |             | A53202        | 寄付金事業（未来募金）の運用          |
| A12501<br>重点  | 企業調査の継続的な実施             |               |                        |              | 20事業                    |              |             | A53203        | 既存施設の有効活用               |
| A12502<br>重点  | 「キャリア支援英語」の導入及び実施       |               |                        |              |                         |              |             | A53204        | 評議員選挙制度・時代に対応した理事体制     |
| A12503        | アセスメントテストによるジェネリックスキル測定 |               |                        |              |                         |              |             | A53301        | 出産・育児・介護等の両立支援に向けた取組    |
| A12504        | 就職率向上に繋がる支援活動の実施        |               |                        |              |                         |              |             | A53401        | 意思決定方法の簡略化              |
| 24事業          |                         |               |                        |              |                         |              |             | A53501<br>重点  | キャンパスマスタープラン第IV期の構築と実行  |
|               |                         |               |                        |              |                         |              |             | A53502        | 大学及び附属高校の教育環境の整備修繕      |
|               |                         |               |                        |              |                         |              |             | A53601<br>重点  | 情報セキュリティ対策実施手順の策定       |
|               |                         |               |                        |              |                         |              |             | A53602<br>重点  | 情報セキュリティに対応するCSIRTの体制整備 |
|               |                         |               |                        |              |                         |              |             | 28事業          |                         |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業



### A1. 大学教育

重点：本学における重点事業 ★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名 | 事業の取組内容                    | 令和4年度の取組計画                                                                                                                                                                           | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|------|-------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A11101 | ★    | 重点    | 学修ポートフォリオの導入と普及            | 入学から卒業までの学生の情報、学修成果を総合的に可視化するものとしてポートフォリオを導入する。                                                                                                                                      | 「Azamoodle」システムを活用した学修状況把握の試行、サイエンスリテラシーとコンピテンシーテストの実施など、学生の状況を把握する取組は個別にはそれぞれ進んでいるものの、学部学科改組についての内容・方向性が確定する前に、先行してポートフォリオを導入するには、トータル経費が増額することが懸念される。そのため、令和4年度に学生の情報、学修成果を総合的に可視化するポートフォリオを検討・導入することは、時期尚早であると判断した。学部学科改組の実施時期・内容に合わせて、ポートフォリオの検討・導入を判断する必要がある。 |
| A11102 |      |       | 在学生調査の実施・調査結果の活用           | 継続して在学生調査を実施することにより、学生の学修時間や満足度、学修行動等のデータを収集・蓄積する。また、調査結果や他の学生データ等との結合により、学修成果の総合的な可視化や教育改善につなげる。                                                                                    | 令和3年度分調査結果に基づく、教育改善の検討の働きかけ及び結果の公表を行った。補助金要件変更のため、最終学年の回答率目標のみ80%から85%に変更し、令和4年度分調査を全学部学生に実施した結果、回答率は全体で85.6%、最終学年で90.3%となった。引き続き、回答率の維持・向上並びに教育改善への活用を促す。                                                                                                         |
| A11103 |      |       | 卒業生調査の実施・調査結果の活用           | 学生に在学中に身につけさせる学力や資質、能力及び養成しようとする人材像に照らして、学生の進路・就職状況等から、教育効果の検証、本学教育に対する満足度等を把握する。これに基づき、教育改善、社会で必要とされる人材像のニーズ把握等に活用する。                                                               | 令和3年度分調査結果に基づく、教育改善の検討の働きかけ及び結果の公表を行った。<br>令和4年度卒業生調査は12月19日～1月31日に実施した。目標回答率15%達成のため、返礼品金額を昨年度比倍増したものの13.2%に留まり、回答率向上が課題である。                                                                                                                                      |
| A11104 |      |       | リテラシー・コンピテンシー調査結果の活用       | 外部アセスメントテストを用いて直接的に学生のジェネリックスキル（リテラシー、コンピテンシー）を測定、入学後のスキルの伸長等を確認することで、学位授与方針に明示した学生の学修成果の把握及び評価、教育改善につなげる。また、測定結果等の可視化及び学生へのフィードバックにより、学生自身が自らの成長度の確認や自己分析を行い、学修者本位の教育に移行するよう環境を整える。 | 活用予定だった外部アセスメントテストは、予算的に、今年度は1年次及び3年次のデータ、次年度は経費の都合上、1年次のデータしか収集できず、最終学年のデータがないことから、学位授与方針に明示した学修成果の把握に適切ではないと判断した。                                                                                                                                                |
| A11201 | ★    | 重点    | 習熟度別クラス編成を取り入れた全学共通教養教育の充実 | 全学共通教養教育の体制を整備し、習熟度に応じたクラス編成を行う。秀でた学生については、その能力を更に引き出す教育を行うとともに、多様な資質を持った入学者に対して、高いモチベーションを維持できるように学習サポートを実施する。また、全ての科目に適用する成績評価基準の平準化を目指す。                                          | 令和6年4月以降に予定されている「愛玩動物看護師養成課程設置」及び「学部・学科の改組」の方針を受けて現行のカリキュラムも含めて「カリキュラム改正」、「3ポリシーの改正」及び「教養教育」の全学共通化を改めて検討する。<br><br>また、学長をはじめとする関係者と協働し、令和6年度からの全学基礎教育組織の設置検討を行い、組織体制を整備した。                                                                                         |
| A11202 | 重点   |       | アセスメント・プラン                 | 令和元年度に作成したアセスメント・ポリシーに基づき、各学部、各研究科それぞれの評価指標を決定し、点検評価を行う。                                                                                                                             | 「学習到達度調査」として、一部の学科を対象に「麻布出る杭事業」で開発中の教学IRシステムで学修成果の測定・把握を行った。また、外部の「アセスメントテスト（GPSS-Academic）」を導入し、キャリア支援課と連携の上、実施した。                                                                                                                                                |
| A11203 | 重点   |       | ティーチング・ポートフォリオ（TP）の活用      | 教育改善に積極的に取り組む手段のひとつとして、ティーチング・ポートフォリオ（TP）の作成を促す。教員は自身の授業を検証し、学習効果を高める授業方法の改善を展開する。また、内部質保証システムへ活用する。                                                                                 | 前年度に引き続き、「ティーチング・ポートフォリオ（ブラッシュアップ研修）」としてFD研修会を開催するとともに、TPの見直しを実施し、FDを通して教育活動を振り返り、教員各自の教育理念を明確化及び自覚化を図り、教育改善に繋がる取組を行った。                                                                                                                                            |
| A11204 | 重点   |       | 参加型臨床実習（産業動物）の維持と充実        | 学内施設のみで産業動物の参加型臨床実習を実施しているのは都都市部の獣医系大学では本学のみで、大学のPRポイントとして獣医希望学生への魅力となる。新たに整備される牛舎を活用し、昨今の牛の入院頭数減少に対応する。                                                                             | 獣医学科6年次対象の産業動物アドバンス実習（前期）を5名の学生に提供できた。獣医学科5年次対象の産業動物臨床実習（後期）では、対面実習日を1日増やし、4日間とした。牛症例数は学外と学内ともに予定よりも多く、学内症例については新牛舎への移動の影響と考えられた。X線検査は少なくとも週2回行い、多くの学生が画像診断を体験した。                                                                                                  |
| A11205 | 重点   |       | DXの推進とICTの活用による新たな授業の構築    | コロナ禍により急速に進んだ遠隔授業（オンライン授業）の質向上のため、学習効果を高めるシラバスの充実に取り組むとともにLMSシステムを効果的に活用した授業を構築する。同時にDXを推進し、授業コンテンツの充実を図る。                                                                           | オンライン授業に係る教員へのアンケート調査は、コロナ感染症の状況が大きく変化するなかで、対面式授業を中心とする方針がとられたことから、実施に至らなかったが、教育におけるDXの推進に関しては、令和3年度後期に申請した「デジタル活用高度専門人材育成事業（補助金）」が採択され、食品科学や食品健康科学分野において「味覚センサー」を導入して出汁と塩分摂取の関係を明らかにする教育研究や、「ドローン撮影システム」を導入して、野生動物の追跡が容易となるなど、デジタル機器を活用した教育研究を推進した。               |
| A11206 |      |       | 実践的ファカルティ・ディベロップメント（FD）の実施 | 授業及び研究指導の内容・方法、カリキュラム等の改善のため、座学にとどまらず、ワークショップ形式を取り入れたFDに取組む。                                                                                                                         | 新たにFD研修会として「大学授業と著作権」、「学生の学びを促す学習評価」を実施した。また、ワーク形式で「ティーチング・ポートフォリオ（ブラッシュアップ研修）」を開催することで、講義形式とワーク形式の研修会を実施し、今後の教育と研究指導の改善に繋がる取組を行った。                                                                                                                                |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.   | 重点事業 | 事業計画名                         | 事業の取組内容                                                                                                                    | 令和4年度の取組計画                                                                                                                                                                                                                                        | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A11207  | 重点   | 代替動物利用の一層の推進                  | 獣医師、動物応用科学の専門家養成に当たり、代替シミュレーターを活用することで、生体動物への苦痛の軽減の配慮及び生体動物の減少を目指すとともに、先導的な動物福祉3Rsの実践を学生、教員がともに体感することを目的とする。               | ①〔犬〕保護動物を用いた避妊去勢プログラムを並行で進行させつつ、特に外科実習における代替法での教育を充実させる。気管挿管もこれまで実習を通して生体を使用していたが、モデル標本を利用した実習も取り入れる。基礎系では、動画教材や3Dデジタル教材の活用と標本を利用した実習に変更し、使用頭数を削減する方向で進める。<br>②〔齧歯類〕シミュレーターと解剖3Dアプリを使えるタブレット端末を増数し、侵襲度の低い内容の実習科目間で、使用する動物をシェアすることによって動物の使用数を削減する。 | ①〔犬〕令和3年度を踏襲してほとんどの実習でシミュレーター、映像教材などを積極的に使用して実習を行った。致死実習でない全身麻酔の実習のみ動物を使用して行い（新たに実習のため購入した動物はゼロ）、手術実習は別に立ち上げた保護動物避妊去勢実習に代替した。基礎系では教材の多角化、内容の改善により数を削減した。<br>②〔齧歯類〕令和4年度の使用動物数は、全て対面による実習で行ったにも関わらず令和元年度の実績の37%に減少した。この減少率は、コロナの影響により非対面方式の実習で行った令和3年度の使用動物数と大差がなく、関係者の努力により実現したものといえる。<br>シミュレーター、動画教材、タブレットの整備は順調に進んでいるが、他学の先導的代替手法に関する調査は出張調査に割く時間に欠き、不調である。 |
| A11301★ | 重点   | 学部・大学院一貫教育の実施                 | 「出る杭を引き出す教育プログラム」を念頭に入れて、動物共生科学ジェネラリスト育成プログラムに参加した学生を対象に学部在籍時から大学院科目の履修機会を与え、学部・大学院一貫教育に取り組む。                              | 本学の大学院進学を希望し、資格を満たす学部学生に大学院の授業科目の「早期履修制度」を周知するとともに、希望する学業成績優秀な学部学生に対して、履修する機会を提供する。また、学部教育と大学院教育との連携を図り、大学院入学前の時期を有効に活用し、学習を進める環境を整える。                                                                                                            | 学部学生(学士課程の学生)の大学院授業科目の早期履修について、今年度は、12人の学部4年次学生を受け入れた。また、そのうち10人の学生が本学大学院に進学した。                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| A12101★ | 重点   | 出る杭を引き出す教育プログラム               | 高校－大学－大学院の壁を下げることで秀でた学生の修学を高めるとともに、学生が修学キャリアマップとStepGPAを活用して個々の学力の特性を知り、自ら学んでいくシステム構築を目指し、これを通して、ヒト－動物－環境の共生の未来を担う人材を育成する。 | 本学の大学院進学を希望し、資格を満たす学部学生に大学院の授業科目の「早期履修制度」を周知するとともに、学部修士の連続した教育課程を実現するための環境を構築する。また、高大接続「いのちと共生の研究プログラム」について、「動物・生命科学」に興味を持つ高校生と直接意見交換を行う。                                                                                                         | 学部4年次12人が「早期履修制度」により、大学院授業科目を履修した。また、新たに4つの高等学校と連携協定を締結し、高校生の当プログラムへの参画を加速させた他、5つの高等学校とも協力体制を協議した。来年度の入試から、本プログラム参加者を受け入れられるよう入試改革を行った。                                                                                                                                                                                                                        |
| A12201  | 重点   | 新規入学学生選抜方法                    | 「新学習指導要領」に対応した新入試は令和6年度中に実施するため、2年前となる令和4年度中に告知、令和6年度上期までに実施体制を構築する。学内外における情報整理、外部コンサルタント等を踏まえて、時代に即した入学試験を実現する。           | 「新学習指導要領」に準拠した新しい教科書を基に、新年度の各科目の問題作成委員会に内容を精査してもらい、新入試の大方針を決め、2年前告知に該当するような大きな変更があれば、受験生に向けて情報発信する。また、引き続き、新入試に関連する勉強会への参加、コンサルティング会社を活用しての情報収集等に努める。                                                                                             | 「新学習指導要領」に準拠した新しい教科書が採択されたが、一般市場には高校1年生の教科書のみ供給されており、これを購入した。また、各大学が令和7年度入学試験の予告を公表する時期が遅れていたが、年度末で大学ホームページ(受験生サイト)にて出題科目等の変更について公表できた。                                                                                                                                                                                                                        |
| A12301  | 重点   | 学部、研究科を越えた横断的な資格取得プログラムの設定    | 令和5年度から予定しているカリキュラム改正に向けて、学部横断型のプログラムにより取得できる資格のコース設定に取り組む。また、大学院の資格取得支援についても検討を行う。                                        | 令和6年4月以降に予定されている「愛玩動物看護師養成課程設置」及び「学部・学科の改組」の方針を受けて、学部横断型プログラムにより取得できる資格のコース設定に向けた構想の検討を継続するとともに、大学院の資格取得支援(ITパスポート等)について、併せて検討する。                                                                                                                 | 「学部学科改組」が延期されたため、令和5年度に予定していたカリキュラムの改正が実施されないことから、学部・学科を超えた横断型プログラムの検討を凍結した。また、大学院の資格取得支援は早期履修制度の設計と併せて再検討することとなった。今後、資格共通化のプラットフォームづくりについて環境整備を図り、卒後のキャリア形成につなげるためには、その前提となる学科・学部再編計画の早期策定が課題となる。                                                                                                                                                             |
| A12302★ | 重点   | 実践的ジェネラリスト育成プログラムの実施          | 初年次から学生が研究活動を通じ個々の学生の成長を支援しつつ、サイエンスリテラシーの育成及び評価を実施する。また、プログラム参加学生の大学院授業の先行履修を促し、「計画No. A11301 学部・大学院一貫教育の実施」に繋げる。          | ①データサイエンス関連科目の新規開講<br>②当プログラムによる大学院生の受入準備<br>③これまでの取組内容の推進                                                                                                                                                                                        | ①データ分析関係科目(地球共生系データサイエンス・同演習II)を開講した<br>②ジェネプロ研究プロジェクト参加学生を中心とした大学院授業科目早期履修制度を開始した<br>③ジェネプロ研究プロジェクトに関しては、1年生65人、2年生53人 31プロジェクトの参加があった ほか、教学IRセンターでジェネプロ研究プロジェクト参加学生の学修成果の可視化・分析を行った。                                                                                                                                                                         |
| A12303★ |      | 動物・生命科学データサイエンスセンターを基とした教育の展開 | 「出る杭を引き出す教育プログラム」に基づき、生命科学領域に関係するデータサイエンス関連の科目を開講する等、具体的な整備を進める。                                                           | 「データサイエンスセンター」を中心に検討を進めるとともに、「数理・データサイエンス・AIプログラム認定制度」を令和4年度に申請する。                                                                                                                                                                                | 大学教育推進機構内のデータサイエンスセンターが中心となって検討を進めていた「数理・データサイエンス・AIプログラム認定制度」の申請について、申請要件が変更となり、令和4年度には申請できなかったため、申請要件に合わせて、本学で実施する数理データサイエンスAIプログラムに係る授業科目の実施形態の変更などの検討と次年度への準備を行った。                                                                                                                                                                                         |
| A12401  | 重点   | フィールドワーク教育の推進                 | 学術交流協定を結んでいる島根県美郷町にフィールドワークの拠点となる施設を設置し、教員とともに五感で体感できるフィールドワーク教育をより一層推進する。                                                 | 「フィールドワークセンター」を活用し、動植物の生態、食品、環境などの教育・研究拠点とした「フィールドワーク教育」を継続するとともに、「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」と連携した教育を検討する。                                                                                                                                             | 「フィールドワークセンター」を学生教育・研究拠点として、獣医学部及び生命・環境科学部双方の演習・実習等においてフィールドワーク教育を推進した。また、「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」の研究プロジェクトに参加した学生についても、「フィールドワークセンター」を活用し、動植物の生態や環境等の研究活動を行うことができた。                                                                                                                                                                                             |

重点： 本学における重点事業

★： 文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                                             | 事業の取組内容                                                                                                                      | 令和4年度の取組計画                                                                                                                                         | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                    |
|--------|------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A12402 |      | PBL学習について                                         | 既に自由科目として展開しているPBL学習を正課授業科目として取り入れる。また、正課外の模擬グループディスカッション（就活実習）を活用して、学生のコミュニケーションスキルと就職力の向上に努める。                             | 令和6年4月以降に予定されている「愛玩動物看護師養成課程設置」及び「学部・学科の改組」の方針を受けて「3ポリシーの改正」及び「カリキュラム改正」の必要性を検討するとともに、PBL学習を正課授業科目として取り入れる方策を検討する。                                 | 生命・環境科学部の食品生命科学科及び環境科学科において、教育の質の向上を目的として、食品生命科学科にあっては、「食品開発PBL実習」を自由科目として、環境科学科にあっては、「環境フィールドスタディ」を選択科目として、新たな授業科目として実施できたので、これを継続できるように整備する。 |
| A12403 |      | SDGsに鑑みた学習の充実                                     | 持続可能な社会の実現に向け、行政や企業などの外部機関と連携し「資源活用・資源循環」「環境教育」「環境保全」などの課題に対して、自ら考え挑戦する課題解決型学習（PBL）を進めていく。                                   | アフターコロナを期待し、令和3年度に計画したものの実施に滞り着けなかった町田市芹が谷公園でのPBLを行い、フィールドワークセンターにおいても、同様に活用を目指す。                                                                  | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、町田市芹が谷公園や座間谷戸山公園での植物調査同様のPBLを計画し実施した。更に島根県美郷町フィールドワークセンターを活用した生物多様性フィールドワーク演習を実施した。                                     |
| A12501 | 重点   | 企業調査の継続的な実施と実施結果に基づく評価と改善の実施                      | 本学卒業生のキャリア状況について調査し、今後の「教育改善」、「就職支援」に資する基礎データを取得することを目的として、また、インターンシップ受入先及び求人先の新規開拓を目的に調査を実施する。                              | 企業等の協力が得られやすい時期に変更して依頼を行い、前回調査時より回答率の向上に取り組む。また、得られた結果を基に、令和5年度の効果測定の実施に向けた準備を行い、令和6年度の実施に向けた検証に取り組む。                                              | 前回調査時の課題としていた調査依頼時期及び回答率の向上を図るため、実施時期の検討、依頼先の再選定及び企業面談時の協力依頼を行った結果、目標としていた有効回答率の2倍以上となる24.7%を得ることができた。                                         |
| A12502 | 重点   | 「キャリア支援英語」の導入及び実施による「教育の質の向上」と「英語力・コミュニケーション力の向上」 | グローバル化の加速と高大接続に伴い「英語4技能」を重視し、低学年のキャリア教育として語学研修の機会を提供することで、教育の質の向上、国内外で外国人と協働が可能な人材の育成を行う。達成目標は、TOEIC 550点～750点又は英検準2級～準1級取得。 | 令和4年度に向けて検討していたオンライン及び対面のハイブリット形式による実施について、引き続き、検討を重ねる。英会話レッスンに加えて、対面によるTOEIC対策講座を取り入れ、キャリア教育としての英会話とTOEICスコア取得を後押しする取組みを検討する。                     | 令和5年度からの実施に向けた準備期間と位置付けていたが、実施内容の検討を重ね、1年前倒しで事業に取り組む予定だったものの、職員の欠員により課内の体制が整わず前倒しでの実施が叶わなかった。本来カリキュラムに取り込んで学生に提供される内容のものでもあるため、今後の推進方策が課題である。  |
| A12503 |      | アセスメントテスト実施による学生のジェネリックスキル測定(リテラシー、コンピテンシー測定)     | 学生は1年次及び3年次にWEB受検が可能となり、低学年からジェネリックスキル(リテラシー、コンピテンシー)を測定することで、自身の成長度が可視化され、今後、就職活動で重要な「自己分析」が容易となる。                          | 適性検査を運営する企業が事業から撤退することから、新たに關ベネッセi-キャリアが提供するGPS-Academicを利用して実施する。このツールは、適性検査と同様の活用に加えて、社会人基礎力の測定にも活用できることから、3年次の就活支援サービスdodaキャンパスとの連携に向けた準備にも取組む。 | コロナ禍前の授業実施体制に戻り、テスト及びフォローアップ講座を対面形式で実施できたこともあり、受検率は5学科平均99.2%とほぼ全員の受検が達成できた。受検後のアンケートにおいても満足度が82.0%と高い結果を得た。                                   |
| A12504 |      | 就職率向上に繋がる支援活動の実施(就職相談室の予約枠拡充)                     | 4人の「就職相談員」の配置により、低学年から利用可能にするとともに、3・4年次(獣医5・6年次)は、就職活動やインターンシップに向けた支援(履歴書・ES添削、面接対策)を、対面・メール・オンラインで実施。さらなる予約枠の拡充を図る。         | 繁忙期の相談室予約枠の拡充を行えるように経費を調整し、学生の就職・キャリア支援へ対応を行うとともに、利用者アンケート結果を基に更なる満足度の向上に努める。                                                                      | 繁忙期においては、就職相談員の出勤日数を増やして予約枠を追加し、多くの学生が利用できるよう対応した。また、ハローワーク相模原との連携により、就職未内定者への支援として行っている就職支援ナビゲーターの派遣に加えて、障がいのある学生の支援のための専門相談員の派遣についても体制を整えた。  |

## A2. 研究・社会連携

重点： 本学における重点事業 ★： 文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                                               | 事業の取組内容                                                                                                        | 令和4年度の取組計画                                                                            | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                        |
|--------|------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A21101 | 重点   | 査読付論文3本／3年を実現する教員割合増加の推進                            | 蓄積した研究成果を社会に還元することは高等教育機関としての使命であり、継続的な発信には、まずは「3年間で査読付き論文3件」を目標として掲げ、5年後には「査読論文3件/3年」の教員割合70%を目指して取り組む。       | 「3年間で査読付き論文3件」の履行割合を向上させるため、論文投稿や英文校閲の支援強化に向けた対応策も検討する。                               | 査読論文3件/3年の目標割合61%を達成した。競争的研究費獲得額（直接経費のみ）は、213,135千円であり目標を達成した。科研費採択数（代表）は、63人であり目標を達成した。本部補助金「若手研究サポート資金」は、対象研究者2人に給付した。女性研究者共同研究支援（DEI）14件を実施した。                  |
| A21201 |      | 社会・地域と連携した実践教育                                      | 相模川の川原や生物について、野外体験活動を通して親しみ、感じたことをフィールドノートに表現する。セミナーを通して川を正しく保全できる人材を育成し、里山川海のつながりで地域の持続可能性を目指す。               | アフターコロナを期待し、親子の環境教育を従前のバスを利用したの相模川流域での生物多様性について学ぶ機会を提供する。併せて、令和3年度に引き続きWebの活用も視野に入れる。 | 親子の環境教育を従前のバスを利用し、相模川流域での生物多様性について学ぶ機会は提供できなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、親子でSDGsグリーンマップづくりを座間谷戸山公園で実施することができた。                                                      |
| A21202 |      | 大学と社会を繋ぐイベント（八ヶ岳自然クラブとの協働プロジェクト）<br>大学と社会を繋ぐイベントの開催 | 市民団体である八ヶ岳自然クラブとの協働プロジェクトとして実施しているフクロウ生体調査の一環である。ワークショップでは、八ヶ岳にフクロウに人口巣に残された巣材からネズミの骨を取り出しフクロウの生態を学んでもらう。      | アフターコロナを期待し、サンプル素材の輸送に係わる経費等の検討をし、八ヶ岳のフクロウの人口巣に残された巣材からネズミの骨を取り出しフクロウの生態を学ぶ機会を計画する。   | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の見地から、来館者を招いての博物館でのイベントを中止にしたが、大学と社会をつなぐという意味で、相模原市立博物館とのコラボ企画を実施することで、社会とのつながりを無にはしないよう努めた。                                                       |
| A22101 | 重点★  | 「ヒトと動物の共生科学センター」の活動を推進（附属生物科学総合研究所の研究部門）            | 研究と教育の一体化を実現させ、獣医系・生命科学系大学として麻布大学らしさを反映した新たな教育研究体制を整備する。また、大規模な分野横断的な学際型研究プラットフォームによる展開を通して研究成果を修学者や社会へ還元していく。 | 学際的なチーム編成の特徴的な成果創出を念頭に置いて、研究成果の向上を推進する。                                               | プレスリリース数は、目標を達成した。複数学科参加の研究分野を横断した4テーマ8グループに対して支援金100万円（一部85万円）を配分した。3月には企業等に参加を募り成果報告会を開催し、共同研究等の産学連携につながるよう企業等との交流を図った。                                          |
| A22102 |      | 共同研究、受託研究、奨学寄附金等を活用した産官学共同研究の推進                     | 社会的課題解決や新たな価値創造創出に取り組むため、産業界との共同研究等を進め、効果的に社会や学修者等へ還元する。                                                       | 若手で産学連携を指向する教員に対し、産学連携イベント「ファーマラボEXPO」への出展を提案し、自身の研究を加速する企業との連携を推し進める。                | 産学連携に係る外部資金獲得額（間接経費含む）及び技術移転契約数（ライセンス使用、譲渡等）について目標を達成した。7月に開催された「ファーマラボEXPO」に教員3人が出展・研究発表するなど、本学の特徴や知財に資する産学連携活動が展開できた。                                            |
| A22103 |      | 協定等に基づく学・学（大学間）連携研究の推進                              | 学・学（大学間）連携研究では、連携に伴う相乗効果に加え、相手先大学の多様な学類・学間で気づきを得る補完効果が期待できるため、研究成果の多様性を目指すために協定等に基づいた学・学連携研究を推進する。             | 連携に伴う相手先大学の多様な研究領域との相乗効果をより一層推し進める。                                                   | 学・学共同研究契約数は、4件であり目標を達成した。東京農業大学との共同研究は、令和4年度の本部補助金「大学間連携による共同研究」の予算配分がなく令和3年度で終了となったことから共同開催セミナーが見送られた。共同研究そのものは進捗しているが、予算配分がないため、私立大学等改革総合支援事業タイプ2-④の対応は難しい状況である。 |
| A22104 |      | 協定等に基づき、学内設備等の共同利用を通じて多様な研究活動を推進                    | 大学が有する多種多様な研究設備等を学内外の研究者が相互利用することにより、設備の有効利用に加え、共同研究の進展や学際領域の開拓などを促すことを目的として本事業を推進する。                          | 『協定等に基づく共同研究』として研究テーマと既存の全学共用機器を合致させた支援策の実現に取り組む。                                     | 他大学（日本獣医生命科学大学）との共同研究は4件契約を締結しているが、研究上の目的から学内施設・設備を共同利用するものではなかった。なお、本部補助金「協定等に基づく共同研究」の令和4年度予算配分が見送られた。                                                           |

### A3. 社会的価値

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                                                                     | 事業の取組内容                                                                                                      | 令和4年度の取組計画                                                                                                                          | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                          |
|--------|------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A31101 | 重点   | 地域と連携した動物保護体制の支援                                                          | 神奈川県動物愛護センターと連携して、動物愛護センターで保護、収容した猫等の避妊手術、去勢手術や診療に協力する。                                                      | 本院における学生教育、卒業教育の場において倫理的に問題のない範囲で質の高い獣医療を提供できるように計画していく。保護の状況によるため実施件数の予測は困難であるが、事例が発生次第速やかな対応ができるよう引き続きこれらの連携機関との協力・情報交換を密に実施していく。 | 令和4年度は神奈川県からの依頼がなかった。一方、相模原の要請により、外科系教員及びRAの指導下で学生実習として実施したイヌ・ネコ合わせて10件の不妊手術に一部協力した。相模原市内の連携病院より2件難易度の高い手術を受け入れ実施した。本事業は県からの依頼に依存するのでより連携を強化する必要がある。 |
| A31102 |      | 包括協定に基づく活動の強化<br>包括連携協定を締結している教育機関、行政機関、民間機関等との定期的な意見交換で、教育への実質的な連携・協力を実施 | 研究成果や磨かれた技術を社会に発信し、社会の発展に貢献する目的で、市民大学や麻布大学教育セミナー等を開催している。今後もセミナー等には、包括協定締結先からセミナー講師を招き実施していく。                | 座学以外の内容を増やすなど、市民が望む講座内容の検討を行う。                                                                                                      | 獣医学科担当「牛などの産業動物の健康・機能・形態」と食品生命科学科担当「食べることは生きることー美味しく、安全に、健康にー」を11月に開催した。また、3年ぶりに「麻布大学生涯学習講座～シニアライフを生き活きと～」を開講した。更に内容を絞り込んだテーマで相模原市との懇談会を実施した。        |
| A31201 |      | 博物館を利用した取組<br>公開講座（小中高一般社会人向け）                                            | 本学の特色（動物と環境）を活かしたセミナーの開催<br>ハケ岳のフクロウの人口巣に残された巣材から、ネズミの骨を取り出す作業であり、この作業を通じて、骨の勉強やフクロウの生態を学ぶ。                  | アフターコロナを期待し、サンプル素材の輸送に係わる経費等の検討をし、ハケ岳のフクロウの人口巣に残された巣材からネズミの骨を取り出しフクロウの生態を学ぶ機会を計画する。                                                 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の見地から、来館者を招いて博物館での対面によるイベントは、中止を余儀なくされたが、相模原市立博物館及びJAXAとのコラボ企画を実施した。また、相模原市・座間市市民大学のオムニバス講座では、博物館の展示標本を用いて実施した。                      |
| A31202 |      | 博物館を利用した取組<br>公開講座（小学生向け）<br>子ども教室（春・夏）の開催                                | ① 夏休み：「タヌキの骨とサル骨」博物館には多数の頭骨標本があるので、子供に示して骨の基本を学びスケッチをする機会を提供する。<br>② 春休み：「粘土で動物を作ろう」動物を粘土で作り、動物の形に興味をもってもらう。 | アフターコロナを期待し、小学生を対象とした博物館所蔵の骨標本を用いたスケッチ及び粘土細工による動物種の違いを学ぶ子ども教室の実施する。                                                                 | 新型コロナウイルス禍により、不特定の小学生を対象とした対面による博物館でのイベントを中止にしたが、事前予約があった小学校においては、博物館見学班及び待機班の小グループに分け、待機班には希望があったテーマ（絶滅危惧種に関すること等）に沿った講話を数回行った。                     |
| A31203 |      | 博物館を利用した取組<br>公開講座（中高生向け）<br>理解実験教室の開催                                    | ニワトリの手羽先で骨格標本を作成し、相同器官の学習機会を提供する。                                                                            | 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえてリモートの授業を視野に入れて開催の可否を検討する。                                                                                        | 新型コロナウイルス禍により、サンプルを入手しての実学に伴う博物館での対面によるイベントは実施できなかった。リモートによる講義では、真意を伝えることができないため、令和5年度にウィズコロナでの対応とする。                                                |
| A31301 | 重点   | 認知度向上に向けた情報発信の強化                                                          | 麻布大学の学びや特徴、多様な取組を知ってもらうため、プレスリリース、SNS等による情報発信を強化する。これにより、一定の認知度及び社会的価値の向上を図る。                                | プレスリリース配信のため、情報収集スキルの向上に取組とともに、組織体制を整え、より魅力的なプレスリリースの配信を行うよう努める。                                                                    | 入試情報に限らず、学内での研究成果を知らしめる為、FD研修として文書力強化セミナーを渉外課が主催し、内容を濃くしたプレスリリースを発行したことで、テレビ局等からの取材対応が増え、メディアに本学の名称・活動情報の露出回数を増加させ、本学の知名度アップに貢献した。                   |
| A31302 |      | 教育・研究施設建物の紹介(情報公開)                                                        | キャンパスマスタープラン第IV期で予定している教育・研究施設について、麻布大学ホームページ及びプレスリリースにより広く情報発信する。                                           | （仮称）新牛舎について竣工の際に麻布大学ホームページ及びプレスリリースにより、広く情報発信する。併せて、これに係る建物についても効果的に情報発信する。                                                         | 新牛舎の建物概要（構造、延床面積及び諸室概要）及び竣工について、それぞれ令和4年3月・10月に大学ホームページ及びプレスリリースを行い、アニマルウェルフェアに対応し、牛に優しい快適な飼養環境を整備した旨の発信を行った。結果、大手新聞社において記事として取り上げられた。               |



## A4. 高校教育

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名      | 事業の取組内容                                                                                                                                                                                            | 令和4年度の取組計画                                                                          | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                               |
|--------|------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A41101 | 重点   | ICT教育の推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の充実、教員の意識向上、授業でのICT教材活用の推進</li> <li>・教員向けノートPC及びタブレット端末を配付、有効な実践例の集積</li> <li>・ICT教材を最大限活用し、アクティブラーニングをはじめとするPBL（課題解決型授業）への転換。</li> </ul>                | 令和3年度入学生からタブレットPC必携に伴い、準備したICT推進費を適切かつ迅速に還元（執行）する仕組みを作る。                            | 手探りで始めたICTであるが、この3年間で大きな進展を遂げた。いまや教科に関わらず、全教員が何らかの形でICTを授業に取り入れることが可能な水準に達している。その分、個々の教員が蓄積したオンライン教材が膨れ上がっている。ストレージの問題や整理方法など、今後の課題が浮かびつつある。              |
| A41201 | 重点   | 英語力の醸成と定着  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語4技能醸成、総合力定着、興味、実践力向上</li> <li>・英検合格率向上、面接試験対策強化、人員配置・拡充、オンライン面接指導、経費確保、手当拡充、ICT環境活用</li> <li>・朝テスト、7限セミナー、土曜講座、ネイティブ英会話講座、EnglishCamp実施</li> </ul>       | 実現に向けて体制の検討や不足する資源確保に取り組む。                                                          | 個々の教員が求められる技能を把握し、自己研鑽したおかげで、授業に差があるという不満は聞かなかった。また英検2級という合格目標を越え、準1級に合格する生徒も数名出てきた。今後ともこれを一層延ばすべく英語科として何ができるのかを模索し、生徒の学力向上に寄与していく。                       |
| A41301 |      | 習熟度別教育の実践  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に応じた授業展開、集団内の差の是正</li> <li>・3クラス展開の授業内容、進度及び定期試験の問題難易度を設定</li> <li>・英語を同一クラス内を更に分割、高度な習熟度別教育を実践・拡充</li> <li>・現行3クラス制習熟度別教育を精査、必要に応じ新たなクラス編成検討</li> </ul> | 特に上位クラスの成績高止まりを是正するため、クラスごとの定期試験の適切な難易度設定に注力する。                                     | 各教科とも定期試験の難易度や出題傾向を見直すことにより、極端な平均点の高止まりはみられなかった。今後とも、定期試験にとどまらず、一般入試に対応できる学力の養成を目指し、各クラスに必要なレベルの授業を提供していく。                                                |
| A41401 |      | 補習授業の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の高い生徒、低い生徒のフォローアップ実践</li> <li>・主要5教科を中心とした補習授業企画、主体的な学力の向上</li> <li>・勉強会実施し、勉強習慣づける動機を与える</li> <li>・学習習慣の定着が乏しい生徒に対し、学力のボトムアップ</li> </ul>              | 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ夏期休業中の特別講座及び勉強会による主体的な学力の向上を図るとともに、成績不良者に対する指名学習を行う。             | 補習活動の目玉である勉強会は、宿泊を伴うことなく（通学スタイルで）実施した。夏期講習は対面とオンラインのハイブリッドとした。これにより、登校して学習したい生徒、部活のない時間に学習したい生徒、両方のニーズにこたえられる実施となった。                                      |
| A41501 | 重点   | 教員研修の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒授業評価、保護者へ授業公開及び教員相互授業参観等の研修を通じ、生徒の学力を育成するための授業改善</li> <li>・授業改善、教員の意識変革等研修等を通じて、社会から求められるニーズに適切していく能力の涵養</li> </ul>                                      | 新しい教育様式への対応を踏まえて、自分の授業を客観的に見つめ直し、他の教師の良いモデルを参考にした教員の指導技術の醸成、コミュニケーション能力及び組織力向上に努める。 | 保護者への授業公開は複数日を設定することで密を避けながら実施した。教員授業相互参観はその性質上、どうしても密集状態になってしまうが、参加教員を限定することで実施できた。授業アンケートは、特に大きく対応すべき問題は浮かばなかった。                                        |
| A42101 |      | 生徒の人格の尊重   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則やルールの尊重をネット講習会等を通じて啓発</li> <li>・他者の人格や考え方を否定することなく社会へ適応できる多様な価値観の育成</li> <li>・SNS等で無自覚に相手の人格を深く傷つけることがあることを認識させる</li> </ul>                              | 引き続き定期的な講習会を実施するとともに、総合的な探究の時間（週1時間）の授業内でも、ネットリテラシー教育を推進する。                         | 生徒のネットに対するリテラシーは向上している。生徒自身が何をアップできるか、何がタブーなのかを理解している。学校が関与するトラブル数も減少している。今後とも啓発に努めていく。                                                                   |
| A42201 |      | いじめ防止教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に取組む。生徒の些細な異変にも教員が気づくようにする。</li> <li>・いじめ防止講演（年1回）開催、生徒及び教員へいじめアンケート調査（年2回）実施。生徒の些細な異変にも気づくように連携</li> </ul>                             | 引き続きいじめの未然防止・早期発見対応に努める。                                                            | どの学年からも、いじめに該当するアンケート回答はなかった。級友や友人との関係に悩む相談が1年生を中心に数件報告された。当人同士で解決できるはずの軽微な内容だが、こうしたことに悩み、教員に相談する生徒が増える傾向になるのかもしれない。                                      |
| A42301 |      | 教育環境整備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な学校運営に配慮し教室配置を決定</li> <li>・机・いす等備品の整備によって、生徒への快適な学習環境の確保に努める。</li> </ul>                                                                                 | 教室配置は、入学者数に左右されるため入学者数決定後、検討に入る。机、椅子等の不具合については、不具合は個人差があることから引き続き評価指標を検討する。         | 校舎にある教室のほとんどを普通教室として使用されており、選択授業などで活用できる特別教室が3つしかない。現在、大学の教室の一つを美術の授業用に利用させて頂いており、授業の運営に支障は出ていない。女子更衣室を高校校舎内に準備できずアリーナ会議室を利用させて頂いている。今後もしばらくこの傾向は続くと思われる。 |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                           | 事業の取組内容                                                                                                                      | 令和4年度の取組計画                                                                         | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                                          |
|--------|------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A42401 |      | 部活動の適切な運営・管理                    | ・文武両道を掲げ、誠実な人格の形成を目指す活動に努める。<br>・外部指導員の活用、各部活動の「月間予定」により全体を一括管理する。<br>・新年度入学生から導入するタブレットも活用し、部活動のICT化を推進するきっかけとする。           | 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、部活動の適切な活動時間や休養日を設定し、複数顧問制や外部指導者の活用を積極的に取り入れ、顧問の負担軽減に努める。       | 少しずつではあるが、規制が緩和されており部活動が活性化しつつある。対外試合の数も、どの部活でも元に戻つつあるようだ。長期休業中の合宿も、生徒会指導部ならびに管理職のチェックを受けつつ、許可制で実施できた。                                                                               |
| A42501 |      | 学校安全管理と防災訓練                     | ・安否確認システムを用いて緊急時に混乱を招かない連絡体制及び行動規範を整える。<br>・生徒と教職員が安全な学校生活を送ることのできる体制を整える。<br>・防災訓練の企画立案と実施、後援会と協力し防災用品の備蓄や補充を行う。            | 引き続き避難計画の周知に努めるとともに、防災用食料の更新も継続する。                                                 | 緊急時には、①安否確認システム、②高校ホームページ、③高校独自のドメインによる一斉メール送信、という3重の体制を敷き、漏れのないよう細心の注意を払って連絡を行っている。実例としては休校や矢部駅周辺の不審者情報などを、生徒のみならず保護者にも遅滞なく発信することができた。避難訓練も今年度は実施できた。                               |
| A42601 |      | 後援会、同窓会との連携による開かれた学校づくり         | ・保護者が本校の教育活動を知ることができる体制を整える。<br>・後援会、同窓会の協力を得ながら、保護者を体育祭・文化祭などの学校行事へ招待する。<br>・本校の中長期的な活動と連携した行事、事業計画が行われるよう依頼する。             | コロナ禍での3密の回避のため、ICTを活用したオンライン会議、リモート役員総会や保護者アンケート調査等の実施を検討し、後援会及び同窓会運営の効率化と連携強化を行う。 | 新型コロナウイルス禍ではあるが、後援会の協力を得ながら体育祭・文化祭では来場人数及び観覧時間の制限を設けるなど、校舎構内の3密を回避して保護者来校の機会を提供した。しかしながら、その他の行事開催は見送られており実質的な成果なし。                                                                   |
| A42701 |      | 地域貢献活動<br>相模原市中央区を中心とする近隣地域への貢献 | ・相模原市が実施している「絆プロジェクト」への協力要請に応じ、近隣の児童クラブに赴き、いじめ撲滅などの啓発活動に協力する。児童への学修支援や触れ合い活動を実施する。<br>・近隣の方々を文化祭へ招待する。                       | 新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、これまで築いた地域とのつながりが途切れないように、新しい生活様式に沿ったボランティア活動を検討する。             | 絆プロジェクトに参加する用意はあるものの、今年度も先方より依頼はなかった。<br>文化祭についてもコロナ禍のため近隣住民へは非公開とした。                                                                                                                |
| A43101 |      | 進路意識の向上、キャリア教育                  | ・社会に出た自分を想像した進路決定の促進<br>・様々な職業や社会情勢、就職状況などに目を向けさせる。<br>・職業学問適性検査、説明会、卒業生講演会、生徒対象進路説明会を実施<br>・生徒及び保護者との面談実施、信頼される進路指導の実践      | オンラインを積極的に活用しながら、保護者との連携を図りつつ全校的に進路指導を進めていく。                                       | 定期的な二者面談、長期休業中の三者面談を始め、進路意識を涵養する講演会を定期的に行っている。これは生徒のみならず保護者も対象に行っており、保護者の反響も大きい。コロナ禍以降はオンラインでも講演、説明会を行っており、保護者の参加率は以前よりも向上している。                                                      |
| A43201 | 重点   | 難関大学合格率の向上                      | ・生徒が自らの進路希望を叶え、難関大学に合格する力を身につける。<br>・全国学力模試、大学説明会、一般入試出願説明会の実施<br>・模試結果の分析会等を通し入試情報の共有し、進路指導実施<br>・受験プラン提示、生徒の合格可能性を上げる取組を実践 | オンラインでの各種イベントの増強、アーカイブの提供などに力を入れる。                                                 | 国公立大学15名、早慶なども20名という結果を残すことができた（詳細は本校公式HPに）。生徒たちの進学に対する希望も高く、一般受験で大学に進学したいというニーズが最大である。生徒保護者のみならず、本校の受験を検討している中学生とその親からも、本校を進学校とイメージする位置づけが進んでいる。このイメージを損なうことなく、更なる生徒の進路意識の高まりを支えたい。 |
| A43301 |      | 麻布大学との高大連携                      | ・3学年理系クラス在籍生徒数の10%の進学<br>・附属高等学校対象プログラムの実施<br>・「出る杭を引き出す教育プログラム」の中<br>の高大連携プログラム「いのちと共生の研究プログラム」の案内                          | 麻布大学への進学者が目標数に達するよう更に努力する。                                                         | 麻布大学の学部、研究活動、入試に関する情報を校内に掲示、連絡を行った。麻布大学に興味がある生徒が必要な情報を入手し、相談できる体制の確立を意識した。                                                                                                           |
| A43401 | 重点   | 新大学入試への対応                       | ・大学入学共通テスト対策模試、英検全校受験を実施<br>・新大学入試の情報収集に努め共有する                                                                               | 大学入学共通テストの詳細及びコロナ禍による動向に基づき目標設定の変更を検討する。                                           | 大学入学共通テスト対策模試、共通テスト後のリサーチ、生徒保護者へのデータ提供を行った。英検全校受験を継続して実施した。共通テストも既に定着し、「新大学入試への対応」という観点自体が、生徒保護者のみならず、教員の間でも薄れてきた。                                                                   |
| A43501 |      | 保護者への情報提供                       | ・学校と保護者が協力して進路指導に向かう体制づくりを構築<br>・保護者へ向け最新の進路情報を発信・共有                                                                         | 参加率が飛躍的に向上したオンラインでの説明会を引き続き改善実施していく。                                               | オンラインでの説明に対する保護者の技術的・心理的なハードルはほぼ無くなり、円滑に運用できるようになった。特にオンデマンドは繰り返し視聴できるため、任意のタイミングで大事なところを確認できる利点がある。その一方で、関心が希薄な場合には情報を見逃す可能性もあるため、発信側の告知内容や手法により一層の工夫を必要とする。                        |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                          | 事業の取組内容                                                                                                                                                                    | 令和4年度の取組計画                                                             | 令和4年度の成果・課題                                                                          |
|--------|------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| A44101 | 重点   | 定員充足を基本とした入学人数の確保              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験者数1,000人、在籍生徒数は適正数値を目指す</li> <li>・神奈川県私立学校入学選抜制度による、生徒募集の厳格管理</li> <li>・適正な内申基準の設定、効果的な入試制度、更なる改善</li> </ul>                     | 令和3年度入学人数は目標値より65名超過したため、前年度までの入試実績等に基づき上位クラスの内申基準を適正化し、生徒募集の厳格管理を進める。 | 令和4年度入学人数は目標値より125名超過したため、生徒募集における内申点の基準に若干の変更を加えた。これにより全校生徒の総数が超過している現状の改善を図った。     |
| A44201 |      | 学校説明会をはじめとする広報活動の効果的かつ適正な運用    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者の満足度を落とすことなく、アピールすべき内容を的確に伝える</li> <li>・教員の配置の更なる改善、説明内容の精査</li> <li>・マニュアルの徹底、説明資料の統一と共有化</li> <li>・来場者に対する丁寧な対応を徹底</li> </ul> | オンライン説明会、施設見学会それぞれの有効性を活かし、訴求力の高い説明会や施設見学を実施するなど、広報活動の見直しを図る。          | オンライン説明会への移行、学校説明会の予約入場が定着した。結果として来場者は過去の人数よりも少ない。オンライン説明会を含めると、本校の説明を聞いた人数は過去と遜色ない。 |
| A44301 |      | ホームページをはじめとするインターネットの一層の活用及び充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試・広報に関する情報の情報等、本校ホームページの充実</li> <li>・ホームページのスマートフォン用サイトの充実を図る。</li> <li>・LINE公式アカウント、YouTubeチャンネル等の充実を図る。</li> </ul>              | YouTubeなどのWebコンテンツ充実を図る。                                               | 説明会の半数をオンラインに切り替えることで、より多くの層に広報活動の提供が実現した。HP業者のレスポンスの悪さが目立つことから、根本的な改善を図ることが課題。      |



## A5. 学園運営・経営

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.       | 重点事業 | 事業計画名                              | 事業の取組内容                                                                                                                                                  | 令和4年度の取組計画                                                                                                                          | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                 |
|-------------|------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A51101      | 重点   | 入学定員の確実な確保(本学一般入試・大学入学共通テスト)       | 各学科の競合大学の状況や受験者ニーズを分析・考慮した上で、試験科目、出題分野、試験日程、地方会場等を検証し、時代に即した入学試験を実施する。また、時期に合わせた広報活動も実施する。                                                               | 一般Ⅰ期では、令和5年1月の入試で、初めて5学科共通入試を実施予定である。その他の2月3日獣医学科以外の日程は、前年に引き続き獣医学科を除く4学科統一問題入試とし、受験の機会を増やす。地方入試会場は、各会場の出願者数等の入試結果を踏まえて検討する。        | 一般入試Ⅰ期では、令和5年1月入試を5学科で実施したことにより、獣医学科の志願者を増やすことができたが、獣医学科を除く4学科は、志願者を増やすことはできなかった。これら4学科の受験者層は、年内での進路決定者が増加傾向にあり、一般入試での志願者確保がより厳しくなる状況にある。                   |
| A51102      | 重点   | 入学定員の確実な確保（推薦等入学試験）                | 指定校・協定校含む戦略的な推薦入学試験を実現するため、強化地域（例：鉄道沿線や本学の教育ニーズの高い地域）、高校の課程別戦略、評定基準、試験実施方法等を精査し、時代と受験者ニーズに即した推薦入学試験を実現する。                                                | 令和4年10月入試では、生命・環境科学部全体で総合型選抜入試の導入を検討する。さらに臨床検査技術学科の指定校では、対象校の大幅な拡充及び評定の見直しを図る。そのほか、生命・環境科学部一般推薦の試験科目を「小論文」から「課題論文」にし、出願しやすい入試を実現する。 | 10月入試では、生命・環境科学部に「総合型選抜入学試験」を新規実施したところ、募集人員をほぼ確保できた。11月入試では、指定校推薦特別入試志願者が環境科学科を除いて増加したところであるが、推薦入試志願者が獣医学科を除いて減少した。総合型選抜入試志願者が増加し、推薦入試志願者が減少する傾向にある。        |
| A51103      |      | 学部学科の改組等の教育組織改革                    | 少子化が進行する中、大学における入学定員充足と学園経営の安定化を維持するため、時代に即した教育の提供を目的に、改組等について検討し取り組む。                                                                                   | 学部学科改組(案)を理事会審議・評議員会での意見聴取を経て、文部科学省大学設置分科会運営委員会の事前相談に必要な書類の作成、事前相談、審査結果により学園寄附行為の改正、設置届出書類の作成等を行う。                                  | 獣医保健看護学科の事前相談実施の結果、届出による設置が認められた。<br>獣医学科を除く他学科の改組は令和8年度に設置するため、今後、必要な検討を進めていく。                                                                             |
| A51104      |      | 博物館の教育への活用                         | 両学部にて、学生の教育活動の場として、「歴史的資料の展示」、「動物標本の展示」、「研究内容の紹介の展示」を3本柱とする博物館として積極的に活用されており、今後とも継続して活用されるよう取り組んでいく。                                                     | アフターコロナを期待し、教育への活用をより効果的な博物館にするため、「歴史的資料の展示」をロビーへ移し、フィールドワークセンターのコーナーを設置する等のレイアウト変更を行う。                                             | 「歴史的資料の展示」をロビーへ移設し、動物応用科学科2年次「進化分類学」の授業を実施した。また、ロビーにて、期間限定でJAXA及び相模原市立博物館との連携でミニ提示を行った。更にミュージットの市立博物館における展示解説実習の橋渡しを行った。                                    |
| A51201<br>★ | 重点   | 附属高校との充実した連携                       | 従来からの取組に加えて、「出る杭を引き出す教育プログラム」の中の高大連携プログラム「いのちと共生の研究プログラム」への参加を働きかけるとともに、動物・生命科学に興味を持つ生徒の進学につなげる。                                                         | 関係教員、教務課、広報課及び入試課が連携の上、附属高校の生徒と一緒にプログラム作りを行える環境の整備を行う。                                                                              | 「出る杭を引き出す教育プログラム（以下、麻布出る杭）」の高大連携プログラム「いのちと共生の研究プログラム」を計画したが、コロナ禍の影響もあり、附属高校生を招く、大学教員が高校に赴く等の活動は取れなかった。「麻布出る杭」のホームページのカスタマイズに着手し、取組内容の周知に努めた。                |
| A51202      | 重点   | 新たな協定校の開拓                          | 従来からの連携協定校との取組に加えて、入学実績のある高校や本学の教育に関心を持つ高校との協定を推進する。協定内容には指定校推薦枠、聴講科目の提供、夏期体験実習及び夏休み研究室体験の受入れ、教育実習受入などを検討。また、高校・大学の教育連携を深めて、「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」につなげる。 | 教育連携校、高大連携校、一貫校(附属高校)の14校と併せて、入学実績等の高い近隣高校との連携を強化し、志願者確保に繋がるように教育連携プログラムの企画・運営を継続するとともに、「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」と連携した教育について検討する。      | 令和4年度は、新たに4校（県立横須賀、新渡戸文化、明星学校、相模女子大学高等部）と協定を締結した。また、受験者確保に向けた高大連携事業として、夏休みに研究室見学・体験等の特別プログラムを実施した。既成協定校に対しては、入試広報課と連携し受験状況・入学状況を確認し、連携が無実となっている高校の洗い出しを行った。 |
| A51401      |      | 5年間(令和3年度～令和7年度)で収益源となる事業の整理・調査・提案 | 学園の新たな収益につながる事業の調査・実行方法等を検討し、学園内で定着・推進できる取組の調査を行う。令和9年度4月を事業のスタート年度となることを目指し、学園発展の一助となる事業を整理・調査・提案する。                                                    | 自動販売機での収益事業の実現に向けて必要な企業へのヒアリングや事務手続（寄附行為の改正の検討）等を検証して取り組み、その他の収益事業についても引き続き情報収集を行う。                                                 | 法人管轄による「学園内の自動販売機の設置」に向けて、私学事業団への法的解釈の確認、各自販業者との交渉、学内部署（財務管財課、高校事務、動物病院、大学生協、同窓会）との調整を図った。<br>結果、経理処理の煩雑さ、同窓会との兼ね合いを考慮し、法人による自動販売機の設置は見送った。                 |
| A52101      | 重点   | 動物病院の経営改善の取組                       | 収支改善に向けた診療単価等の見直しを行い、年度毎に収支状況の分析を実施し、更なる改善の検討を行う。また、診療インセンティブ制度を導入して、診療科及び教員のモチベーションを高めて、診療件数の増加を図る。                                                     | 収支改善に向けたロードマップを作成する。各改革案に対し、担当者を明確にして実行に移す。実行された改革は数値で達成度評価を行う。長期的には件数が減少傾向にあるため、各診療科で件数増の具体的な取組と目標数を検討し、成果によりインセンティブを与えることを検討する。   | 小動物診療部は、令和2年度と比べ着実に件数を伸ばしている。病院全体では、昨年度診療件数が933件あった馬診療科が休診となったが、昨年比271件増となった。馬診療科を除く病院全体では前年比111.7%となっている。次年度増改築に伴う休診期間の診療件数減を最小限に抑えるよう検討が必要。               |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                                                   | 事業の取組内容                                                                                                                  | 令和4年度の取組計画                                                                                                                            | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A52102 | 重点   | 動物病院業務体制の整備                                             | 動物病院改革に取り組む委員会が業務体制の問題点や改善点の検討を行い、教員、動物看護師及び事務職員の意識改革を推進するとともに業務委託による負担軽減を行う。特任教員の適性な労務管理の徹底、専任教員の指導による特任教員の診療の質の向上に取り組む | 今年度に引き続き、病院スタッフの意識改革を実施する。令和4年度改革に伴い業務に支障がないよう検討及び引継ぎを行う。改革後の成果を年度ごとに評価し、収支改善を原資とし、必要に応じて、更なる増収につながる特任教員の増員、機器更新等を検討する。               | 業務体制は診療サポート部を立ち上げ、検査業務委託は仕様書を作成し1社と協議を重ねていたが、条件の見直しが必要となったことから一旦凍結することとした。血液検査業務は、外部からの検査依頼を促進することで、学術的活性化を目指すことにした。方法については、診療サポート部で検討を進めている。<br>なお、活性化の見通しが見えない場合は、グレードダウンを含め業務委託の検討を再開する予定である。看護師の業務整理は継続して整理を進める。特任教員の労務管理は、動物病院ならびに学園の顧問弁護士及び社労士に依頼し、就業規則の見直しを行っている。特任教員1種を2人純増することで、臨床業務の発展につなげた。 |
| A52103 | 重点   | 動物病院改修に向けた構想・方針の策定と改修工事                                 | 令和2年11月に設置した増改築委員会で、参加型臨床実習に適した改修及び診療件数増を考慮した診察室等の増改築を検討し、基本構想を決定する。管財課と連携して動物病院改修を進める。                                  | 基本設計時に飼主及び教職員にとって利便性のある建物になるよう検討を進める。また、学外理事からの助言を含め、令和5年度着工を実現できるよう引き続き、管財課と動物病院設計委員会において、さらに検討を進めて行く。                               | 基本設計が完了し、入札により設計施工業者の選定を実施し、今年度中に実施設計を完了させた。なお、地盤調査の結果次第では、令和5年度の竣工が難しい状況になることが判明したため、次年度以降のスケジュールについては臨機応変に対応する。                                                                                                                                                                                      |
| A52104 | 重点   | 動物病院改修工事の早期着工（参加型臨床実習の実施を見据えた改築及び増築）                    | 令和3年度に動物病院の増改築等に係る基本設計を行う。令和4年度に着工し、令和5年度に動物病院の増改築等竣工を目指す。※令和4年度は、小動物舎2を解体し、動物病院の増改築等に伴う、駐車場の整備を行う。                      | 設計施工（実施設計～施工）は、業者入札を行い、決定することとし、動物病院の増改築等に係る実施設計を完了する。                                                                                | 附属動物病院の増改築工事について、基本設計を行った上で、実施設計・施工業者入札を行い、施工業者を決定した。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| A52201 | 重点   | 馬の診療の充実化                                                | 馬の診療充実化は、他大学にない取組であり本学の参加型臨床実習を軸とする「特色ある臨床教育」を充実させる。高度医療機器を活用した専門医療は、附属動物病院の収入増とともに、オリンピックや国体の競技馬診療等で、教育と公共の福祉に大きく貢献する。  | 令和4年度は専任教員の配置が困難となったため、早期に馬診療体制の立て直しを図る必要があり、令和5年度に向け専任教員の公募を検討して行く。                                                                  | 令和3年度に引き続き令和4年度も、馬診療科の専任教員を充足できなかったことから馬診療については実施困難な状況である。次年度以降できるだけ早く、馬診療の立て直しを図り、令和2年度以前の体制に戻すことが最優先課題となっている。                                                                                                                                                                                        |
| A52202 |      | 動物病院Webサイトの改修                                           | 臨床獣医師や飼主が情報を得やすいWebの再構成と情報の提供を行い、改修で失われていた産業動物の項目を復活させ、動物病院のプレスリリースを強化し、情報発信源としての位置付けを強化する。                              | 広報委員会において、リニューアル後のHPの検証を行い、情報発信力の強化に努める。紹介獣医師の利便性を向上させるため、HPで予約ができるシステムを引き続き検討を行う。SNSを利用した情報発信についても検討を進める。プレスリリースは年1回程度実施できるよう検討を進める。 | 今年度の取組であげていたSNSを利用した情報発信について、Twitter及びFacebookの運用を開始した。定期的に情報発信を行っており、今後はフォロワー数を伸ばせるよう広報委員会を中心に検討する。また、Google Formsを利用し初診・再診のオンライン受付も開始し、着々と件数を伸ばせている。                                                                                                                                                 |
| A52301 |      | 学園内外に向けた教育セミナー、症例検討会の充実化・紹介病院の拡大（オンライン／オンデマンドでの実施方法の開拓） | 対面式講義で開催していた教育セミナーをオンライン、オンデマンドとすることで時間や地域に縛られることなく、学ぶ場を提供する。その環境を整備し、地域連携・渉外課と連携して実施する。                                 | 関係部署間で連携を図り、卒業生や近隣の動物病院への告知を強化する。また、視聴者アンケートに基づいて講師や講演内容の調整、その他何らかの企画セミナーなどを検討する。                                                     | 昨年度に引き続き、今年度も獣医師専用の動画配信会社を利用したオンデマンド配信の形式で年12回実施を予定していたが、7回しか実施できなかった。また、昨年に比べ視聴回数が減少傾向にあるため、視聴者が興味をそえられるようなコンテンツで視聴回数を伸ばせるかが課題である。                                                                                                                                                                    |
| A52302 |      | 市民向け公開講座の開講                                             | 本学附属動物病院で行っている診療活動の広報の一環として、学園祭又はオープンキャンパスを利用して市民向け講演会を行い、獣医療に対して理解を深めてもらう。                                              | 広報委員会において、市民向け情報発信ができるよう引き続き検討する。コロナ禍の状況を考慮しつつ本院の取組について対面、オンライン及びホームページによる情報発信等による市民向け情報発信を行う。プレスリリースは、広報課と協力し実施に向け、引き続き検討する。         | 昨年度に引き続き、コロナ禍であったが、今年度は市民大学を河合先生・恩田先生が担当し、「牛の泌乳生理を語る」「牛の健康のために、麻布大学附属動物病院がしていること」について講義を実施。病院単体で開催することは困難なため、次年度以降も他課と連携して検討する。                                                                                                                                                                        |
| A53101 |      | 事務職員ポートフォリオ（スキル等可視化）                                    | 事務職員のスキル、経験等を統一的に把握し、人材活用や事務組織の活性化につなげる。                                                                                 | 人材活用や事務組織の活性化に資するための把握すべき項目等を検討する。                                                                                                    | 過去の経歴調査の項目の再点検と整理に着手した。なお、世の中の評価観点が多様化しているため、人材活用や事務組織の活性化に資するために把握すべき項目等の情報収集が次年度の課題と捉えている。                                                                                                                                                                                                           |

## II 事業の概要

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                              | 事業の取組内容                                                                                                        | 令和4年度の取組計画                                                                                                            | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                      |
|--------|------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A53102 |      | 事務職員の専門知識・能力向上の取組                  | 外部機関等を活用し業務に直接関係する専門知識・能力の向上に資する研修等への参加を組織的に実施する。<br>大学基準協会研修員制度の利用、推奨資格、勉強会等についても検討する。                        | ①外部機関の研修等に1人1回参加する。<br>②認証評価機関に評価委員候補を1人推薦する。                                                                         | ①外部機関が主催するWeb研修に1人2回参加し、知識・能力の向上に努めた。<br>②認証評価機関の評価委員候補に4人推薦し、1人が委員として委嘱された。<br>令和3年度に大学基準協会研修員として派遣した職員が、令和6年度第3期認証評価の受審に向けた学内への説明ならびに準備を牽引した。  |
| A53103 |      | 大学運営の現状理解の浸透や教職協働による取組の推進          | 学園・大学の運営方針や財務状況等の理解・浸透を図り、教職協働による取組の推進を図る。                                                                     | 大学運営の現状理解等に資するSDを1回開催する。                                                                                              | 1月には理事長及び学長から今後の学園・大学の運営方針等を含めたビデオメッセージが配信され、教職協働体制の今後より一層の必要性等を含めた理解が図られた                                                                       |
| A53201 |      | 特定資産の純増計画及び資産運用の見直し                | 財政基盤の安定化に向けた収入増加策として、資産運用規模を拡大するため、平成28年度から令和12年度までの15年間にわたって資産運用の資金源となる施設設備引当特定資産及び減価償却引当特定資産を30億円純増させる。      | 令和4年度予算に基づき特定資産の繰入額及び有価証券購入額を決定する。また、有価証券の購入にあたっては、理事会において基本方針を決定する。                                                  | 一般支払資金から施設設備引当特定資産に対して10億円を繰り入れ、8月末までに有価証券10億円を購入した。施設設備・減価償却引当特定資産に係る令和4年度末保有高66億円、有価証券に係る令和4年度末保有高59億円、受取利息にかかる令和4年度収入額5,916万円となった。            |
| A53202 |      | 寄付金事業（未来募金）の運用                     | 2017年から実施している「麻布獣医学園未来募金」の募集を引き続き実施するとともに、活用について適宜検討を行う。                                                       | 病院増改築にあわせて、獣医学部の卒業生をターゲットとした寄付金の募集を行う。                                                                                | 「麻布獣医学園未来募金」の募集として、中間学年を対象に趣意書を6月に発送し、12月に故人からの2,200万円の寄付があったので、令和4年度の目標金額に達することができた。例年6月に発送している中間学年以外にも、令和5年度の取組課題として、初年次の学年を対象に趣意書の追加発送を2月に行う。 |
| A53203 |      | 既存施設の有効活用                          | 授業や学園行事を優先した上で、地域・社会貢献の観点から、学外者等への貸出を行い、学園既存施設の有効活用を図る。施設貸出を行うに当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の衛生管理を徹底した上で行う。            | 再開方針及び再開時期を十分に検討し、授業や学園行事を優先した上で、地域・社会貢献の観点から、学外者等への貸出を行い、学園既存施設の有効活用を図る。施設貸出を行うに当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の衛生管理を徹底した上で行う。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部貸出は行えなかった。ただし、本学学生を対象とした資格試験・講習等においては、衛生管理を徹底の上、施設の貸出を実施した。<br>新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、学外者等への施設貸出の再開に向け、規程の改正、ホームページ上での告知等を行った。   |
| A53204 |      | 評議員選挙制度の見直し及びこれからの時代に対応できる理事体制への改革 | 評議員選挙の在り方について、理事の選任方法の見直しを含め、今後の厳しい学校法人経営に対応できる経営体制の構築を行う。                                                     | 私立学校法改正の法案審議の経過を見て、改正内容に対応する学園の評議員及び理事の選任方法の検討を行う。                                                                    | 私立学校法改正（令和7年4月1日施行予定）の動向を把握し、理事会・評議員会に情報提供するとともに、「理事及び評議員の選任方法」について改正の趣旨と過去の経緯を踏まえて、見直し案を作成した。<br>令和5年中に公布予定の改正私立学校法に基づき、必要に応じて対応が求められている。       |
| A53301 |      | 出産・育児・介護等の両立支援に向けた取組               | ライフステージを考慮した出産・育児・介護等の両立支援に資する取組を検討する。                                                                         | ①出産、育児、介護を理由とする離職者なしを目指す。<br>②女性の育児休業取得率100%を目指す。                                                                     | ①出産、育児、介護を理由とする離職者はいない。<br>②子が出生した者9人（女性2人、男性7人）のうち、育児休業を取得した者は3人（女性2人、男性1人）であり、女性の取得率は100%であった。                                                 |
| A53401 |      | 意思決定方法の簡略化（電子決裁の導入やプロセスの検討）        | 決定権限の見直しを図り、出張伺いや外部委員の委嘱等の簡易な文書は、メール、ワークフロー等の活用により簡略化するとともに、決裁者の人数を削減する。併せて情報セキュリティ等を見据えルール化を図る。               | ポータルシステムのワークフロー機能を用いて、学内手続き書類による手続きの電子化を実施する。一部移行が困難な書類以外は原則として、決裁手続きの電子化とデジタル保存に移行させる。                               | 手続書類の一元管理リストを作成し、提供・申請方法を整理して63点（5%）の書類を電子申請に切替え、システム導入により超過勤務命薄を廃止した。また、原書類のワークフロー化は、一部の部署での試験的運用に着手した。手続書類の一元提供は事務局ホームページの新システムへの移行作業が課題である。   |
| A53501 | 重点   | キャンパスマスタープラン第Ⅳ期の構築と実行              | キャンパスマスタープラン第Ⅳ期の構築と実行<br>主な事業は次のとおりである。<br>・令和4年度に新牛舎の竣工を目指す。<br>・令和3年度に動物病院の増改築に係る基本設計。<br>・令和5年度に動物病院の増改築竣工。 | キャンパスマスタープランで令和4年度に計画している新牛舎の竣工及び動物病院増改築工事の実施設設計がスケジュールどおり進むよう、各方面との調整及び進行管理を行う。                                      | 新牛舎にあつては、計画通り令和4年秋に竣工を行った。動物病院増改築工事にあつては、実施設計・施工の入札を行い、業者を決定した。引き続き、令和6年春の竣工（予定）に向けて事業計画を進めることとする。                                               |

重点：本学における重点事業

★：文部科学省「出る杭を引き出す教育プログラム」関連事業

| 計画No.  | 重点事業 | 事業計画名                     | 事業の取組内容                                                                                                               | 令和4年度の取組計画                                                                                       | 令和4年度の成果・課題                                                                                                                                        |
|--------|------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A53502 |      | 大学及び附属高校の教育環境の整備修繕の計画的な実施 | 大学及び附属高校の設備、中長期修繕計画の中で、評価区分等を精査し、優先順位を基に各建物の電気、空調、衛生関連の修繕等を年次毎に計画的に行い、施設・設備の長寿命化を図る。                                  | 大学及び附属高校の設備、中長期修繕計画の中で、評価区分等を精査し、予算化配分額に応じた優先順位に基づき、各建物の電気、空調、衛生関連の修繕等を年次毎に計画的に行い、施設・設備の長寿命化を図る。 | 大学及び附属高校の設備、中長期修繕計画の中で、評価区分等を精査し、令和4年度に予算化配分額に応じた優先順位に基づき、各建物の電気、空調、衛生関連の修繕等を計画的に実施した。<br>課題としては、2040年度までの中長期修繕計画に基づき実行することが望ましい。                  |
| A53601 | 重点   | 情報セキュリティ対策実施手順の策定         | 2019（平成31）年4月に全学的な情報セキュリティポリシーを改定し、情報セキュリティ対策を実施してきたが、それらを具体化する実施規程と一連の手順の整備が必要であることから、情報システムにおける情報セキュリティ対策実施手順を策定する。 | 情報化推進本部長の下、情報セキュリティ委員会事務が中心となって情報セキュリティ実施手順書を策定する。                                               | 情報化推進本部長の下、情報セキュリティ実施手順書の策定に本格的に着手し、情報セキュリティ関連ガイドラインの制定及び電子メールシステム利用規則の一部改正を行った。これらの規程は、令和5年4月から施行する。本規程の策定に当たっては、国立情報学研究所が公開している「サンプル規程集」を参考にした。  |
| A53602 | 重点   | 情報セキュリティ事故に対応するCSIRTの体制整備 | 学校法人麻布獣医学園情報セキュリティ対策基準第32条に基づき、情報セキュリティインシデント対応の体制「CSIRT（computer security incident response team）」を整備する。             | 情報化推進本部及び情報セキュリティ委員会にて検討を行い、CSIRTの体制を整備する。                                                       | 情報化推進本部にて検討を行い、既に参加済みのサイバーリスク保険と学内リソースを活用して情報セキュリティインシデント対応の体制「麻布獣医学園CSIRT」を整備した。これに併せて、学校法人麻布獣医学園CSIRT（情報セキュリティインシデント対応チーム）設置規程を制定し、令和5年4月から施行する。 |







## 4. 教育研究の概要

### 【大学（学士）〔令和 4(2022)年度〕】

#### ディプロマ・ポリシー

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学の教育に基づき、ICTを活用し、人と動物と環境の共生をめざす専門的知識と技術を習得し、主体的に学び続け、他者と協働して共に成長できる、幅広い視野を持ち国際社会に対して積極的に貢献できる能力を身に付け、所定の単位の修得及び所定の課程を修了して卒業を認めた者に対して、学士の学位を授与する。

#### カリキュラム・ポリシー

麻布大学は、学生にディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に掲げる専門知識・技術などの実践力及び適切な倫理観を修得させるために、基礎教育あるいは教養教育系科目、専門教育系科目を体系的に編成し、ICTを活用しカリキュラムの充実を図り、講義、演習、実習等を適切に組合せた授業により主体的・自律的な学習を促す教育を実施する。

#### アドミッション・ポリシー

麻布大学では「学理の討究と誠実なる実践」を建学の精神とし、大学の教育の目的を、獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしている。この目的を達成するために、獣医学部と生命・環境科学部を設置し、そこでは教育理念として「地球共生系『人と動物と環境の共生をめざして』」を掲げて教育研究を実施している。両学部ともに、本学の建学の精神をよく理解し、教育の目的、教育理念に賛同し、明確な目的意識を持ち、主体性をもって多様な人々と協働した学びや自己の成長への強い意欲に溢れ、能動的に貢献する姿勢を持ち、また大学教育を受けるに十分な基礎学力を有する学生を求めている。

### 【大学院（修士・博士）〔令和 4(2022)年度〕】

#### ディプロマ・ポリシー

(修士)

動物応用科学、畜産学、生命科学、健康科学、環境科学及び社会科学それぞれの専門領域において、広い視野を持って高度な専門知識及び研究技術並びに科学者としての倫理観を備え、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。学位を授与される者は、専門性が求められる職業を担うための能力を身に付け、人と動物と環境の共生をめざして、健康社会、食の安全に貢献することができる。

(博士)

獣医学、動物応用科学、畜産学、生命科学、健康科学、環境科学及び社会科学それぞれの専門領域において、深い学識及び卓越した高度な専門知識及び研究技術並びに社会的実践能力を備え、かつ、学術の理論及び科学者としての倫理観を備え、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。学位を授与される者は、研究者として自立した研究活動ができる、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究・分析・提案能力を身に付け、人と動物と環境の共生をめざして、健全な社会の発展と国際貢献に寄与することができる。

#### カリキュラム・ポリシー

麻布大学では、大学院学生に、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に掲げる高度な専門性を持つ職業人として獣医学、畜産学、生命科学、健康科学及び環境科学に関する専門的知識及び研究技術などを基盤とした研究能力、課題解決能力、そして科学者としての倫理観を身に付けさせるために、各専攻分野の教育に必要な講義、演習、実習等を適切に組合せた授業を編成し、研究指導をする。また幅広くかつ深い学識あるいは学際的な分野の学習の機会を提供するために他研究科・他専攻の授業科目を履修する機会を設け、あるいは全学大学院生を対象にした大学院特別講義を開講している。

#### アドミッション・ポリシー

麻布大学では「学理の討究と誠実なる実践」を建学の精神とし、これに則り、大学院の教育の目的を、本学の教育理念に基づいた学部での教育研究を基盤として、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、高い技術力及び研究遂行能力を養い、また高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することとしている。この目的を達成するために、獣医学研究科と環境保健学研究科を設置し、教育研究を実施している。両研究科ともに、建学の精神をよく理解し、大学院の教育の目的に賛同し、本学大学院の目指す教育を受けるに相応しい能力・適性を有し、かつ研究意欲が旺盛な者で、大学院教育を受けるに十分な学士課程修了レベルの幅広い知識と教養を有する学生を求めている。

(1) 教育実施体制

令和4(2022)年5月1日現在

①教員及び学生数(人)

| 学部・学科等      |                                   |              | 教 員         |                                 |       |                                 |             |               |    | 学 生        |          |           |          |       |       |
|-------------|-----------------------------------|--------------|-------------|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------------|---------------|----|------------|----------|-----------|----------|-------|-------|
|             |                                   |              | 大学設置基準上の教員数 |                                 | 常勤教員数 |                                 | 常勤教員の学位取得状況 |               |    | 非常勤<br>教員数 | 入学<br>定員 | 編入学<br>定員 | 収容<br>定員 | 学生数   |       |
|             |                                   |              | 総数          | 内 教授(学部)<br>内 研究指導教<br>員教授(大学院) | 総数    | 内 教授(学部)<br>内 研究指導教<br>員教授(大学院) | 博士          | 修士<br>(6年制含む) | 学士 |            |          |           |          |       |       |
| 学 部         | 獣<br>医<br>学<br>部                  | 獣医学科         | 19          | 10                              | 51    | 19                              | 50          | 1             | 0  | 42         | 120      | —         | 720      | 877   |       |
|             |                                   | 動物応用科学学科     | 10          | 5                               | 23    | 7                               | 22          | 1             | 0  |            | 130      | —         | 520      | 551   |       |
|             |                                   | 基礎教育系        | —           | —                               | 6     | 2                               | 4           | 2             | 0  |            | —        | —         | —        | —     |       |
|             |                                   | 小計           | —           | —                               | 80    | 28                              | 76          | 4             | 0  |            | 42       | 250       | —        | 1,240 | 1,428 |
|             | 生 命・<br>環 境<br>科 学<br>部           | 臨床検査技術学科     | 8           | 4                               | 14    | 7                               | 13          | 1             | 0  | 35         | 80       | —         | 320      | 382   |       |
|             |                                   | 食品生命科学学科     | 8           | 4                               | 12    | 5                               | 12          | 0             | 0  |            | 80       | —         | 320      | 253   |       |
|             |                                   | 環境科学学科       | 8           | 4                               | 13    | 5                               | 12          | 1             | 0  |            | 80       | —         | 320      | 289   |       |
|             |                                   | 国際コミュニケーション  | —           | —                               | 2     | 0                               | 1           | 1             | 0  |            |          |           |          | —     |       |
|             |                                   | フィールドワーク     | —           | —                               | 1     | 1                               | 1           | 0             | 0  |            |          |           |          | —     |       |
|             |                                   | 数理・データサイエンス  | —           | —                               | 1     | 0                               | 1           | 0             | 0  |            |          |           |          | —     |       |
|             |                                   | 教職課程         | 2           | 1                               | 2     | 1                               | 2           | 0             | 0  |            | —        | —         | —        | —     |       |
|             |                                   | 寄附講座         | —           | —                               | 1     | 0                               | 1           | 0             | 0  | 0          | —        | —         | —        | —     |       |
|             |                                   | 小計           | —           | —                               | 46    | 19                              | 43          | 3             | 0  | 35         | 240      | —         | 960      | 924   |       |
|             | 大学設置基準上、大学全体<br>で必要な教員数           |              | 23          | 14                              | —     | —                               | —           | —             | —  | —          | —        | —         | —        | —     |       |
|             | 学部 計                              |              | 78          | 42                              | 126   | 47                              | 119         | 7             | 0  | 77         | 490      | —         | 2,200    | 2,352 |       |
| 研 究<br>科    | 獣<br>医<br>科<br>学<br>研<br>究<br>科   | 獣医学専攻博士課程    | 8           | 4                               | (38)  | (15)                            | —           | —             | —  | 0          | 10       | —         | 40       | 30    |       |
|             |                                   | 動物応用科<br>学専攻 | 博士前期課程      | 8                               | 4     | (23)                            | (11)        | —             | —  |            | —        | 20        | —        | 40    | 50    |
|             |                                   | 博士後期課程       | 8           | 3                               | (23)  | (11)                            | —           | —             | —  |            | 4        | —         | 12       | 2     |       |
|             |                                   | 小計           | 24          | 11                              | —     | —                               | —           | —             | —  |            | 0        | 34        | —        | 92    | 82    |
|             | 学 環<br>境<br>研<br>究<br>保<br>健<br>科 | 環境保健科<br>学専攻 | 博士前期課程      | 12                              | 4     | (36)                            | (15)        | —             | —  | —          | 0        | 7         | —        | 14    | 22    |
|             |                                   | 博士後期課程       | 12          | 4                               | (36)  | (12)                            | —           | —             | —  | 2          |          | —         | 6        | 3     |       |
|             |                                   | 小計           | 24          | 8                               | —     | —                               | —           | —             | —  | 0          |          | 9         | —        | 20    | 25    |
|             | 研究科 計                             |              | 48          | 19                              | —     | —                               | —           | —             | —  | 0          | 43       | —         | 112      | 107   |       |
| 附属動物病院      |                                   | —            | —           | 19                              | 0     | 3                               | 16          | 0             | 0  | —          | —        | —         | —        |       |       |
| 寄附講座        |                                   | —            | —           | 1                               | 0     | 1                               | 0           | 0             | 0  | —          | —        | —         | —        |       |       |
| 大学教育推進機構    |                                   | —            | —           | 1                               | 0     | 1                               | 0           | 0             | 0  | —          | —        | —         | —        |       |       |
| 附置生物科学総合研究所 |                                   | —            | —           | 1                               | 1     | 1                               | 0           | 0             | 0  | —          | —        | —         | —        |       |       |
| 総合計         |                                   | —            | —           | 148                             | 48    | 125                             | 23          | 0             | 77 | 533        | —        | 2,312     | 2,459    |       |       |

②職員数

(人)

|      | 常勤職員 | 非常勤職員 | 合計  |
|------|------|-------|-----|
| 麻布大学 | 86   | 70    | 156 |

1. ( ) は兼務者を表す。
2. 非常勤教員は、獣医学部、生命・環境科学部、大学院、附属高等学校を兼務していても代表身分に片寄せした実人数である。
3. 非常勤教員には、後期のみ授業を担当する者及び業務委託による講師を含む。
4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。



## (2) 入学試験実施状況

## ①令和5(2023)年度入学試験結果

## ■ 獣医学部

|         |               |       |       |       |       |       |       |       |       |       |         | (人)        |            | (点)        |  |
|---------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------------|------------|------------|--|
| 学科      | 試験区分          | 募集人員  | 志 願 者 |       |       | 受 験 者 |       |       | 合 格 者 |       |         | 合格者<br>最高点 | 合格者<br>最低点 | 合格者<br>平均点 |  |
|         |               |       | 男     | 女     | 計     | 男     | 女     | 計     | 男     | 女     | 計       |            |            |            |  |
| 獣医学科    | 推薦            | 28    | 43    | 78    | 121   | 42    | 78    | 120   | 12    | 34    | 46      | 非公表        | 非公表        | 非公表        |  |
|         | 外国人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 帰国生           | 若干名   | 0     | 2     | 2     | 0     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 社会人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 地域枠           | 若干名   | 2     | 2     | 4     | 2     | 2     | 4     | 2     | 2     | 4       |            |            |            |  |
|         | 獣医学科<br>その他※1 | 若干名   | 18    | 12    | 30    | 18    | 12    | 30    | 7     | 6     | 13      |            |            |            |  |
|         | 学士            | 若干名   | 9     | 17    | 26    | 9     | 17    | 26    | 3     | 4     | 7       |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅰ期A         | 70    | 220   | 342   | 562   | 209   | 334   | 543   | 19    | 29    | 48      | 297/300    | 264/300    | 273/300    |  |
|         | 一般Ⅰ期D         |       | 417   | 597   | 1,014 | 398   | 576   | 974   | 79    | 97    | 176     | 275/300    | 191/300    | 214/300    |  |
|         | 一般Ⅰ(A・D)小計    |       | 637   | 939   | 1,576 | 607   | 910   | 1,517 | 98    | 126   | 224     |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅱ期          | 10    | 164   | 262   | 426   | 124   | 199   | 323   | 3     | 9     | 12      | 240/300    | 213/300    | 219/300    |  |
|         | 共通テストⅠ期       | 7     | 263   | 409   | 672   | 259   | 407   | 666   | 45    | 69    | 114     | 563/600    | 457/600    | 492/600    |  |
| 共通テストⅡ期 | 5             | 20    | 31    | 51    | 19    | 31    | 50    | 6     | 11    | 17    | 555/600 | 455/600    | 487/600    |            |  |
| 合計      | 120           | 1,156 | 1,752 | 2,908 | 1,080 | 1,657 | 2,737 | 176   | 261   | 437   |         |            |            |            |  |
| 動物応用科学科 | 総合型           | 15    | 15    | 33    | 48    | 15    | 33    | 48    | 13    | 33    | 46      | 非公表        | 非公表        | 非公表        |  |
|         | 推薦※2          | 25    | 9     | 16    | 25    | 9     | 16    | 25    | 9     | 16    | 25      |            |            |            |  |
|         | 外国人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 帰国生           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 社会人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅰ期A         | 60    | 77    | 90    | 167   | 74    | 88    | 162   | 67    | 85    | 152     | 191/200    | 72/200     | 130/200    |  |
|         | 一般Ⅰ期B         |       | 17    | 37    | 54    | 16    | 36    | 52    | 16    | 35    | 51      | 192/200    | 87/200     | 142/200    |  |
|         | 一般Ⅰ期C         |       | 21    | 29    | 50    | 18    | 26    | 44    | 15    | 23    | 38      | 175/200    | 73/200     | 131/200    |  |
|         | 一般Ⅰ期E         |       | 12    | 20    | 32    | 7     | 19    | 26    | 7     | 18    | 25      | 158/200    | 52/200     | 95/200     |  |
|         | 一般Ⅰ(A～C・E)小計  |       | 127   | 176   | 303   | 115   | 169   | 284   | 105   | 161   | 266     |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅱ期          | 5     | 9     | 9     | 18    | 3     | 5     | 8     | 1     | 4     | 5       | 非公表        | 非公表        | 非公表        |  |
|         | 共通テストⅠ期       | 20    | 91    | 156   | 247   | 90    | 155   | 245   | 76    | 144   | 220     | 414/500    | 162/500    | 256/500    |  |
| 共通テストⅡ期 | 5             | 9     | 8     | 17    | 8     | 8     | 16    | 2     | 3     | 5     | 非公表     | 非公表        | 非公表        |            |  |
| 合計      | 130           | 260   | 398   | 658   | 240   | 386   | 626   | 206   | 361   | 567   |         |            |            |            |  |
| 獣医学部    | 総合型           | 15    | 15    | 33    | 48    | 15    | 33    | 48    | 13    | 33    | 46      |            |            |            |  |
|         | 推薦※2          | 53    | 52    | 94    | 146   | 51    | 94    | 145   | 21    | 50    | 71      |            |            |            |  |
|         | 外国人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 帰国生           | 若干名   | 0     | 2     | 2     | 0     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 社会人           | 若干名   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0       |            |            |            |  |
|         | 地域枠           | 若干名   | 2     | 2     | 4     | 2     | 2     | 4     | 2     | 2     | 4       |            |            |            |  |
|         | 獣医学科<br>その他※1 | 若干名   | 18    | 12    | 30    | 18    | 12    | 30    | 7     | 6     | 13      |            |            |            |  |
|         | 学士            | 若干名   | 9     | 17    | 26    | 9     | 17    | 26    | 3     | 4     | 7       |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅰ期          | 130   | 764   | 1,115 | 1,879 | 722   | 1,079 | 1,801 | 203   | 287   | 490     |            |            |            |  |
|         | 一般Ⅱ期          | 15    | 173   | 271   | 444   | 127   | 204   | 331   | 4     | 13    | 17      |            |            |            |  |
|         | 共通テストⅠ期       | 27    | 354   | 565   | 919   | 349   | 562   | 911   | 121   | 213   | 334     |            |            |            |  |
|         | 共通テストⅡ期       | 10    | 29    | 39    | 68    | 27    | 39    | 66    | 8     | 14    | 22      |            |            |            |  |
| 合計      | 250           | 1,416 | 2,150 | 3,566 | 1,320 | 2,043 | 3,363 | 382   | 622   | 1,004 |         |            |            |            |  |

※1【獣医学科】「獣医学科その他」：内訳（附属特別、卒業生後継者特別）

※2【動物応用科学科】「推薦」：内訳（推薦〔公募〕、附属特別、指定校推薦特別）

※3「一般」「共通テスト」の合格者が10人以下の試験区分については、「合格者最高点」「合格者最低点」「合格者平均点」を非公表とする。

〔編入学試験結果（編入年次：2年次）※獣医学部の編入学試験はなし〕

2023（令和5）年度 動物応用科学科の編入学試験は、志願者なし。

## 生命・環境科学部

(人) (点)

| 学科       | 試験区分         | 募集人員 | 志願者 |     |       | 受験者 |     |     | 合格者 |     |     | 合格者平均点  |
|----------|--------------|------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
|          |              |      | 男   | 女   | 計     | 男   | 女   | 計   | 男   | 女   | 計   |         |
| 臨床検査技術学科 | 総合型          | 若干名  | 3   | 11  | 14    | 3   | 11  | 14  | 3   | 7   | 10  | 非公表     |
|          | 推薦※1         | 20   | 10  | 26  | 36    | 10  | 26  | 36  | 10  | 26  | 36  |         |
|          | 帰国生          | 若干名  | 1   | 0   | 1     | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   |         |
|          | 社会人          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 一般Ⅰ期A        | 45   | 34  | 68  | 102   | 34  | 66  | 100 | 26  | 57  | 83  | 127/200 |
|          | 一般Ⅰ期B        |      | 13  | 25  | 38    | 13  | 23  | 36  | 11  | 19  | 30  | 126/200 |
|          | 一般Ⅰ期C        |      | 13  | 15  | 28    | 11  | 14  | 25  | 9   | 8   | 17  | 126/200 |
|          | 一般Ⅰ期E        |      | 2   | 2   | 4     | 1   | 2   | 3   | 1   | 1   | 2   | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ(A～C・E)小計 |      | 62  | 110 | 172   | 59  | 105 | 164 | 47  | 85  | 132 |         |
|          | 一般Ⅱ期         | 5    | 5   | 11  | 16    | 2   | 7   | 9   | 1   | 4   | 5   | 非公表     |
|          | 共通テストⅠ期      | 5    | 53  | 87  | 140   | 53  | 87  | 140 | 40  | 76  | 116 | 191/400 |
|          | 共通テストⅡ期      | 5    | 5   | 8   | 13    | 5   | 8   | 13  | 3   | 7   | 10  | 非公表     |
|          | 合計           | 80   | 139 | 253 | 392   | 133 | 244 | 377 | 105 | 205 | 310 |         |
| 食品生命科学科  | 総合型          | 15   | 5   | 1   | 6     | 5   | 1   | 6   | 5   | 1   | 6   | 非公表     |
|          | 推薦※1         | 25   | 15  | 18  | 33    | 15  | 18  | 33  | 15  | 18  | 33  |         |
|          | 帰国生          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 社会人          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 一般Ⅰ期A        | 25   | 42  | 44  | 86    | 42  | 41  | 83  | 42  | 41  | 83  | 118/200 |
|          | 一般Ⅰ期B        |      | 3   | 7   | 10    | 3   | 7   | 10  | 3   | 7   | 10  | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ期C        |      | 3   | 2   | 5     | 3   | 1   | 4   | 3   | 1   | 4   | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ期E        |      | 1   | 1   | 2     | 1   | 1   | 2   | 1   | 1   | 2   | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ(A～C・E)小計 |      | 49  | 54  | 103   | 49  | 50  | 99  | 49  | 50  | 99  |         |
|          | 一般Ⅱ期         | 5    | 4   | 1   | 5     | 2   | 1   | 3   | 2   | 1   | 3   | 非公表     |
|          | 共通テストⅠ期      | 5    | 48  | 57  | 105   | 48  | 57  | 105 | 44  | 56  | 100 | 188/400 |
|          | 共通テストⅡ期      | 5    | 5   | 5   | 10    | 5   | 5   | 10  | 5   | 5   | 10  | 非公表     |
|          | 合計           | 80   | 126 | 136 | 262   | 124 | 132 | 256 | 120 | 131 | 251 |         |
| 環境科学科    | 総合型          | 15   | 13  | 1   | 14    | 13  | 0   | 13  | 13  | 0   | 13  | 非公表     |
|          | 推薦※1         | 25   | 26  | 11  | 37    | 26  | 11  | 37  | 26  | 11  | 37  |         |
|          | 帰国生          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 社会人          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 一般Ⅰ期A        | 25   | 64  | 37  | 101   | 60  | 35  | 95  | 60  | 35  | 95  | 116/200 |
|          | 一般Ⅰ期B        |      | 16  | 6   | 22    | 15  | 6   | 21  | 15  | 6   | 21  | 118/200 |
|          | 一般Ⅰ期C        |      | 8   | 4   | 12    | 7   | 3   | 10  | 7   | 3   | 10  | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ期E        |      | 5   | 0   | 5     | 4   | 0   | 4   | 4   | 0   | 4   | 非公表     |
|          | 一般Ⅰ(A～C・E)小計 |      | 93  | 47  | 140   | 86  | 44  | 130 | 86  | 44  | 130 |         |
|          | 一般Ⅱ期         | 5    | 12  | 4   | 16    | 6   | 3   | 9   | 6   | 3   | 9   | 非公表     |
|          | 共通テストⅠ期      | 5    | 89  | 48  | 137   | 89  | 48  | 137 | 89  | 48  | 137 | 180/400 |
|          | 共通テストⅡ期      | 5    | 5   | 3   | 8     | 5   | 3   | 8   | 5   | 3   | 8   | 非公表     |
|          | 合計           | 80   | 238 | 114 | 352   | 225 | 109 | 334 | 225 | 109 | 334 |         |
| 生命・環境科学部 | 総合型          | 30   | 21  | 13  | 34    | 21  | 12  | 33  | 21  | 8   | 29  |         |
|          | 推薦※1         | 70   | 51  | 55  | 106   | 51  | 55  | 106 | 51  | 55  | 106 |         |
|          | 帰国生          | 若干名  | 1   | 0   | 1     | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   |         |
|          | 社会人          | 若干名  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |         |
|          | 一般Ⅰ期         | 95   | 204 | 211 | 415   | 194 | 199 | 393 | 182 | 179 | 361 |         |
|          | 一般Ⅱ期         | 15   | 21  | 16  | 37    | 10  | 11  | 21  | 9   | 8   | 17  |         |
|          | 共通テストⅠ期      | 15   | 190 | 192 | 382   | 190 | 192 | 382 | 173 | 180 | 353 |         |
|          | 共通テストⅡ期      | 15   | 15  | 16  | 31    | 15  | 16  | 31  | 13  | 15  | 28  |         |
|          | 合計           | 240  | 503 | 503 | 1,006 | 482 | 485 | 967 | 450 | 445 | 895 |         |

※1「推薦」：内訳（推薦〔公募〕、子女等、附属特別、指定校推薦特別、縁結び）

※2「一般」「共通テスト」の合格者が10人以下の試験区分については、「合格者平均点」を非公表とする。

## 編入学試験結果（編入年次：2年次）

(人) (点)

| 学科 | 試験区分 | 募集人員 | 志願者 |   |   | 受験者 |   |   | 合格者 |   |   | 合格者平均点 |
|----|------|------|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|--------|
|    |      |      | 男   | 女 | 計 | 男   | 女 | 計 | 男   | 女 | 計 |        |
| 臨検 | 編入   | 若干名  | 1   | 1 | 2 | 1   | 1 | 2 | 0   | 1 | 1 | 非公表    |
| 食品 | 編入   | 若干名  | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 |        |
| 環境 | 編入   | 若干名  | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0 |        |

## ■ 麻布大学大学院 2023 年度第 1 期、第 2 期入学試験（令和 5(2023)年 4 月入学）

| (人) |        |                  |      |      |      |     |    |    |     |    |    |     |    |    |    |
|-----|--------|------------------|------|------|------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|
| 研究科 | 専攻     | 課程               | 修業年限 | 試験区分 | 募集人員 | 志願者 |    |    | 受験者 |    |    | 合格者 |    |    |    |
|     |        |                  |      |      |      | 男   | 女  | 合計 | 男   | 女  | 合計 | 男   | 女  | 合計 |    |
| 獣医学 | 獣医学    | 博士               | 4年   | 第1期  | 10   | 1   | 2  | 3  | 1   | 2  | 3  | 1   | 2  | 3  |    |
|     |        |                  |      | 第2期  | 若干名  | 3   | 0  | 3  | 3   | 0  | 3  | 3   | 0  | 3  |    |
|     |        |                  |      | 合計   | 10   | 4   | 2  | 6  | 4   | 2  | 6  | 4   | 2  | 6  |    |
|     | 動物応用科学 | 博士前期             | 2年   | 第1期  | 20   | 9   | 21 | 30 | 9   | 21 | 30 | 8   | 20 | 28 |    |
|     |        |                  |      | 第2期  | 若干名  | 2   | 4  | 6  | 2   | 4  | 6  | 2   | 4  | 6  |    |
|     |        |                  |      | 合計   | 20   | 11  | 25 | 36 | 11  | 25 | 36 | 10  | 24 | 34 |    |
|     |        | 博士後期             | 3年   | 第1期  | 4    | 0   | 1  | 1  | 0   | 1  | 1  | 0   | 1  | 1  |    |
|     |        |                  |      | 第2期  | 若干名  | 0   | 2  | 2  | 0   | 2  | 2  | 0   | 2  | 2  |    |
|     |        |                  |      | 合計   | 4    | 0   | 3  | 3  | 0   | 3  | 3  | 0   | 3  | 3  |    |
|     |        | 第1期・第2期<br>研究科合計 |      |      |      | 34  | 15 | 30 | 45  | 15 | 30 | 45  | 14 | 29 | 43 |

| (人)   |        |                  |      |      |      |     |   |    |     |   |    |     |   |    |    |
|-------|--------|------------------|------|------|------|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|----|
| 研究科   | 専攻     | 課程               | 修業年限 | 試験区分 | 募集人員 | 志願者 |   |    | 受験者 |   |    | 合格者 |   |    |    |
|       |        |                  |      |      |      | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 |    |
| 環境保健学 | 環境保健科学 | 博士前期             | 2年   | 第1期  | 7    | 5   | 1 | 6  | 5   | 1 | 6  | 4   | 1 | 5  |    |
|       |        |                  |      | 第2期  | 若干名  | 4   | 1 | 5  | 4   | 1 | 5  | 4   | 1 | 5  |    |
|       |        |                  |      | 合計   | 7    | 9   | 2 | 11 | 9   | 2 | 11 | 8   | 2 | 10 |    |
|       |        | 博士後期             | 3年   | 第1期  | 2    | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  |    |
|       |        |                  |      | 第2期  | 若干名  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  |    |
|       |        |                  |      | 合計   | 2    | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  |    |
|       |        | 第1期・第2期<br>研究科合計 |      |      |      | 9   | 9 | 3  | 12  | 9 | 3  | 12  | 8 | 3  | 11 |

## ■ 麻布大学大学院 2022 年度 10 月期入学試験（令和 4(2022)年 10 月入学）

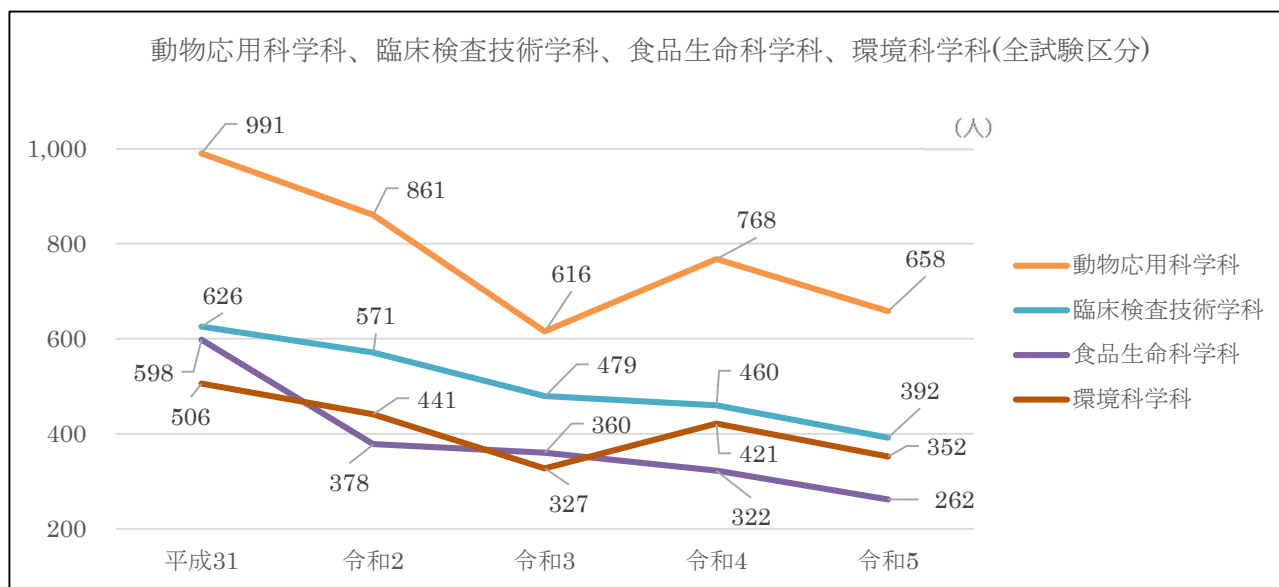
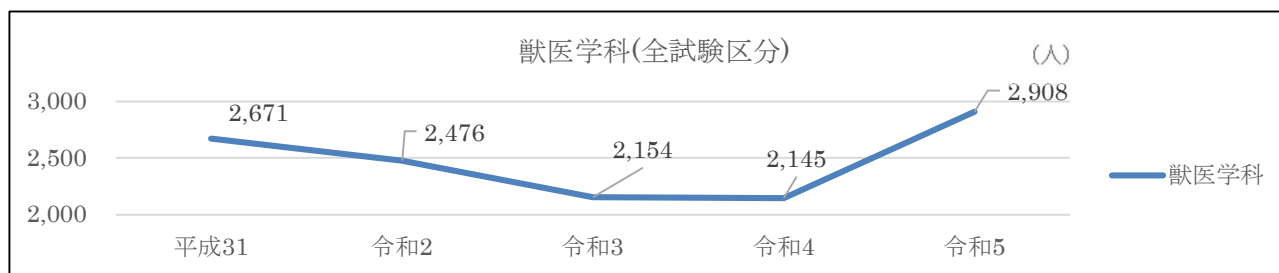
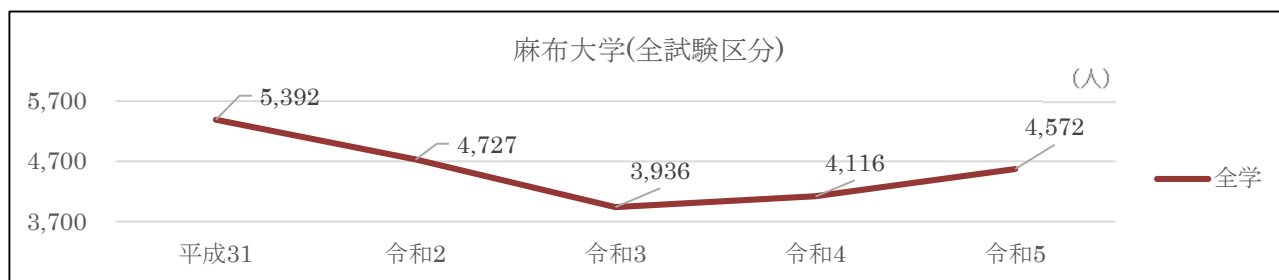
| (人) |        |               |      |      |      |     |   |    |     |   |    |     |   |    |
|-----|--------|---------------|------|------|------|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|
| 研究科 | 専攻     | 課程            | 修業年限 | 試験区分 | 募集人員 | 志願者 |   |    | 受験者 |   |    | 合格者 |   |    |
|     |        |               |      |      |      | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 |
| 獣医学 | 獣医学    | 博士            | 4年   | 10月期 | 若干名  | 1   | 1 | 2  | 1   | 1 | 2  | 1   | 0 | 1  |
|     | 動物応用科学 | 博士前期          | 2年   | 10月期 | 若干名  | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  | 0   | 1 | 1  |
|     |        | 博士後期          | 3年   | 10月期 | 若干名  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  |
|     |        | 10月期<br>研究科合計 |      |      | 若干名  | 1   | 2 | 3  | 1   | 2 | 3  | 1   | 1 | 2  |

| 研究科   | 専攻            | 課程   | 修業<br>年限 | 試験<br>区分 | 募集<br>人員 | 志願者 |   |    | 受験者 |   |    | 合格者 |   |    |
|-------|---------------|------|----------|----------|----------|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|
|       |               |      |          |          |          | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 | 男   | 女 | 合計 |
| 環境保健学 | 環境保健科学        | 博士前期 | 2年       | 10月期     | 若干名      | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  |
|       |               | 博士後期 | 3年       | 10月期     | 若干名      | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  |
|       | 10月期<br>研究科合計 |      |          | 若干名      | 0        | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 | 0  | 0   | 0 |    |

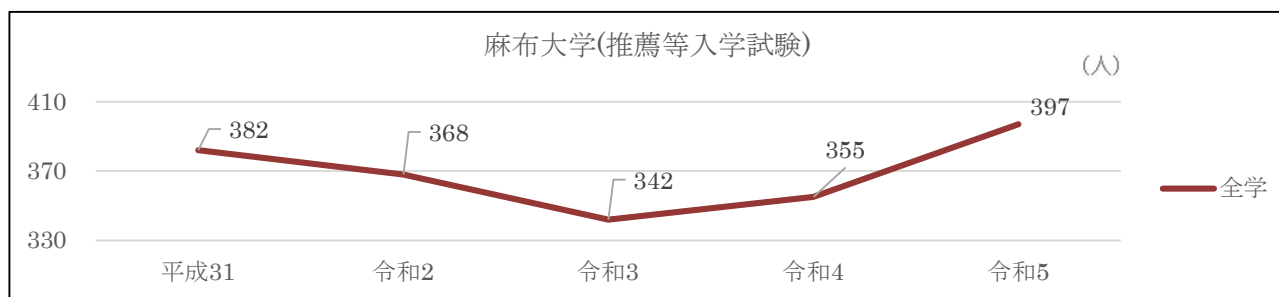
## ■ 麻布大学及び麻布大学大学院 入学者数

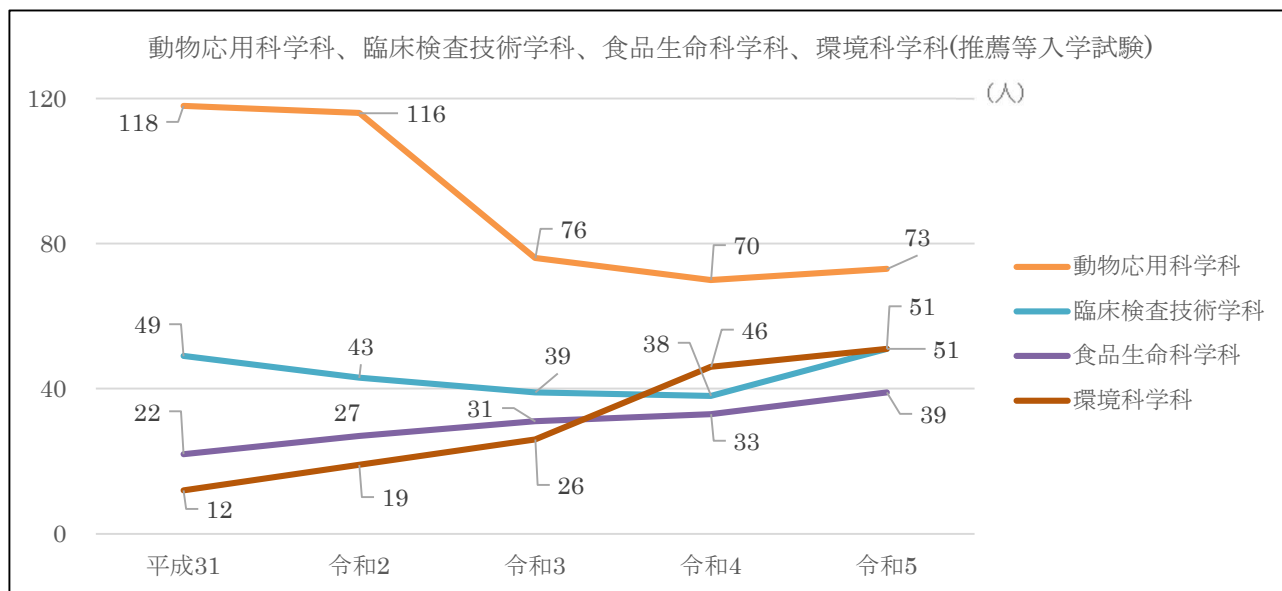
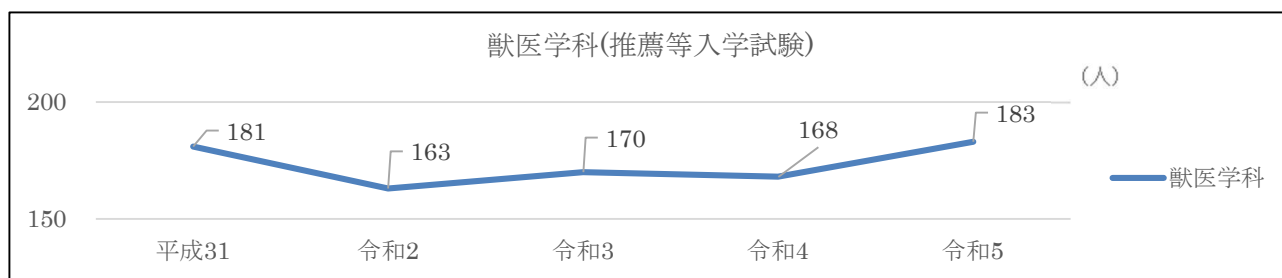
※入学者数については、法人の概要「5. 学生・生徒の状況」（P. 7）を参照。

■ 全試験区分 志願者数推移

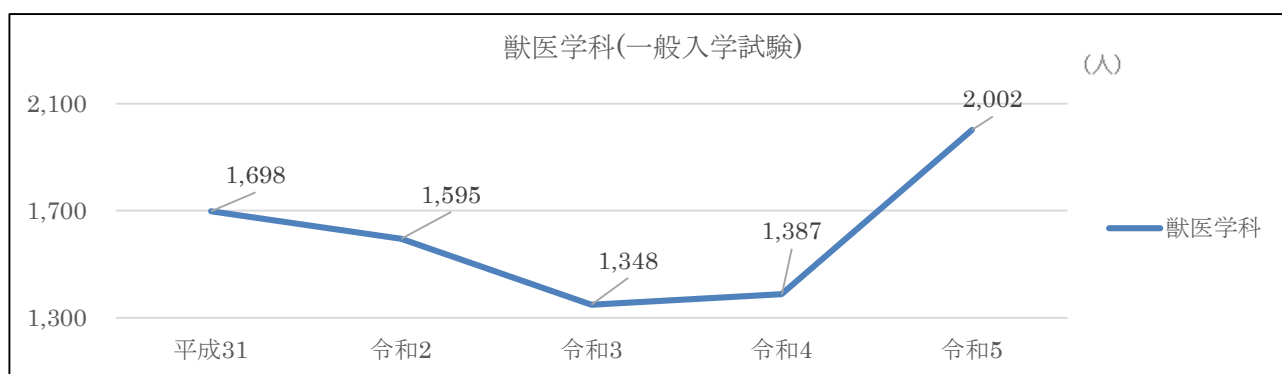
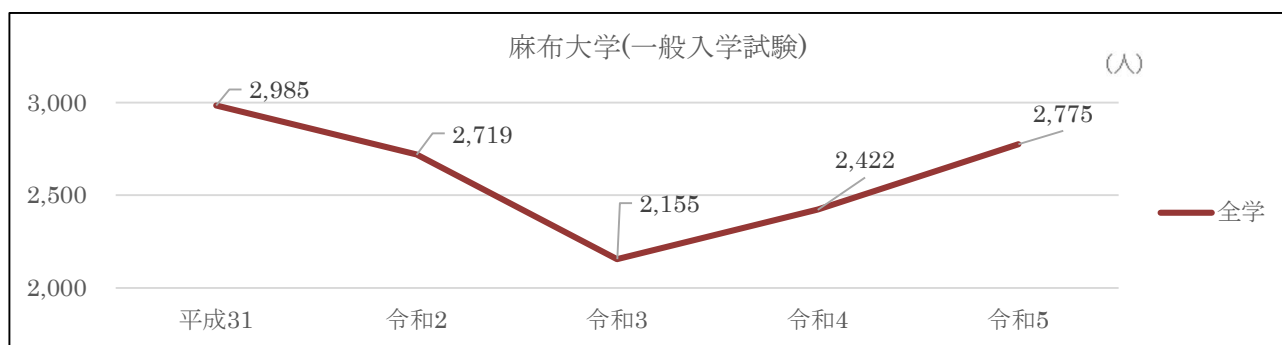


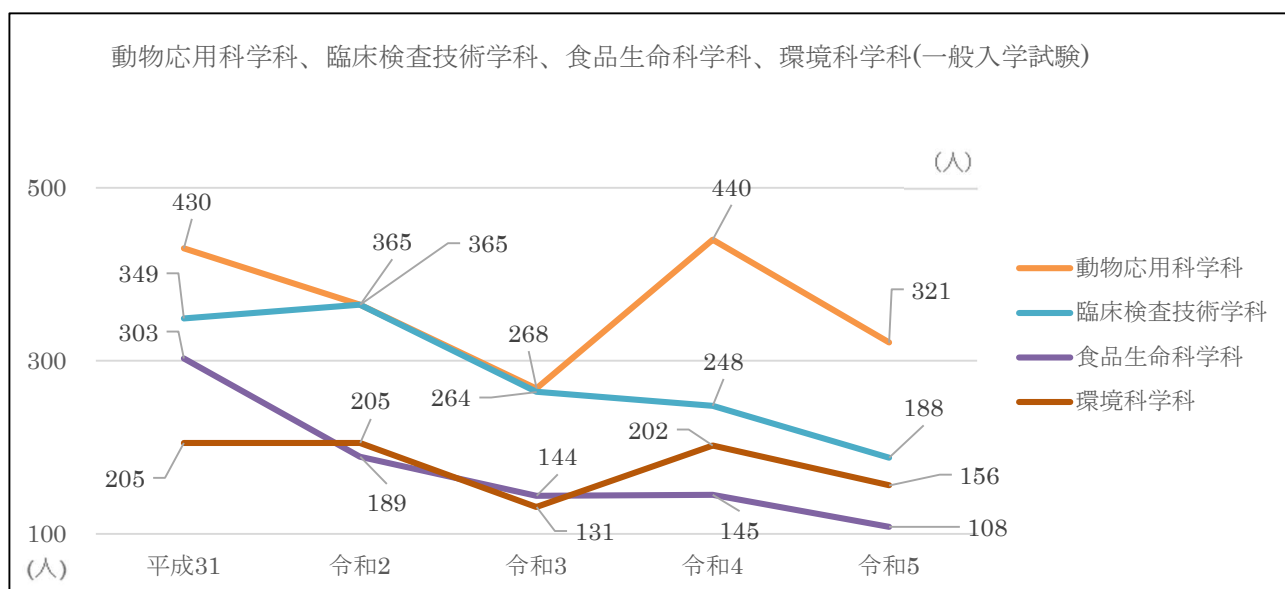
■ 推薦等入学試験 志願者数推移



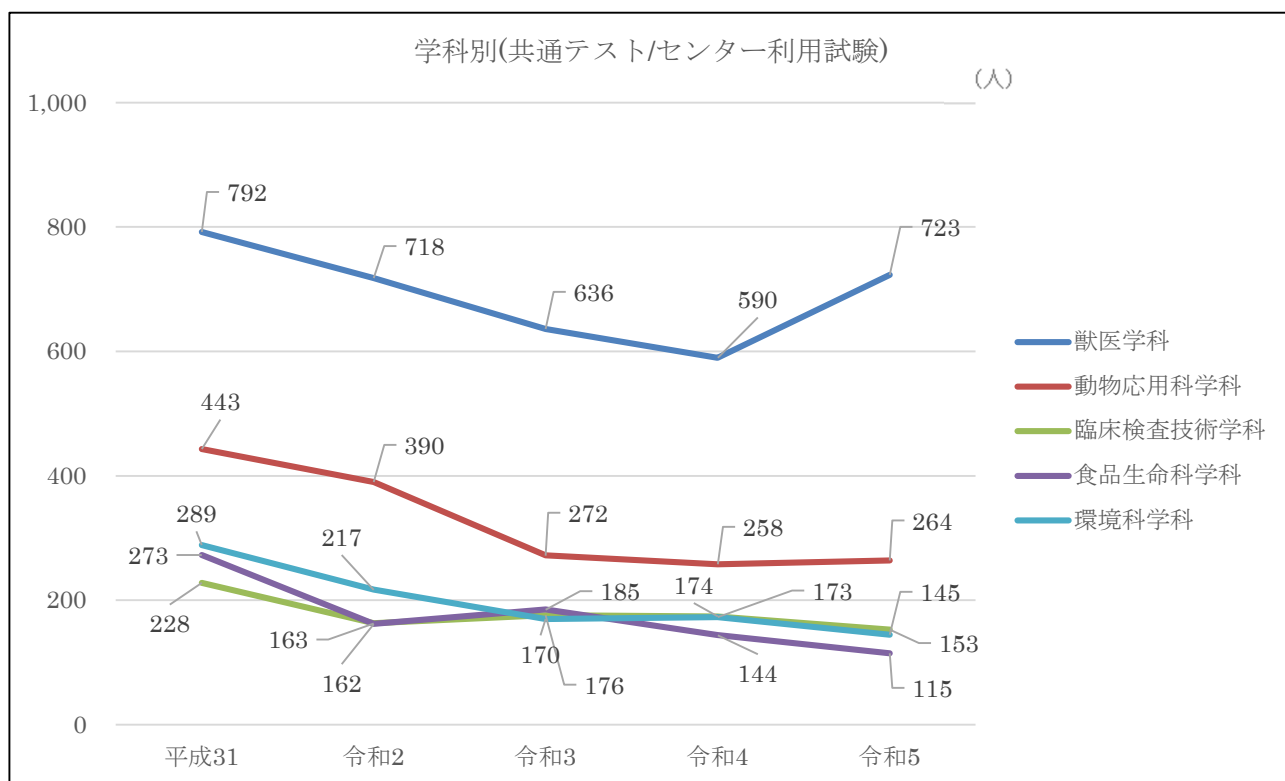
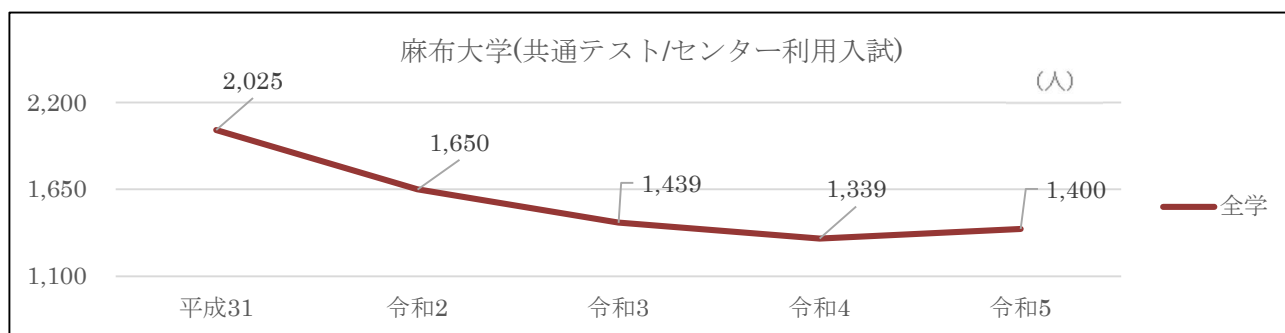


■ 一般入学試験 志願者数推移





大学入学共通テスト/大学入試センター試験利用入学試験 志願者数推移



※令和3年度入試から「大学入学共通テスト利用入学試験」。令和2年度入試以前は「大学入試センター試験利用入学試験」。



## (3) 卒業者・修了者数及び進路状況

令和5(2023)年5月1日現在

## ① 卒業者・修了者数 (令和4(2022)年度)

| 学部・学科    |          |            | 卒業者数(人) |
|----------|----------|------------|---------|
| 獣医学部     | 獣医学科     | 学士(獣医学)    | 131     |
|          | 動物応用科学科  | 学士(動物応用科学) | 127     |
| 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 学士(保健衛生学)  | 77      |
|          | 食品生命科学科  | 学士(保健衛生学)  | 76      |
|          | 環境科学科    | 学士(環境科学)   | 73      |

| 研究科・専攻   |              |        |            | 修了者数（人） |
|----------|--------------|--------|------------|---------|
| 獣医学研究科   | 獣医学専攻博士課程    |        | 博士（獣医学）    | 8       |
|          | 動物応用科学<br>専攻 | 博士前期課程 | 修士（動物応用科学） | 26      |
|          |              | 博士後期課程 | 博士（学術）     | 0       |
| 環境保健学研究科 | 環境保健科学       | 博士前期課程 | 修士（環境保健科学） | 11      |
|          | 専攻           | 博士後期課程 | 博士（学術）     | 1       |

## ② 博士・修士学位授与数 (令和4(2022)年度)

令和5(2023)年5月1日現在

| 研究科・専攻等  |                       | 学位授与数(人) |         |        |
|----------|-----------------------|----------|---------|--------|
|          |                       | 修士       | 博士(獣医学) | 博士(学術) |
| 獣医学研究科   | 獣医学専攻                 | —        | 8       | —      |
|          | 動物応用科学専攻              | 26       | —       | —      |
|          | 麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※ | —        | 1       | —      |
|          | 小計                    | 26       | 9       | —      |
| 環境保健学研究科 | 環境保健学専攻               | 11       | —       | 1      |
|          | 麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※ | —        | —       | 2      |
|          | 小計                    | 11       | —       | 3      |
| 合 計      |                       | 37       | 9       | 3      |

※麻布大学学位規則

第3条第3項：博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

③ 進路状況（令和5(2023)年5月1日集計時点）

(人)

| 学部・学科    |          | 就職  | 進学 | その他 |
|----------|----------|-----|----|-----|
| 獣医学部     | 獣医学科     | 108 | 2  | 21  |
|          | 動物応用科学科  | 83  | 39 | 5   |
| 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 59  | 5  | 13  |
|          | 食品生命科学科  | 61  | 4  | 11  |
|          | 環境科学科    | 61  | 6  | 6   |

(人)

| 研究科・専攻   |              |        | 就職 | 進学 | その他 |
|----------|--------------|--------|----|----|-----|
| 獣医学研究科   | 獣医学専攻博士課程    |        | 8  | 0  | 0   |
|          | 動物応用科学<br>専攻 | 博士前期課程 | 18 | 6  | 2   |
|          |              | 博士後期課程 | 0  | 0  | 0   |
|          |              |        |    |    |     |
| 環境保健学研究科 | 環境保健科学       | 博士前期課程 | 10 | 1  | 0   |
|          | 専攻           | 博士後期課程 | 1  | 0  | 0   |

④ 進学先内訳（令和5(2023)年5月1日集計時点）

(人)

| 学部・学科    |          | 自大学院 | 他大学院 | 自大学 | 他大学 | 短期大学 | 専門学校・<br>各種学校 | その他<br>(留学等) |
|----------|----------|------|------|-----|-----|------|---------------|--------------|
| 獣医学部     | 獣医学科     | 1    | 1    | 0   | 0   | 0    | 0             | 0            |
|          | 動物応用科学科  | 32   | 1    | 0   | 0   | 0    | 5             | 1            |
| 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 2    | 0    | 3   | 0   | 0    | 0             | 0            |
|          | 食品生命科学科  | 2    | 0    | 0   | 0   | 0    | 1             | 1            |
|          | 環境科学科    | 4    | 1    | 0   | 0   | 0    | 1             | 0            |

## ⑤ 就職先内訳

令和5(2023)年5月1日現在

令和4(2022)年度 学部卒業生

(人)

| 卒業生数             |                     | 獣医学部  |      |       |      | 生命・環境科学部 |      |       |       |       |      | 合計    |      |      |
|------------------|---------------------|-------|------|-------|------|----------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
|                  |                     | 獣医    |      | 動物応用科 |      | 臨床検査技術   |      | 食品生命科 |       | 環境科   |      |       |      |      |
|                  |                     | 131   |      | 127   |      | 77       |      | 76    |       | 73    |      |       |      |      |
|                  |                     | 男     | 女    | 男     | 女    | 男        | 女    | 男     | 女     | 男     | 女    | 男     | 女    | 計    |
| 区分               |                     | 58    | 73   | 44    | 83   | 21       | 56   | 37    | 39    | 58    | 15   | 218   | 266  | 484  |
| 就職希望者            |                     | 43    | 66   | 28    | 57   | 15       | 50   | 29    | 34    | 52    | 13   | 167   | 220  | 387  |
|                  | 就 職 者               | 43    | 65   | 28    | 55   | 12       | 47   | 27    | 34    | 49    | 12   | 159   | 213  | 372  |
|                  | 就職先未定者              | 0     | 1    | 0     | 2    | 3        | 3    | 2     | 0     | 3     | 1    | 8     | 7    | 15   |
| 就職率(%)           |                     | 100.0 | 98.5 | 100.0 | 96.5 | 80.0     | 94.0 | 93.1  | 100.0 | 94.2  | 92.3 | 95.2  | 96.8 | 96.1 |
|                  |                     | 99.1% |      | 97.6% |      | 90.8%    |      | 96.8% |       | 93.8% |      | 96.1% |      |      |
| 公務員              | 国家                  | 2     | 1    |       | 2    |          |      |       |       |       |      | 2     | 3    | 5    |
|                  | 都道府県                | 1     | 5    |       |      |          |      |       |       |       |      | 1     | 5    | 6    |
|                  | 市区町村                | 1     | 2    | 1     |      | 1        |      |       |       |       |      | 2     | 3    | 5    |
| 農・林・漁・鉱・採石・砂利採取業 |                     |       | 1    | 2     | 3    |          |      |       |       | 1     |      | 3     | 4    | 7    |
| 建設業              |                     |       |      |       | 1    |          |      | 1     |       | 4     | 1    | 5     | 2    | 7    |
| 製造業              | 食料品製造業              |       |      | 2     | 2    |          |      | 8     | 11    |       |      | 10    | 13   | 23   |
|                  | 飲料・たばこ・飼料製造業        |       |      | 2     |      |          |      |       | 1     |       |      | 2     | 1    | 3    |
|                  | 繊維工業                |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 印刷・同関連業             |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 化学工業                | 1     | 3    | 1     | 2    | 1        |      |       |       | 1     |      | 4     | 5    | 9    |
|                  | 石油・石炭製品製造業          |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 鉄鋼業・非金属・金属製品製造業     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | はん用・生産用・業務用機械器具製造業  |       | 2    |       |      | 1        |      |       |       | 3     |      | 4     | 2    | 6    |
|                  | 電子部品・デバイス・精密機械器具製造業 |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 電気・情報通信機械器具製造業      |       |      |       |      |          |      |       |       |       | 1    | 1     | 0    | 1    |
| 輸送用機械器具製造業       |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       | 0    | 0     | 0    |      |
| その他の製造業          |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       | 0    | 0     | 0    |      |
| 電気・ガス・熱供給・水道業    |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| 情報通信業            |                     | 1     |      | 2     | 3    |          |      | 1     | 2     | 3     |      | 7     | 5    | 12   |
| 運輸業・郵便業          |                     |       |      |       |      |          |      |       | 1     | 1     |      | 1     | 1    | 2    |
| 卸売・小売業           | 卸売                  |       |      | 7     | 5    |          |      | 4     | 4     |       | 1    | 11    | 10   | 21   |
|                  | 小売                  |       |      | 2     | 4    |          |      | 4     | 9     | 7     | 2    | 13    | 15   | 28   |
| 小売業              |                     |       |      |       | 1    |          |      |       |       |       |      | 0     | 1    | 1    |
| ペットショップ          |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      |       |      |      |
| 金融業              |                     |       |      |       |      | 1        |      | 1     |       |       |      | 2     | 0    | 2    |
| 保険業              |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| 不動産取引・賃貸・管理業     |                     |       |      | 1     |      |          |      |       |       |       |      | 1     | 0    | 1    |
| 物品賃貸業            |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| 宿泊業・飲食サービス業      |                     |       |      | 2     | 5    |          |      | 2     | 2     |       | 1    | 4     | 8    | 12   |
| 医療・福祉            | 病院                  |       |      |       | 1    | 7        | 26   |       | 1     |       |      | 7     | 28   | 35   |
|                  | 診療所                 |       |      |       |      |          | 8    |       |       |       |      | 0     | 8    | 8    |
|                  | その他の医療(臨床検査所・治験等)   |       |      |       |      |          | 10   |       |       |       |      | 0     | 10   | 10   |
|                  | 保健衛生                | 1     | 1    |       | 2    | 1        |      | 2     |       | 1     |      | 5     | 3    | 8    |
| 社会保険・社会福祉・介護事業   |                     |       |      |       | 1    |          |      |       | 1     | 1     | 1    | 1     | 3    | 4    |
| 学校教育             |                     |       |      | 1     |      |          |      |       |       | 2     |      | 3     | 0    | 3    |
| 動物園・水族館          |                     |       | 1    |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 1    | 1    |
| その他の教育・学習支援業     |                     |       |      |       | 3    |          |      |       |       |       |      | 0     | 3    | 3    |
| NOSAI            |                     | 8     | 4    |       |      |          |      |       |       |       |      | 8     | 4    | 12   |
| その他の複合サービス事業     |                     | 2     |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 2     | 0    | 2    |
| 実験動物関連           |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| サービス業            | 専門動物病院              | 25    | 45   |       | 7    |          |      |       |       |       |      | 25    | 52   | 77   |
|                  | コンサルタント             |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 広告業                 |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | その他の専門・技術サービス       |       |      | 1     | 1    |          |      | 1     | 2     | 1     | 1    | 3     | 4    | 7    |
|                  | 学術・開発研究機関           | 1     |      |       | 1    |          | 1    |       |       |       |      | 1     | 2    | 3    |
|                  | 法務                  |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 生活関連サービス業           |       |      |       | 2    |          |      |       |       | 1     | 2    | 1     | 4    | 5    |
|                  | 洗濯・理容・美容・浴場業        |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
|                  | 娯楽業                 |       |      | 1     |      |          |      |       |       |       |      | 1     | 0    | 1    |
|                  | JRA                 |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      |       | 0    | 0    |
| その他の娯楽業          |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| 廃棄物処理業           |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| 宗教               |                     |       |      |       |      |          |      |       |       |       |      | 0     | 0    | 0    |
| その他のサービス業        |                     |       |      | 3     | 9    | 1        | 1    | 3     |       | 21    | 3    | 28    | 13   | 41   |
| 上記以外のもの          |                     |       |      |       |      |          |      |       |       | 1     |      | 1     | 0    | 1    |
| 計                |                     | 43    | 65   | 28    | 55   | 12       | 47   | 27    | 34    | 49    | 12   | 159   | 213  | 372  |

|               |   |   |    |    |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |
|---------------|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 大学院           | 2 |   | 11 | 22 | 2 |   | 1 | 1 | 5 |   |   | 21 | 23 | 44 |
| 大学            |   |   |    | 1  |   |   |   |   |   |   |   | 0  | 1  | 1  |
| 編入学           |   |   |    |    |   |   |   |   |   |   |   | 0  | 0  | 0  |
| 留学(海外渡航含む)    |   |   |    |    |   |   |   |   | 1 |   |   | 0  | 1  | 1  |
| 研究生           |   |   |    |    |   |   |   |   |   |   |   | 0  | 0  | 0  |
| 聴講生           |   |   |    |    |   |   | 1 |   |   |   |   | 0  | 1  | 1  |
| 専門学校          |   |   | 4  | 1  |   |   |   | 1 |   |   | 1 | 5  | 2  | 7  |
| 進学未定者         |   |   |    |    |   |   |   |   |   |   |   | 0  | 0  | 0  |
| その他(科目等履修生など) |   |   |    |    | 2 |   |   |   |   |   |   | 2  | 0  | 2  |
| 計             | 2 | 0 | 15 | 24 | 4 | 1 | 2 | 2 | 5 | 1 |   | 28 | 28 | 56 |

|       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |   |    |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|----|
| 就職しない | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 1 |  | 6 | 5 | 11 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|----|

|       |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |    |    |    |
|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|----|----|----|
| その他 ※ | 11 | 7 | 1 | 1 | 2 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 |  | 17 | 13 | 30 |
|-------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|----|----|----|

※ 国家試験不合格者及び未提出者等、上記に区分されない者を含む。

令和 4(2022)年度 大学院修了者

(人)

| 修了者数<br>区分     |                     | 獣医学研究科 |       |          |      |          |   | 環境保健学研究科 |       |          |   |      |      | 合計   |   |   |
|----------------|---------------------|--------|-------|----------|------|----------|---|----------|-------|----------|---|------|------|------|---|---|
|                |                     | 獣医博士   |       | 動物応用博士前期 |      | 動物応用博士後期 |   | 環境保健博士前期 |       | 環境保健博士後期 |   |      |      |      |   |   |
|                |                     | 8      |       | 26       |      | 0        |   | 11       |       | 1        |   |      |      |      |   |   |
|                |                     | 男      | 女     | 男        | 女    | 男        | 女 | 男        | 女     | 男        | 女 | 男    | 女    | 男    | 女 | 計 |
| 就職希望者          |                     | 7      | 1     | 8        | 18   | 0        | 0 | 5        | 6     | 0        | 1 | 20   | 26   | 46   |   |   |
| 就職先未定者         |                     | 7      | 1     | 6        | 14   | 0        | 0 | 5        | 5     | 0        | 1 | 18   | 21   | 39   |   |   |
| 就職率(%)         |                     | 100.0  | 100.0 | 83.3     | 92.9 |          |   | 100.0    | 100.0 |          |   | 94.4 | 95.2 | 94.9 |   |   |
| 公務員            | 国家                  |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 都道府県                |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 市区町村                |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 農・林・漁・鉱・採石・砂利採取業    |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 建設業            |                     |        |       |          |      |          |   | 1        |       |          |   | 1    | 0    | 1    |   |   |
| 製造業            | 食料品製造業              |        |       | 1        |      |          |   | 1        | 1     |          |   | 2    | 1    | 3    |   |   |
|                | 飲料・たばこ・飼料製造業        |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 繊維工業                |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 印刷・同関連業             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 化学工業                | 1      |       | 1        |      |          |   |          |       |          |   | 2    | 0    | 2    |   |   |
|                | 石油・石炭製品製造業          |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 鉄鋼業・非金属・金属製品製造業     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | はん用・生産用・業務用機械器具製造業  | 1      |       |          |      |          |   | 1        |       |          |   | 1    | 1    | 2    |   |   |
|                | 電子部品・デバイス・精密機械器具製造業 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 電気・情報通信機械器具製造業      |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 輸送用機械器具製造業          |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| その他の製造業        |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業  |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 情報通信業          |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 運輸業・郵便業        |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 卸売・小売業         | 卸売                  |        |       | 1        | 3    |          |   |          |       |          |   | 1    | 3    | 4    |   |   |
|                | 小売                  |        |       |          |      |          |   |          |       | 1        |   | 0    | 1    | 1    |   |   |
|                | ペットショップ             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 金融業            |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 保険業            |                     |        |       | 1        | 1    |          |   |          |       |          |   | 1    | 1    | 2    |   |   |
| 不動産取引・賃貸・管理業   |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 物品賃貸業          |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 宿泊業・飲食サービス業    |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 医療・福祉          | 病院                  |        |       |          |      |          |   |          | 1     |          |   | 0    | 1    | 1    |   |   |
|                | 診療所                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | その他の医療(臨床検査所・治験等)   |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 保健衛生                |        |       |          |      |          |   | 1        |       |          |   | 1    | 0    | 1    |   |   |
| 社会保険・社会福祉・介護事業 |                     |        |       |          | 2    |          |   |          |       |          |   | 0    | 2    | 2    |   |   |
| 教育・学習支援        | 学校教育                |        |       | 2        |      |          |   | 1        |       | 1        |   | 1    | 3    | 4    |   |   |
|                | 動物園・水族館             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | その他の教育・学習支援業        |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | NOSAI               | 1      |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 1    | 0    | 1    |   |   |
| その他の複合サービス事業   |                     |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| サービス業          | 専門サービス              | 4      | 1     |          |      |          |   |          |       |          |   | 4    | 1    | 5    |   |   |
|                | 実験動物関連              |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 動物病院                |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | コンサルタント             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 広告業                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | その他の専門・技術サービス       |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 学術・開発研究機関           |        |       | 1        | 1    |          |   | 1        |       |          |   | 1    | 2    | 3    |   |   |
|                | 法務                  |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 生活関連サービス業           |        |       |          | 2    |          |   |          |       |          |   | 0    | 2    | 2    |   |   |
|                | 洗濯・理容・美容・浴場業        |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 娯楽業                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| その他            | JRA                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | その他の娯楽業             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 廃棄物処理業              |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 宗教                  |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | その他のサービス業           |        |       |          | 2    |          |   | 1        |       |          |   | 1    | 2    | 3    |   |   |
|                | 上記以外のもの             |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 計              |                     | 7      | 1     | 5        | 13   | 0        | 0 | 5        | 5     | 0        | 1 | 17   | 20   | 37   |   |   |
| 進学             | 大学院                 |        |       | 2        | 3    |          |   |          | 1     |          |   | 2    | 4    | 6    |   |   |
|                | 大学                  |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 編入学                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 留学(海外渡航含む)          |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 研究生                 |        |       |          | 1    |          |   |          |       |          |   | 0    | 1    | 1    |   |   |
|                | 聴講生                 |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 専門学校                |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
|                | 進学未定者               |        |       |          |      |          |   |          |       |          |   | 0    | 0    | 0    |   |   |
| 計              |                     | 0      | 0     | 2        | 4    | 0        | 0 | 0        | 1     | 0        | 0 | 2    | 5    | 7    |   |   |
| 就職しない          |                     | 0      | 0     | 0        | 0    | 0        | 0 | 0        | 0     | 0        | 0 | 0    | 0    | 0    |   |   |
| その他 ※          |                     | 0      | 0     | 0        | 0    | 0        | 0 | 0        | 0     | 0        | 0 | 0    | 0    | 0    |   |   |

※ 国家試験不合格者及び未提出者等、上記に区分されない者を含む。

## (4) 国家試験

## ①獣医師国家試験 合格者数と合格率

| 開催回  | 年度   | 麻布大学 |      |               | 全国          |       |
|------|------|------|------|---------------|-------------|-------|
|      |      | 受験者数 | 合格者数 | 麻布大学<br>(新卒者) | 新卒者<br>全国平均 | 全平均   |
| 第65回 | 平成25 | 151  | 131  | 86.8%         | 90.2%       | 81.7% |
| 第66回 | 平成26 | 157  | 121  | 77.1%         | 84.8%       | 75.6% |
| 第67回 | 平成27 | 142  | 118  | 83.1%         | 88.0%       | 78.8% |
| 第68回 | 平成28 | 151  | 132  | 87.4%         | 87.5%       | 77.2% |
| 第69回 | 平成29 | 138  | 133  | 96.4%         | 96.9%       | 88.3% |
| 第70回 | 平成30 | 133  | 112  | 84.2%         | 91.7%       | 82.6% |
| 第71回 | 令和元  | 136  | 130  | 95.6%         | 94.2%       | 86.5% |
| 第72回 | 令和2  | 133  | 123  | 92.5%         | 92.1%       | 83.2% |
| 第73回 | 令和3  | 146  | 120  | 82.2%         | 88.6%       | 80.3% |
| 第74回 | 令和4  | 129  | 108  | 83.7%         | 81.1%       | 69.9% |

## ②臨床検査技師国家試験 合格者数と合格率

| 開催回  | 年度   | 麻布大学 |      |               | 全国          |       |
|------|------|------|------|---------------|-------------|-------|
|      |      | 受験者数 | 合格者数 | 麻布大学<br>(新卒者) | 新卒者<br>全国平均 | 全平均   |
| 第60回 | 平成25 | 70   | 64   | 91.4%         | 94.3%       | 81.2% |
| 第61回 | 平成26 | 73   | 65   | 89.0%         | 93.8%       | 82.1% |
| 第62回 | 平成27 | 65   | 54   | 83.1%         | 87.4%       | 76.4% |
| 第63回 | 平成28 | 81   | 76   | 93.8%         | 89.9%       | 78.7% |
| 第64回 | 平成29 | 73   | 70   | 95.9%         | 90.5%       | 79.3% |
| 第65回 | 平成30 | 80   | 68   | 85.0%         | 86.5%       | 75.2% |
| 第66回 | 令和元  | 72   | 66   | 91.7%         | 83.1%       | 71.5% |
| 第67回 | 令和2  | 76   | 69   | 90.8%         | 91.6%       | 80.2% |
| 第68回 | 令和3  | 82   | 71   | 86.8%         | 86.4%       | 75.4% |
| 第69回 | 令和4  | 64   | 57   | 89.1%         | 89.5%       | 77.6% |

(5) 退学者数・中退率・留年者数【令和5(2023)年5月1日現在】

①退学者数

◆ 麻布大学

(人)

| 学部  |    | 獣医学部  |       |       |         |       |       | 生命・環境科学部 |       |       |         |       |       |       |       |       |
|-----|----|-------|-------|-------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分  | 学科 | 獣医学科  |       |       | 動物応用科学科 |       |       | 臨床検査技術学科 |       |       | 食品生命科学科 |       |       | 環境科学科 |       |       |
| 年度  |    | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度   | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度    | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度   | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 |
| 1年次 | 男  | 3     | 1     | 1     | 2       | 1     | 2     | 4        | 1     | 1     | 5       | 5     | 6     | 3     | 7     | 5     |
|     | 女  | 0     | 0     | 2     | 4       | 7     | 4     | 4        | 4     | 5     | 1       | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     |
|     | 計  | 3     | 1     | 3     | 6       | 8     | 6     | 8        | 5     | 6     | 6       | 5     | 6     | 3     | 7     | 6     |
| 2年次 | 男  | 1     | 2     | 0     | 2       | 4     | 1     | 5        | 4     | 0     | 3       | 1     | 0     | 2     | 4     | 1     |
|     | 女  | 2     | 0     | 2     | 3       | 2     | 3     | 4        | 0     | 0     | 1       | 2     | 1     | 0     | 4     | 1     |
|     | 計  | 3     | 2     | 2     | 5       | 6     | 4     | 9        | 4     | 0     | 4       | 3     | 1     | 2     | 8     | 2     |
| 3年次 | 男  | 0     | 0     | 0     | 0       | 0     | 0     | 1        | 1     | 0     | 0       | 1     | 0     | 1     | 0     | 1     |
|     | 女  | 0     | 0     | 0     | 1       | 1     | 2     | 3        | 0     | 1     | 1       | 0     | 0     | 2     | 0     | 1     |
|     | 計  | 0     | 0     | 0     | 1       | 1     | 2     | 4        | 1     | 1     | 1       | 1     | 0     | 3     | 0     | 2     |
| 4年次 | 男  | 0     | 0     | 0     | 0       | 1     | 0     | 0        | 0     | 0     | 0       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | 女  | 0     | 2     | 0     | 0       | 0     | 1     | 0        | 1     | 0     | 0       | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     |
|     | 計  | 0     | 2     | 0     | 0       | 1     | 1     | 0        | 1     | 0     | 0       | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     |
| 5年次 | 男  | 1     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
|     | 女  | 0     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
|     | 計  | 1     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
| 6年次 | 男  | 0     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
|     | 女  | 0     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
|     | 計  | 0     | 0     | 0     |         |       |       |          |       |       |         |       |       |       |       |       |
| 合計  |    | 7     | 5     | 5     | 12      | 16    | 13    | 21       | 11    | 7     | 11      | 9     | 7     | 9     | 15    | 10    |

◆ 麻布大学大学院

(人)

| 研究科 |    | 獣医学研究科     |       |       |                 |       |       |                 |       |       | 環境保健学研究科        |       |       |                 |       |       |
|-----|----|------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|
| 区分  | 専攻 | 獣医学専攻 博士課程 |       |       | 動物応用科学専攻 博士前期課程 |       |       | 動物応用科学専攻 博士後期課程 |       |       | 環境保健科学専攻 博士前期課程 |       |       | 環境保健科学専攻 博士後期課程 |       |       |
| 年度  |    | 令和4年度      | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度           | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度           | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度           | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和4年度           | 令和3年度 | 令和2年度 |
| 1年次 | 男  | 0          | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
|     | 女  | 0          | 0     | 0     | 1               | 0     | 1     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
|     | 計  | 0          | 0     | 0     | 1               | 0     | 1     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
| 2年次 | 男  | 0          | 0     | 0     | 1               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 1               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
|     | 女  | 0          | 0     | 1     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
|     | 計  | 0          | 0     | 1     | 1               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     | 1               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |
| 3年次 | 男  | 0          | 0     | 1     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |
|     | 女  | 0          | 0     | 0     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |
|     | 計  | 0          | 0     | 1     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |                 |       |       | 0               | 0     | 0     |
| 4年次 | 男  | 0          | 1     | 0     |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |
|     | 女  | 0          | 0     | 1     |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |
|     | 計  | 0          | 1     | 1     |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |                 |       |       |
| 合計  |    | 0          | 1     | 3     | 2               | 0     | 1     | 0               | 0     | 0     | 1               | 0     | 0     | 0               | 0     | 0     |

②中退率

| 学部・学科    |          | 中退率(%) |
|----------|----------|--------|
| 獣医学部     | 獣医学科     | 0.8    |
|          | 動物応用科学科  | 2.2    |
| 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 5.5    |
|          | 食品生命科学科  | 4.3    |
|          | 環境科学科    | 3.1    |

| 研究科・専攻   |           |        | 中退率(%) |
|----------|-----------|--------|--------|
| 獣医学研究科   | 獣医学専攻博士課程 |        | 0.0    |
|          | 動物応用科学専攻  | 博士前期課程 | 4.0    |
|          |           | 博士後期課程 | 0.0    |
| 環境保健学研究科 | 環境保健科学専攻  | 博士前期課程 | 4.5    |
|          |           | 博士後期課程 | 0.0    |

※ 中退率＝令和4(2022)年度(4月1日～翌年3月31日)退学者数÷令和4(2022)年度在籍学生数(令和4年5月1日現在)×100

③留年者数

| 学部・学科    |          | 留年者数(人) |
|----------|----------|---------|
| 獣医学部     | 獣医学科     | 30      |
|          | 動物応用科学科  | 27      |
| 生命・環境科学部 | 臨床検査技術学科 | 41      |
|          | 食品生命科学科  | 16      |
|          | 環境科学科    | 22      |

| 研究科・専攻   |           |        | 留年者数(人) |
|----------|-----------|--------|---------|
| 獣医学研究科   | 獣医学専攻博士課程 |        | 0       |
|          | 動物応用科学専攻  | 博士前期課程 | 0       |
|          |           | 博士後期課程 | 0       |
| 環境保健学研究科 | 環境保健科学専攻  | 博士前期課程 | 0       |
|          |           | 博士後期課程 | 0       |

## (6) 国際交流

## ①学術交流協定・機関

## ■学術交流協定（令和5（2023）年3月31日現在）

|    | 名称          | 国名       | 協定締結年       | 協定形態  |
|----|-------------|----------|-------------|-------|
| 1  | アスンシオン大学    | パラグアイ共和国 | 昭和61(1986)年 | 大学間   |
| 2  | ペンシルヴァニア大学  | アメリカ合衆国  | 平成2(1990)年  | 獣医学部間 |
| 3  | 国立中興大学      | 台湾       | 平成9(1997)年  | 大学間   |
| 4  | 全北大学校       | 大韓民国     | 平成16(2004)年 | 大学間   |
| 5  | 吉林農業大学      | 中華人民共和国  | 平成17(2005)年 | 大学間   |
| 6  | 北京農学院       | 中華人民共和国  | 平成18(2006)年 | 大学間   |
| 7  | チェンマイ大学     | タイ王国     | 平成19(2007)年 | 大学間   |
| 8  | モンゴル大学      | モンゴル国    | 平成20(2008)年 | 大学間   |
| 9  | モンゴル科学アカデミー | モンゴル国    | 平成20(2008)年 | 機関間   |
| 10 | フスタイ国立公園    | モンゴル国    | 平成20(2008)年 | 機関間   |
| 11 | モンゴル自然史博物館  | モンゴル国    | 平成20(2008)年 | 機関間   |
| 12 | 国立台湾大学      | 台湾       | 平成25(2013)年 | 獣医学部間 |
| 13 | ベルン大学       | スイス連邦    | 平成27(2015)年 | 獣医学部間 |
| 14 | フロリダ大学      | アメリカ合衆国  | 令和元(2019)年  | 獣医学部間 |

## ■学術交流準協定（令和5（2023）年3月31日現在）

|   | 名称       | 国名          | 協定締結年       | 協定形態     |
|---|----------|-------------|-------------|----------|
| 1 | エディンバラ大学 | スコットランド(英国) | 平成20(2008)年 | 大学－獣医学部間 |

## ②海外派遣学生数、外国人留学生数（令和4(2022)年度実績）

| 学部・研究科等                  |                | 海外派遣学生数       | 外国人留学生数 |
|--------------------------|----------------|---------------|---------|
| 学 獣<br>部 医               | 獣医学科           | ※<br>派遣<br>中止 | 1       |
|                          | 動物応用科学科        |               | 1       |
| 生 命<br>学・<br>部 環<br>境    | 臨床検査技術学科       |               | 0       |
|                          | 食品生命科学科        |               | 0       |
|                          | 環境科学科          |               | 1       |
| 学部計                      |                |               | 3       |
| 研 獣<br>究 医<br>科 学        | 獣医学専攻博士課程      |               | 1       |
|                          | 動物応用科学専攻博士前期課程 |               | 2       |
|                          | 動物応用科学専攻博士後期課程 |               | 0       |
| 学 環<br>研 境<br>究 保<br>科 健 | 環境保健科学専攻博士前期課程 |               | 0       |
|                          | 環境保健科学専攻博士後期課程 |               | 0       |
| 研究科計                     |                |               | 3       |
| 合計                       |                | 0             | 6       |

※令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学生の海外派遣（学術交流協定校）は中止した。



(7) 研究・知的財産等

①競争的研究費等受入状況（令和4（2022）年度実績）

■ 文部科学省 科学研究費補助金

| 交付元   | 研究種目       | 件数 (件) |    | 交付金額 (千円) |        |         |
|-------|------------|--------|----|-----------|--------|---------|
|       |            |        |    | 直接経費      | 間接経費   | 計       |
| 文部科学省 | 基盤研究(A)    | 新規     | 0  | 0         | 0      | 0       |
|       |            | 継続     | 1  | 8,500     | 2,550  | 11,050  |
|       | 基盤研究(B)    | 新規     | 1  | 3,400     | 1,020  | 4,420   |
|       |            | 継続     | 9  | 22,300    | 6,450  | 28,750  |
|       | 基盤研究(C)    | 新規     | 7  | 9,100     | 2,730  | 11,830  |
|       |            | 継続     | 25 | 16,900    | 5,070  | 21,970  |
|       | 挑戦的研究(萌芽)  | 新規     | 1  | 2,500     | 750    | 3,250   |
|       |            | 継続     | 0  | 0         | 0      | 0       |
|       | 若手研究       | 新規     | 2  | 2,600     | 780    | 3,380   |
|       |            | 継続     | 5  | 3,700     | 1,110  | 4,810   |
|       | 研究活動スタート支援 | 新規     | 2  | 2,200     | 660    | 2,860   |
|       |            | 継続     | 2  | 2,100     | 630    | 2,730   |
|       | 奨励研究       | 新規     | 1  | 480       | 0      | 480     |
|       | 特別研究員奨励費   | 新規     | 2  | 2,000     | 330    | 2,330   |
|       |            | 継続     | 5  | 3,800     | 930    | 4,730   |
|       | 小計         | 新規     | 16 | 22,280    | 6,270  | 28,550  |
|       |            | 継続     | 47 | 57,300    | 16,740 | 74,040  |
| 合 計   |            |        | 63 | 79,580    | 23,010 | 102,590 |

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

■ その他の競争的研究費等（令和4（2022）年度）

| 交付元/研究種目                               |                   | 学部       | 件数 | 直接経費（千円） | 間接経費等（千円） | 受入額合計（千円） |
|----------------------------------------|-------------------|----------|----|----------|-----------|-----------|
| 文部科学省<br>（独立行政法人科学技術振興機構含む）            |                   | 獣医学部     | 3  | 12,960   | 3,888     | 16,848    |
|                                        |                   | 生命・環境科学部 | 0  |          |           |           |
| 農林水産省                                  |                   | 獣医学部     | 2  | 3,644    | 520       | 4,164     |
|                                        |                   | 生命・環境科学部 | 1  |          |           |           |
| 厚生労働省<br>（国立研究開発法人日本医療研究開発機構含む）        |                   | 獣医学部     | 2  | 4,838    | 1,030     | 5,868     |
|                                        |                   | 生命・環境科学部 | 2  |          |           |           |
| 経済産業省<br>（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構含む） |                   | 獣医学部     | 2  | 13,655   | 4,056     | 17,711    |
|                                        |                   | 生命・環境科学部 | 0  |          |           |           |
| 公的機関等                                  | 日本中央競馬会、国立がん研究開発費 | 獣医学部     | 5  | 69,152   | 13,125    | 82,277    |
|                                        |                   | 生命・環境科学部 | 1  |          |           |           |
| 受入金額合計(千円)                             |                   |          |    | 104,249  | 22,619    | 126,868   |

## ② 学内競争的研究費等の状況（令和4（2022）年度）

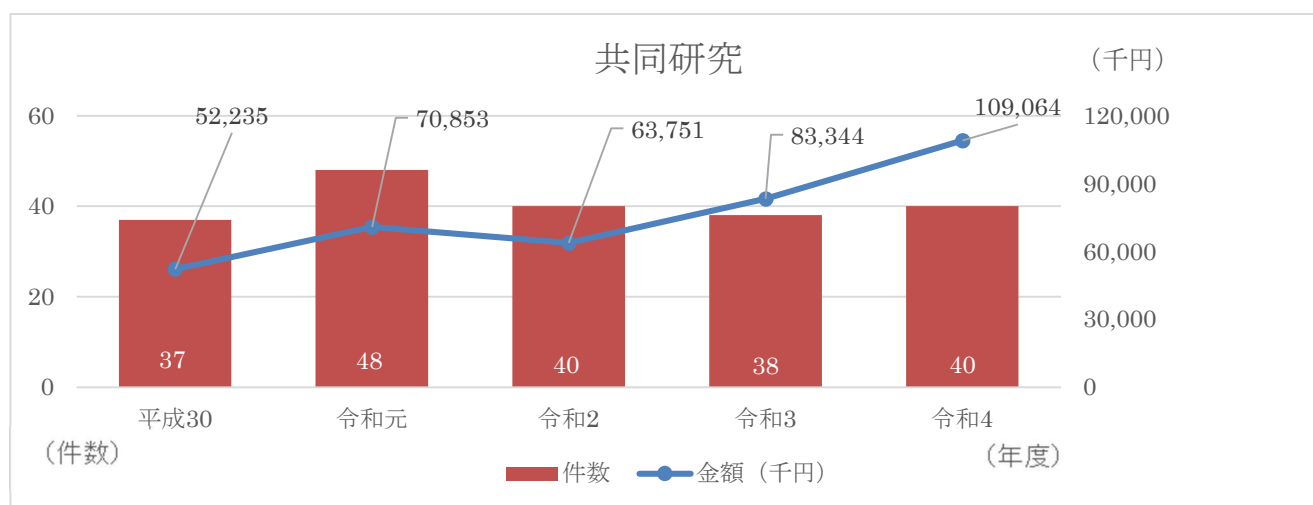
| 学内競争的研究費等                  | 学部       | 件数 | 金額(千円) |
|----------------------------|----------|----|--------|
| ヒトと動物の共生科学センター『先端研究』プロジェクト | 獣医学部     | 8  | 7,850  |
|                            | 生命・環境科学部 | 0  | 0      |
| 若手研究サポート資金                 | 獣医学部     | 1  | 650    |
|                            | 生命・環境科学部 | 1  | 350    |

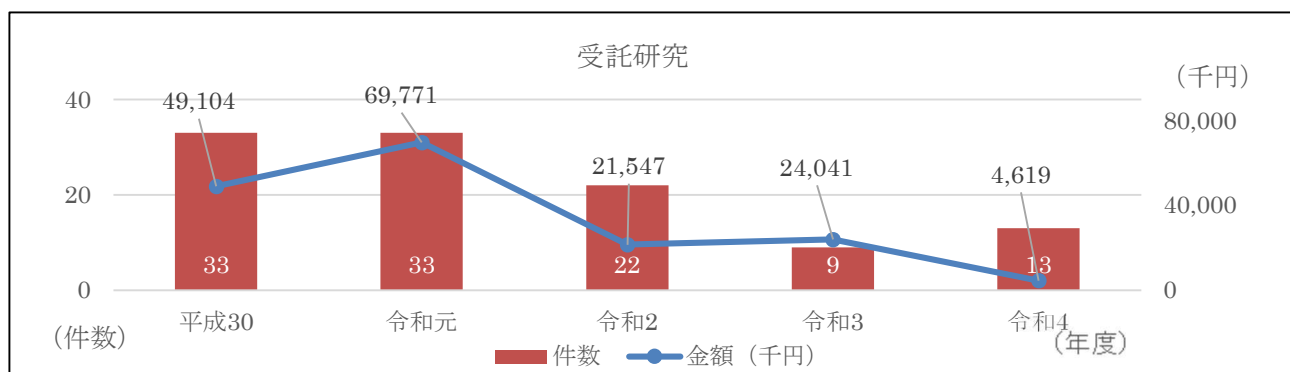
## ③ 知的財産データ（件）

| 年度<br>出願・登録     | 令和4<br>年度 | 令和3<br>年度 | 令和2<br>年度 | 令和元<br>年度 | 平成30<br>年度 | 合計 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|----|
| 国内特許出願          | 6         | 13        | 6         | 7         | 7          | 39 |
| 海外特許出願          | 7         | 9         | 3         | 3         | 3          | 25 |
| 国内外審査請求         | 3         | 3         | 4         | 6         | 9          | 25 |
| 国内特許登録          | 6         | 3         | 3         | 5         | 4          | 21 |
| 海外特許登録          | 1         | 2         | 1         | 1         | 0          | 5  |
| 商標登録            | 0         | 1         | 1         | 0         | 0          | 2  |
| 技術移転(ライセンス、譲渡等) | 5         | 4         | 4         | 6         | 2          | 21 |

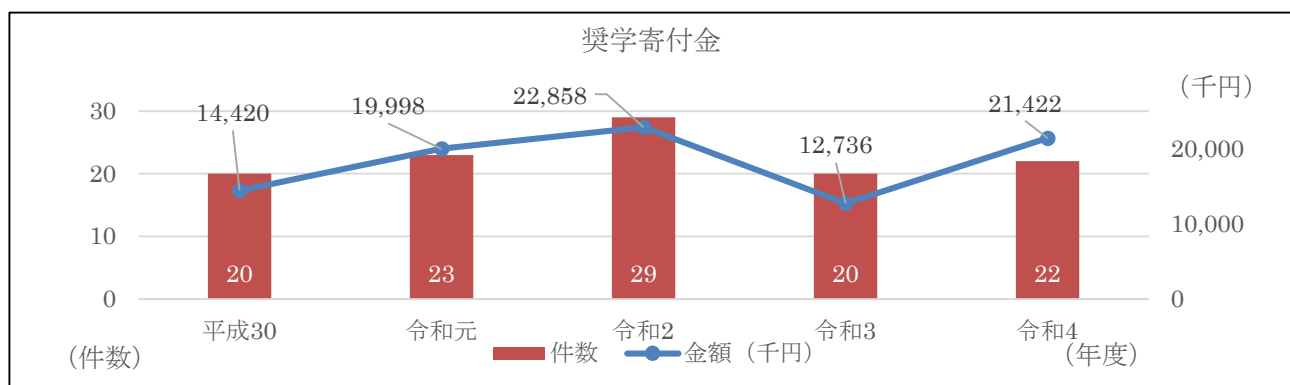
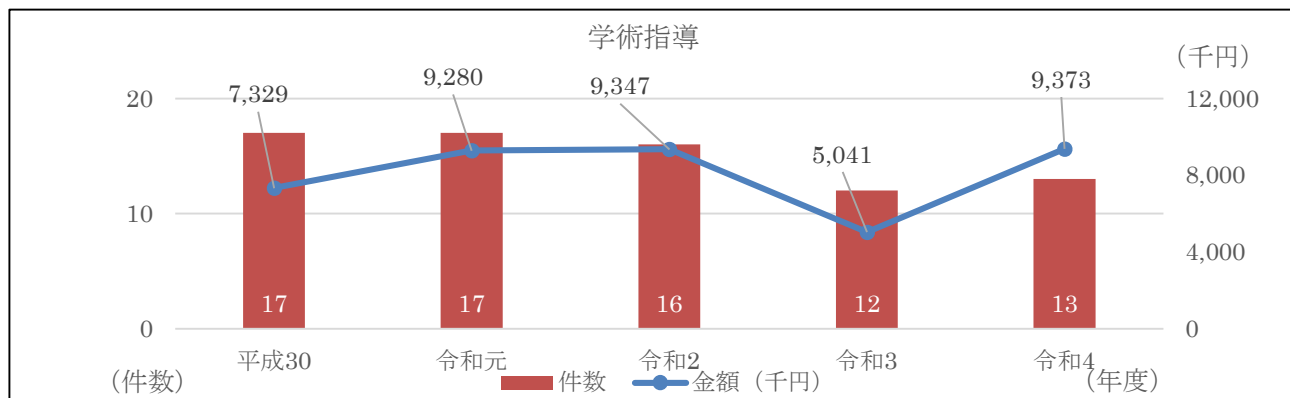
※ 平成30(2018)年度～令和4(2022)年度の職務発明を対象とする。

## ④ 共同研究、受託研究等の受入状況





※ 令和2年度から文部科学省の「産学連携等実施状況調査」に合わせ、公的機関からの委託研究を受託研究の集計対象から除外した。



◆ 寄附講座

| 年度    | 金額<br>(千円) | 件数 |    |   |
|-------|------------|----|----|---|
|       |            | 新規 | 継続 | 計 |
| 平成 30 | 10,000     | 1  | 0  | 1 |
| 令和元   | 25,000     | 1  | 1  | 2 |
| 令和 2  | 25,000     | 0  | 2  | 2 |
| 令和 3  | 70,000     | 1  | 2  | 3 |
| 令和 4  | 61,000     | 0  | 3  | 3 |

※ 件数及び金額は、契約した年度をもって記載。

## (8) 産官学連携

令和5(2023)年3月31日現在

## ①自治体・団体・企業等との連携

|    | 連携機関                                    | 連携内容               | 協定締結年       |
|----|-----------------------------------------|--------------------|-------------|
| 1  | 相模原市立図書館、市内大学・短期大学                      | 相互協力               | 平成6(1994)年  |
| 2  | 神奈川県教育委員会                               | 部活動支援学生ボランティア事業    | 平成17(2005)年 |
| 3  | 東京都町田市(町田市学長懇談会)                        | 包括協定               | 平成18(2006)年 |
| 4  | 公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム                 | 地域貢献・生涯学習          | 平成19(2007)年 |
| 5  | 公益財団法人日本盲導犬協会                           | 包括協定               | 平成20(2008)年 |
| 6  | 一般財団法人C.W.ニコル・アフアン・森財団                  | 学術交流               | 平成22(2010)年 |
| 7  | かながわ産学公連携推進協議会                          | 産官学連携              | 平成22(2010)年 |
| 8  | 神奈川県(県及び県内農学系4大学)                       | 都市農業振興             | 平成24(2012)年 |
| 9  | 相模原市教育委員会、座間市教育委員会                      | 市民大学               | 平成25(2013)年 |
| 10 | 一般社団法人日本養豚協会                            | 包括協定               | 平成25(2013)年 |
| 11 | 一般財団法人生物科学安全研究所                         | 包括協定               | 平成25(2013)年 |
| 12 | 特定非営利活動法人 緑のダム北相模                       | 包括協定               | 平成25(2013)年 |
| 13 | 独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院                   | 包括協定               | 平成25(2013)年 |
| 14 | 株式会社日本産業動物管理センター                        | 包括協定               | 平成25(2013)年 |
| 15 | 愛媛県                                     | 就職支援               | 平成26(2014)年 |
| 16 | 相模原市                                    | 災害時の動物救護活動         | 平成26(2014)年 |
| 17 | 神奈川県衛生研究所                               | 連携協力               | 平成26(2014)年 |
| 18 | 相模原市                                    | 包括協定               | 平成26(2014)年 |
| 19 | 一般社団法人日本養豚開業獣医師協会                       | 包括協定               | 平成26(2014)年 |
| 20 | 一般社団法人学術著作権協会、全国大学図書館                   | 資料複写               | 平成27(2015)年 |
| 21 | 横浜市教育委員会                                | 教員養成の連携・協働         | 平成27(2015)年 |
| 22 | 神奈川県農業共済組合                              | 連携協力               | 平成27(2015)年 |
| 23 | 全国食肉衛生検査所協議会                            | 連携協力               | 平成29(2017)年 |
| 24 | 神奈川県                                    | 災害時の動物救護活動         | 平成29(2017)年 |
| 25 | 株式会社スポーツクラブ相模原(SC相模原)                   | クリーンパートナー契約        | 平成30(2018)年 |
| 26 | 株式会社ゼルビア(FC町田ゼルビア)                      | クラブパートナー契約         | 平成30(2018)年 |
| 27 | 神奈川県教育委員会                               | 連携協力               | 平成30(2018)年 |
| 28 | 日本どうぶつ先進医療研究所株式会社(JASMINE どうぶつ循環器病センター) | 包括協定               | 平成30(2018)年 |
| 29 | 太田油脂株式会社                                | 寄附講座               | 平成30(2018)年 |
| 30 | 島根県美郷町                                  | 包括協定               | 平成31(2019)年 |
| 31 | 東京都芝浦食肉衛生検査所                            | 研究協力               | 平成31(2019)年 |
| 32 | 公益財団法人ハーモニセンター                          | 連携協力               | 平成31(2019)年 |
| 33 | 株式会社エム・ティー・スリー                          | 寄附講座               | 平成31(2019)年 |
| 34 | どうぶつの総合病院専門医療&救急センター                    | 連携協力               | 令和2(2020)年  |
| 35 | 神奈川県                                    | 野生鳥獣被害対策に係る協働事業    | 令和2(2020)年  |
| 36 | 明治アニマルヘルス株式会社                           | 寄附講座               | 令和3(2021)年  |
| 37 | たんぼぼあだぶしよんばあく                           | 獣医療行為実施            | 令和3(2021)年  |
| 38 | 公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)                   | 包括協定               | 令和4(2022)年  |
| 39 | 千葉県農業共済組合                               | 連携協力               | 令和4(2022)年  |
| 40 | 株式会社DVMs                                | 連携協力               | 令和4(2022)年  |
| 41 | 神奈川県                                    | 特定家畜伝染病発生時の防疫活動の連携 | 令和5(2023)年  |

②大学間連携

令和5(2023)年3月31日現在

| 連携機関 |                                              | 連携内容 | 協定締結年月日     |
|------|----------------------------------------------|------|-------------|
| 1    | 放送大学                                         | 単位互換 | 平成6(1994)年  |
| 2    | 神奈川県内の大学間における学術交流協定(県内31の大学キャンパスにおける大学院単位交換) | 単位互換 | 平成13(2001)年 |
| 3    | 日本獣医生命科学大学                                   | 連携協力 | 平成28(2016)年 |
| 4    | 東京医療学院大学                                     | 連携協力 | 平成31(2019)年 |
| 5    | 東京農業大学                                       | 連携協力 | 令和元(2019)年  |
| 6    | 駒澤大学医療健康科学部                                  | 連携協力 | 令和2(2020)年  |
| 7    | 鹿児島大学共同獣医学部                                  | 包括連携 | 令和4(2022)年  |

(9) 地域連携

① 地域連携事業(令和4(2022)年度実績)

| 名称                                                                  | テーマ                                              | 実施日時                                               |
|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 子ども科学探検隊<br>(神奈川県青少年科学体験活動推進協議会)                                    | 羊とのふれ合い活動～羊とはどんな動物?解説～<br>手芸～羊毛フェルトマスコット作り～      | 令和4(2022)年9月10日<br>12時15分～15時                      |
| 麻布大学教育セミナー                                                          | 講座開催に向け、講座内容及び日程調整を行ったが開催に至らなかった。                |                                                    |
| 小動物臨床セミナー                                                           |                                                  | 動画配信(獣医師専用)                                        |
| 市民大学<br>(相模原市教育委員会、座間市教育委員会(事業委託者:公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム)との連携事業)   | 生命・環境科学部 開催講座「食べることは生きることー美味しく、安全に、健康にー」(全5回)    | 令和4(2022)年10月13日<br>～17日(11月3日を除く)<br>各日18時～19時    |
|                                                                     | 獣医学部 開催講座「牛などの産業動物の健康・機能・形態:ヒトの役にたつのもっともです」(全3回) | 令和4(2022)年11月1日<br>～15日 各日18時～19時<br>30分           |
| さがまちカレッジ<br>(公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムとの連携事業)                         | 『進化ってなんだ!?～頭蓋骨ペーパークラフトを作ってたしかめよう』                | 令和4(2022)年7月27日<br>①9時30分～11時30分<br>②13時30分～15時30分 |
| オーサーズカフェ<br>(相模原市立市民・大学交流センター(指定管理者:公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム)との連携事業) | 講座開催に向け、講座内容及び日程調整を行ったが開催に至らなかった。                |                                                    |
| 座間谷戸山公園でSDGsグリーンマップづくり<br>(座間市、公益財団法人神奈川県公園協会との連携事業)                | 大学生と一緒に座間谷戸山公園の魅力を発見しよう!                         | 令和4(2022)年8月28日<br>9時30分～13時                       |
| 夏休み親子講座<br>(神奈川県民共済)                                                | 夏休みオンライン親子講座「小学校の夏休み自由研究」                        | 令和4(2022)年7月25日<br>～8月19日<br>Zoomオンライン講座           |
| 生涯学習                                                                | 麻布大学生涯学習講座～シニアライフを生き活きと～                         | 令和4(2022)年7月13日<br>13時30分～15時                      |

② 麻布大学いのちの博物館

■ 令和4(2022)年度開館日数及び入館者数

| 開館日数 | 入館者総数 | うちイベント入館者数 | うち通常時入館者数 | 1日平均入館者数 |
|------|-------|------------|-----------|----------|
| 247  | 4,400 | 2,669      | 1,731     | 17.8     |

※1日平均入館者数=通常時入館者数÷開館日数

## ③ 高大連携協定校（令和4（2022）年度実績）

| No. | 協定校             | 連携内容                                                                                                                    | 協定締結年       |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1   | 神奈川県立座間高等学校     | 【大学側】<br>聴講生徒・研究室体験生徒の受入れ<br>大学教員による高校への出張講義<br><br>【高校側】<br>教育実習生の受入れ<br><br>【双方】<br>教育についての情報交換及び交流<br>その他双方が協議した合意事項 | 平成15(2003)年 |
| 2   | 神奈川県立城山高等学校     |                                                                                                                         | 平成15(2003)年 |
| 3   | 神奈川県立麻溝台高等学校    |                                                                                                                         | 平成16(2004)年 |
| 4   | 神奈川県立相原高等学校     |                                                                                                                         | 平成16(2004)年 |
| 5   | 神奈川県立川崎工科高等学校   |                                                                                                                         | 平成22(2010)年 |
| 6   | 神奈川県立大和東高等学校    |                                                                                                                         | 平成22(2010)年 |
| 7   | 神奈川県立相模原高等学校    |                                                                                                                         | 平成23(2011)年 |
| 8   | 工学院大学附属中学校・高等学校 | 麻布大学生命・環境科学部との協定<br>・大学の教員の高校への派遣<br>・高大連携講座授業等への参加・受入れ<br>・優秀な生徒の優先的推薦に関する事項<br>・その他本協定の目的に沿う事項                        | 令和2(2020)年  |
| 9   | 横浜高等学校          |                                                                                                                         | 令和2(2020)年  |
| 10  | 横浜清風高等学校        |                                                                                                                         | 令和3(2021)年  |
| 11  | 聖セシリア女子高等学校     |                                                                                                                         | 令和3(2021)年  |
| 12  | 聖パウロ学園高等学校      |                                                                                                                         | 令和3(2021)年  |
| 13  | 横浜創英中学・高等学校     |                                                                                                                         | 令和3(2021)年  |
| 14  | 神奈川県立横須賀高等学校    | 麻布大学との協定<br>・大学教員による通常授業・出張講義・模擬授業（早期履修を含む。）<br>・教育及び研究についての情報交換及び交流<br>・社会貢献活動における交流<br>・その他、目的を達成するために必要なこと           | 令和4(2022)年  |
| 15  | 新渡戸文化高等学校       |                                                                                                                         | 令和4(2022)年  |
| 16  | 明星中学校・高等学校      |                                                                                                                         | 令和4(2022)年  |
| 17  | 相模女子大学中学部・高等部   |                                                                                                                         | 令和5(2023)年  |

## ④ 聴講生徒・研究室体験生徒の受入状況（令和4（2022）年度実績）

|          | 聴講生徒 | 研究室体験生徒 |
|----------|------|---------|
| 獣医学部     | 0 人  | 45 人    |
| 生命・環境科学部 | 4 人  | 103 人   |
| 附属動物病院   | 0 人  | 0 人     |

## ⑤ 理科実験技術研修会申込状況（令和4(2022)年度実績）

| 名称                           | テーマ                                          | 申込人数 | 実施日時             |
|------------------------------|----------------------------------------------|------|------------------|
| 2022年度 高校理科教諭対象<br>理科実験技術研修会 | 顕微鏡標本作製シリーズ8「腎臓」                             | 5    | 令和4(2022)年11月5日  |
|                              | 「ゲノムDNAの抽出からPCRまで」～DNAの基本的技術を実体験するための授業を考える～ | 11   | 令和4(2022)年12月10日 |
|                              | DNAのアガロースゲル電気泳動と塩基配列の比較による生物の系統解析            | 8    | 令和5(2023)年3月17日  |

## (10) 麻布大学附属高等学校に関する情報

### ①教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会の建設に貢献する。

### ②教育方針

「未来を拓く力の育成」

高校の3年間は、人生の中でも最も多感で、社会人として必要な人格形成に重要な意味をもつ期間と捉え、生徒は、誠実な校風のもと、学業、部活等とともに仲間と学びあうことを通じて、「自己を知り、自らを磨く」ことにより、「自身の未来を拓く力（自らの進路をみつめ、学力の向上、人格的素養を磨く）」を育む。

### ③学校教育目標

- 個性を伸ばし、生徒一人ひとりの進路に応じた確かな学力の定着（学力）
- 基本的な生活習慣（あいさつ・時間厳守・マナーやルールの尊重）を育み、国際化の社会に対応できる能力（情報発信力、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力など）の育成（生きる力）
- 多様な価値観を認め合い、他者を思いやる心の育成（命の大切さ）
- あらゆる生命や自然環境を尊重する精神の涵養（命の大切さ）

### ④教職員数（人）

令和4（2022）年5月1日現在

|      | 校長 | 副校長 | 教頭 | 教諭 | 契約講師 | 非常勤講師 | 専任職員 | 合計 |
|------|----|-----|----|----|------|-------|------|----|
| 教職員数 | 1  | 1   | 1  | 44 | 3    | 42    | 4    | 96 |

※非常勤講師には業務委託を含む。

### ⑤クラス別生徒数（人）

令和4（2022）年5月1日現在

| 学年       | クラス名      | クラス数 | 生徒数(人) |
|----------|-----------|------|--------|
| 1年       | S特進クラス    | 1    | 42     |
|          | 特進クラス     | 4    | 152    |
|          | 進学クラス     | 5    | 189    |
|          | 生徒数小計(人)  |      | 383    |
| 2年       | 理系・S特進クラス | 1    | 30     |
|          | 文系・S特進クラス | 1    | 28     |
|          | 理系・特進クラス  | 1    | 40     |
|          | 文系・特進クラス  | 1    | 38     |
|          | 理系・進学クラス  | 3    | 107    |
|          | 文系・進学クラス  | 2    | 73     |
|          | 生徒数小計(人)  |      | 316    |
| 3年       | S特進クラス    | 1    | 40     |
|          | 理系・特進クラス  | 2    | 79     |
|          | 文系・特進クラス  | 2    | 80     |
|          | 理系・進学クラス  | 4    | 151    |
|          | 文系・進学クラス  | 4    | 145    |
|          | 生徒数小計(人)  |      | 495    |
| 生徒数合計(人) |           |      | 1,194  |

### ⑥ 卒業者数及び進路状況（人）

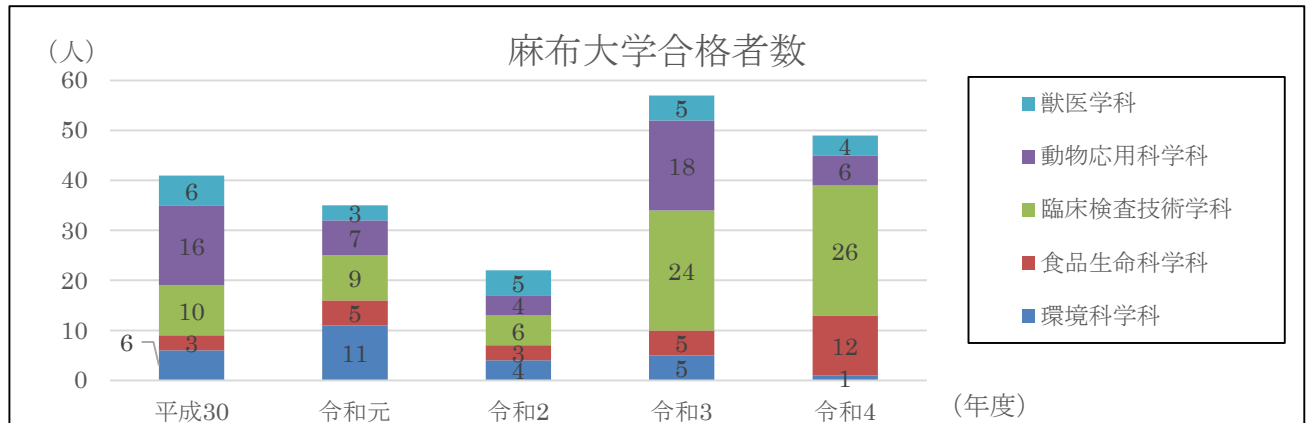
令和5(2023)年5月1日現在

| 卒業者数 | 進学   |       |      |      |           |          | 就職 | その他<br>(浪人等) |
|------|------|-------|------|------|-----------|----------|----|--------------|
|      | 麻布大学 | 国公立大学 | 私立大学 | 短期大学 | 専門学校・各種学校 | その他(留学等) |    |              |
| 490  | 26   | 12    | 377  | 10   | 28        | 1        | 3  | 33           |

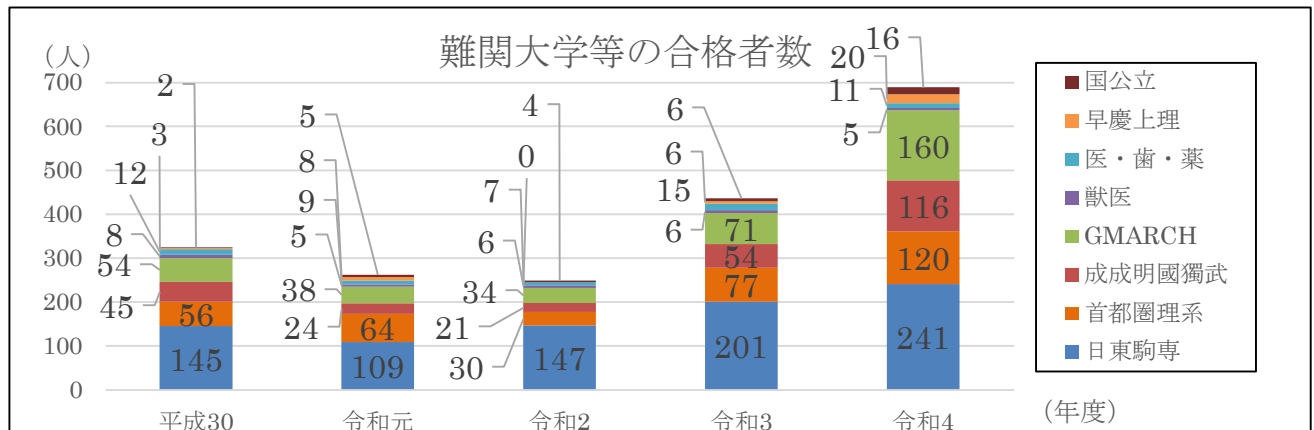


令和5(2023)年3月31日現在

⑦麻布大学合格者数の推移



⑧難関大学合格者数の推移



※早慶上理 = 早稲田・慶應義塾・上智・東京理科  
 GMARCH = 明治・青山学院・立教・中央・法政・学習院  
 成成明國獨武 = 成蹊・成城・明治学院・國學院・獨協・武蔵  
 首都圏理系 = 芝浦工業・北里(医獣医薬以外)・工学院・東京農業・東京都市・東京電機  
 日東駒専 = 日本(医獣医歯薬以外)・東洋・駒澤・専修

⑨入学試験結果 令和5(2023)年度入学試験データ

(人)

| 課程等                                            |            |      |            | 学則<br>定員 | 令和5年度（2023） |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       | 令和4年度（2022） |     |       |
|------------------------------------------------|------------|------|------------|----------|-------------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-------------|-----|-------|
|                                                |            |      |            |          | 志 願 者       |       |     | 受験者   |       |     | 合格者   |       |     | 入学者   |       |             | 受験者 | 入学者   |
|                                                |            |      |            |          | 男           | 女     | 計   | 男     | 女     | 計   | 男     | 女     | 計   | 男     | 女     | 計           |     |       |
| 全<br><br>日<br><br>制<br><br>普<br><br>通<br><br>科 | 推薦入試       |      |            |          | 44          | 40    | 84  | 44    | 40    | 84  | 44    | 40    | 84  | 44    | 40    | 84          | 123 | 123   |
|                                                | 一般入<br>学試験 | 前期   | A方式        |          | 318         | 253   | 571 | 318   | 253   | 571 | 318   | 253   | 571 | 45    | 48    | 93          | 661 | 133   |
|                                                |            |      | B方式        |          | 235         | 244   | 479 | 235   | 244   | 479 | 235   | 244   | 479 | 19    | 34    | 53          | 695 | 107   |
|                                                |            |      | オープン<br>方式 |          | 86          | 33    | 119 | 79    | 30    | 109 | 49    | 22    | 71  | 27    | 12    | 39          | 160 | 19    |
|                                                |            | 第1回目 | 50         |          | 23          | 73    | 50  | 22    | 72    | 32  | 16    | 48    | 19  | 9     | 28    | 87          | 8   |       |
|                                                |            | 第2回目 | 36         |          | 10          | 46    | 29  | 8     | 37    | 17  | 6     | 23    | 8   | 3     | 11    | 73          | 11  |       |
|                                                |            | 前期   | 639        |          | 530         | 1,169 | 632 | 527   | 1,159 | 602 | 519   | 1,121 | 91  | 94    | 185   | 1,516       | 259 |       |
|                                                | 後期         |      |            |          |             |       |     |       |       |     |       |       |     |       | 3     | 1           |     |       |
|                                                | 前期・後期 小計   | 639  | 530        |          | 1,169       | 632   | 527 | 1,159 | 602   | 519 | 1,121 | 91    | 94  | 185   | 1,519 | 260         |     |       |
|                                                |            | 計    |            |          | 258         | 683   | 570 | 1,253 | 676   | 567 | 1,243 | 646   | 559 | 1,205 | 135   | 134         | 269 | 1,642 |

## III

## 財務の概要

## 1. 学校法人会計の特徴と企業会計との比較

学校法人は、「教育研究活動」という公共性の高い事業を遂行することを目的としており、この教育研究活動を円滑に遂行するため財政の安定と永続性が求められます。原則として企業のように利益追求(営利)を目的とするわけではないため、企業における損益計算を目的とする商業簿記による会計処理では、学校法人の経営状況を把握することが難しくなります。そのため、学校法人では企業会計とは異なる独自の会計形態をとっており、これを「学校法人会計」といいます。

学校法人会計と企業会計は、次のような違いがあります。

|         | 学校法人会計                                        | 企業会計                                              |
|---------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 目的      | 永続的な運営のため、「収支の均衡状況」と「財政状態」を正確に捉えること           | 「損益」(収益と費用)を正しく計算し、企業の「営業成績」と「財政状態」を利害関係者に開示すること  |
| 会計基準    | 学校法人会計基準                                      | 企業会計原則、原価計算基準等                                    |
| 会計年度    | 4月1日～翌年3月31日                                  | 定款で定めることができる                                      |
| 作成書類    | 資金収支計算書<br>事業活動収支計算書<br>貸借対照表<br>上記附属の内訳表・明細表 | キャッシュフロー計算書(上場企業)<br>損益計算書<br>貸借対照表<br>株主資本等変動計算書 |
| 決算書類の様式 | 予算額、決算額及びその差異を明記すること                          | 予算額記載の必要性なし                                       |
| 基本財産    | 基本(自己所有財産)                                    | 基本(株主出資)                                          |
| 利益処分    | なし(収支均衡を原則とする)                                | あり(株主配当)                                          |
| 管理機能    | あり(予算管理も重視)                                   | あり(主に決算管理)                                        |
| 受託責任機能  | 教育研究を支援する委託者<br>(学費支弁者、国・公共団体、寄付者等)           | 利益獲得を目的とする委託者<br>(株主、利害関係者等)                      |
| 利益測定機能  | なし(事業活動収支計算書にて収支バランスの測定)                      | あり(損益計算書)                                         |

学校法人会計において作成する計算書類

## ① 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出の顛末を明らかにするものです。

## ② 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動毎の収支の内容と均衡状態を明確にし、経営状況を表すものです。

法人に帰属する負債(借入金、前受金等)にならない収入(事業活動収入)から基本金組入額を差し引いた額と資産・借入金返済などの資本的支出にあてる額を除いた支出を計上します。

## ③ 貸借対照表

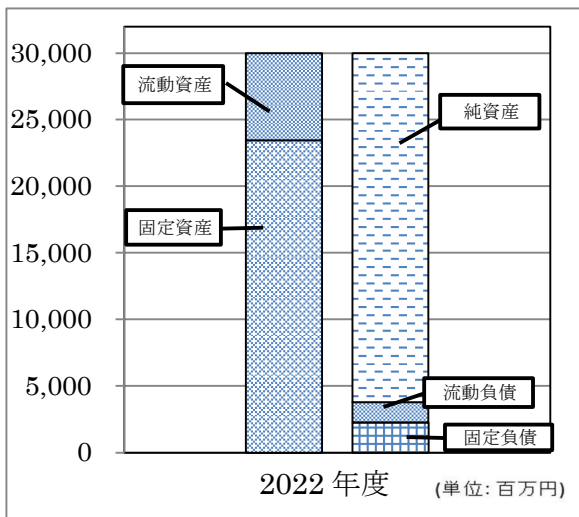
決算日(年度末)における資産・負債・基本金及び収支差額を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。

## 2. 決算の概要

### (1) 貸借対照表

(単位：円)

|             | 2018年度          | 2019年度          | 2020年度          | 2021年度          | 2022年度          |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 固定資産        | 24,080,924,124  | 24,022,775,383  | 23,009,716,857  | 23,151,015,538  | 23,456,157,538  |
| 流動資産        | 4,658,656,673   | 5,001,532,573   | 6,293,528,285   | 6,522,114,695   | 6,539,800,506   |
| 資産の部合計      | 28,739,580,797  | 29,024,307,956  | 29,303,245,142  | 29,673,130,233  | 29,995,958,044  |
| 固定負債        | 2,832,335,568   | 2,617,883,974   | 2,458,351,837   | 2,362,762,825   | 2,264,478,833   |
| 流動負債        | 1,778,161,734   | 1,885,780,807   | 1,706,006,529   | 1,611,585,156   | 1,520,095,623   |
| 負債の部合計      | 4,610,497,302   | 4,503,664,781   | 4,164,358,366   | 3,974,347,981   | 3,784,574,456   |
| 基本金         | 33,932,735,344  | 34,186,970,971  | 34,460,332,026  | 34,792,329,036  | 34,876,067,229  |
| 繰越収支差額      | △ 9,803,651,849 | △ 9,666,327,796 | △ 9,321,445,250 | △ 9,093,546,784 | △ 8,664,683,641 |
| 純資産の部合計     | 24,129,083,495  | 24,520,643,175  | 25,138,886,776  | 25,698,782,252  | 26,211,383,588  |
| 負債及び純資産の部合計 | 28,739,580,797  | 29,024,307,956  | 29,303,245,142  | 29,673,130,233  | 29,995,958,044  |



### (2) ①資金収支計算書

(単位：円)

| 収入の部        | 2018年度          | 2019年度          | 2020年度          | 2021年度          | 2022年度          |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 学生生徒等納付金収入  | 5,186,120,750   | 5,226,284,700   | 5,381,757,800   | 5,268,701,500   | 5,200,219,900   |
| 手数料収入       | 193,137,680     | 175,484,270     | 139,810,024     | 150,184,128     | 150,557,694     |
| 寄付金収入       | 63,523,579      | 60,821,654      | 88,081,469      | 92,459,550      | 116,330,231     |
| 補助金収入       | 795,141,696     | 797,361,089     | 880,225,844     | 873,137,222     | 1,109,268,426   |
| 資産売却収入      | 1,200,042,015   | 400,088,515     | 400,028,200     | 300,010,895     | 200,010,920     |
| 付随事業・収益事業収入 | 443,431,310     | 487,409,283     | 457,407,252     | 595,915,105     | 676,791,868     |
| 受取利息・配当金収入  | 29,393,321      | 43,152,860      | 47,451,384      | 52,067,635      | 60,083,736      |
| 雑収入         | 188,749,801     | 247,468,414     | 264,280,187     | 209,671,644     | 103,612,366     |
| 借入金等収入      | 0               | 0               | 0               | 0               | 0               |
| 前受金収入       | 1,022,691,091   | 1,061,606,795   | 857,570,523     | 887,088,564     | 887,289,661     |
| その他の収入      | 1,700,749,293   | 3,707,918,131   | 2,202,897,445   | 2,350,995,542   | 198,483,866     |
| 資金収入調整勘定    | △ 1,095,263,927 | △ 1,199,636,197 | △ 1,348,432,044 | △ 1,024,711,923 | △ 1,006,079,307 |
| 前年度繰越支払資金   | 3,919,558,977   | 4,459,529,735   | 4,803,050,064   | 5,972,801,646   | 6,323,854,434   |
| 収入の部合計      | 13,647,275,586  | 15,467,489,249  | 14,174,128,148  | 15,728,321,508  | 14,020,423,795  |

(単位：円)

| 支出の部      | 2018年度         | 2019年度         | 2020年度         | 2021年度         | 2022年度         |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 人件費支出     | 3,211,111,011  | 3,360,990,188  | 3,455,988,937  | 3,401,979,046  | 3,247,699,545  |
| 教育研究経費支出  | 1,804,174,365  | 1,746,563,645  | 1,740,582,999  | 1,835,314,321  | 2,179,252,500  |
| 管理経費支出    | 476,716,469    | 480,785,381    | 466,609,717    | 476,241,373    | 496,992,106    |
| 借入金等利息支出  | 24,912,794     | 22,912,815     | 20,912,834     | 18,912,854     | 16,912,875     |
| 借入金等返済支出  | 111,110,000    | 111,110,000    | 111,110,000    | 111,110,000    | 111,110,000    |
| 施設関係支出    | 65,973,812     | 149,892,426    | 0              | 114,371,911    | 180,754,816    |
| 設備関係支出    | 256,383,201    | 153,058,785    | 188,711,760    | 279,487,425    | 262,406,869    |
| 資産運用支出    | 3,173,135,782  | 4,612,432,570  | 2,213,516,604  | 3,025,205,822  | 1,013,648,039  |
| その他の支出    | 579,382,756    | 549,969,969    | 623,574,450    | 647,216,541    | 507,252,818    |
| 資金支出調整勘定  | △ 515,154,339  | △ 523,276,594  | △ 619,680,799  | △ 505,372,219  | △ 391,711,259  |
| 翌年度繰越支払資金 | 4,459,529,735  | 4,803,050,064  | 5,972,801,646  | 6,323,854,434  | 6,396,105,486  |
| 支出の部合計    | 13,647,275,586 | 15,467,489,249 | 14,174,128,148 | 15,728,321,508 | 14,020,423,795 |

## (2)－②活動区分資金収支計算書

(単位：円)

| 科 目                          | 2018年度        | 2019年度          | 2020年度        | 2021年度          | 2022年度        |
|------------------------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|
| 教育活動による資金収支                  |               |                 |               |                 |               |
| 教育活動資金収入計                    | 6,851,835,816 | 6,977,206,410   | 7,189,634,576 | 7,184,179,149   | 7,341,661,485 |
| 教育活動資金支出計                    | 5,492,001,845 | 5,588,339,214   | 5,663,181,653 | 5,713,534,740   | 5,923,944,151 |
| 差引                           | 1,359,833,971 | 1,388,867,196   | 1,526,452,923 | 1,470,644,409   | 1,417,717,334 |
| 調整勘定等                        | 74,911,842    | 62,895,581      | △ 186,834,226 | △ 11,802,977    | △ 2,000,904   |
| 教育活動資金収支差額                   | 1,434,745,813 | 1,451,762,777   | 1,339,618,697 | 1,458,841,432   | 1,415,716,430 |
| 施設整備等活動による資金収支               |               |                 |               |                 |               |
| 施設整備等活動資金収入計                 | 1,118,311,015 | 2,317,711,515   | 1,421,956,200 | 1,105,900,895   | 15,129,920    |
| 施設整備等活動資金支出計                 | 1,922,357,013 | 2,202,951,211   | 1,088,711,760 | 2,404,412,064   | 443,161,685   |
| 差引                           | △ 804,045,998 | 114,760,304     | 333,244,440   | △ 1,298,511,169 | △ 428,031,765 |
| 調整勘定等                        | 18,183,692    | △ 27,833,252    | △ 114,934,097 | 34,721,440      | △ 38,005,650  |
| 施設整備等活動資金収支差額                | △ 785,862,306 | 86,927,052      | 218,310,343   | △ 1,263,789,729 | △ 466,037,415 |
| 小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額) | 648,883,507   | 1,538,689,829   | 1,557,929,040 | 195,051,703     | 949,679,015   |
| その他の活動による資金収支                |               |                 |               |                 |               |
| その他の活動資金収入計                  | 1,614,933,935 | 1,680,058,106   | 1,074,268,136 | 1,316,759,630   | 291,633,002   |
| その他の活動資金支出計                  | 1,722,663,478 | 2,873,323,401   | 1,461,445,388 | 1,159,644,239   | 1,166,928,345 |
| 差引                           | △ 107,729,543 | △ 1,193,265,295 | △ 387,177,252 | 157,115,391     | △ 875,295,343 |
| 調整勘定等                        | △ 1,183,206   | △ 1,904,205     | △ 1,000,206   | △ 1,114,306     | △ 2,132,620   |
| その他の活動資金収支差額                 | △ 108,912,749 | △ 1,195,169,500 | △ 388,177,458 | 156,001,085     | △ 877,427,963 |
| 支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)    | 539,970,758   | 343,520,329     | 1,169,751,582 | 351,052,788     | 72,251,052    |
| 前年度繰越支払資金                    | 3,919,558,977 | 4,459,529,735   | 4,803,050,064 | 5,972,801,646   | 6,323,854,434 |
| 翌年度繰越支払資金                    | 4,459,529,735 | 4,803,050,064   | 5,972,801,646 | 6,323,854,434   | 6,396,105,486 |

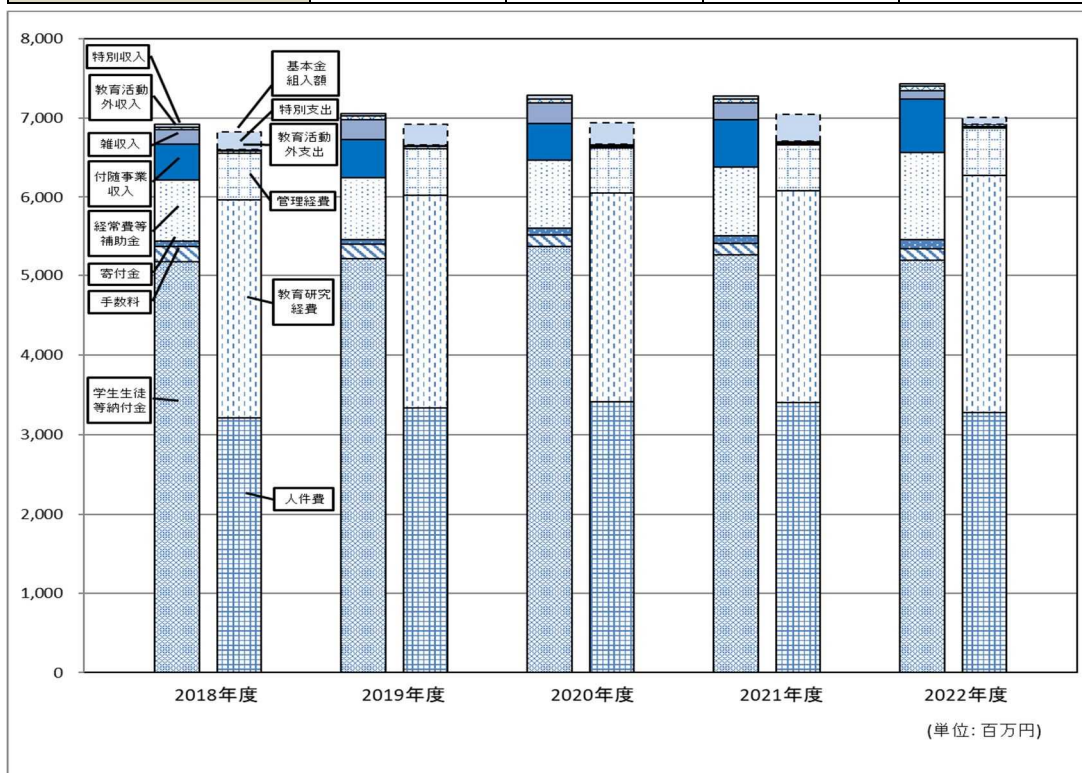
(3) 事業活動収支計算書

(単位：円)

| 科目       | 2018年度        | 2019年度        | 2020年度        | 2021年度        | 2022年度        |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業活動収入関係 |               |               |               |               |               |
| 教育活動収入   |               |               |               |               |               |
| 学生生徒等納付金 | 5,186,120,750 | 5,226,284,700 | 5,381,757,800 | 5,268,701,500 | 5,200,219,900 |
| 手数料      | 193,137,680   | 175,484,270   | 139,810,024   | 150,184,128   | 150,557,694   |
| 寄付金      | 63,440,645    | 60,207,121    | 89,426,199    | 92,788,679    | 116,586,863   |
| 経常費等補助金  | 777,086,696   | 780,751,089   | 858,451,844   | 867,252,222   | 1,094,155,426 |
| 付随事業収入   | 443,431,310   | 487,409,283   | 457,407,252   | 595,915,105   | 676,791,868   |
| 雑収入      | 188,949,763   | 247,468,414   | 264,280,187   | 209,671,644   | 103,612,366   |
| 教育活動外収入計 | 29,393,321    | 43,152,860    | 47,451,384    | 52,067,635    | 60,083,736    |
| 特別収入計    | 34,687,410    | 31,201,589    | 45,567,402    | 34,656,464    | 29,691,853    |
| 事業活動収入計  | 6,916,247,575 | 7,051,959,326 | 7,284,152,092 | 7,271,237,377 | 7,431,699,706 |

| 科目       | 2018年度        | 2019年度        | 2020年度        | 2021年度        | 2022年度        |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業活動支出関係 |               |               |               |               |               |
| 教育活動支出   |               |               |               |               |               |
| 人件費      | 3,209,227,307 | 3,337,057,862 | 3,412,984,416 | 3,402,189,467 | 3,273,890,869 |
| 教育研究経費   | 2,751,012,010 | 2,682,880,229 | 2,635,573,620 | 2,679,350,838 | 2,998,386,320 |
| 管理経費     | 590,776,183   | 592,957,706   | 575,861,232   | 581,142,191   | 597,225,813   |
| 徴収不能額等   | 1,230,625     | 2,124,662     | 545,318       | 978,611       | 1,587,997     |
| 教育活動外支出計 | 24,912,794    | 22,912,815    | 20,912,834    | 18,912,854    | 16,912,875    |
| 特別支出計    | 27,556,014    | 22,466,372    | 20,031,071    | 28,767,940    | 31,094,496    |
| 事業活動支出計  | 6,604,714,933 | 6,660,399,646 | 6,665,908,491 | 6,711,341,901 | 6,919,098,370 |

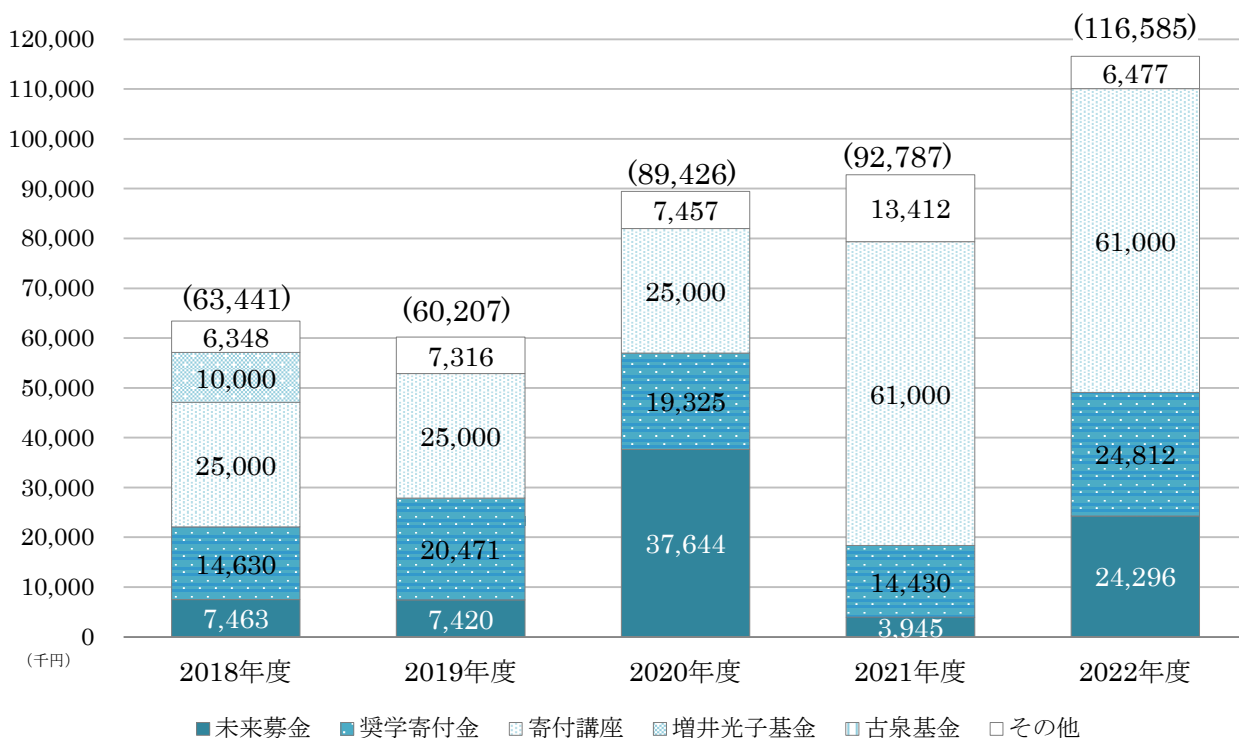
|        |             |             |             |             |            |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 基本金組入額 | 214,135,190 | 254,235,627 | 273,361,055 | 331,997,010 | 83,738,193 |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|



※ 基本金組入額とは、学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして事業活動収入のうちから組み入れた金額で、組み入れるべき金額としては、教育の用に供される固定資産額で、以下のようなものがある。  
建物、構築物、教育研究用機器備品、図書などの取得価額の合計

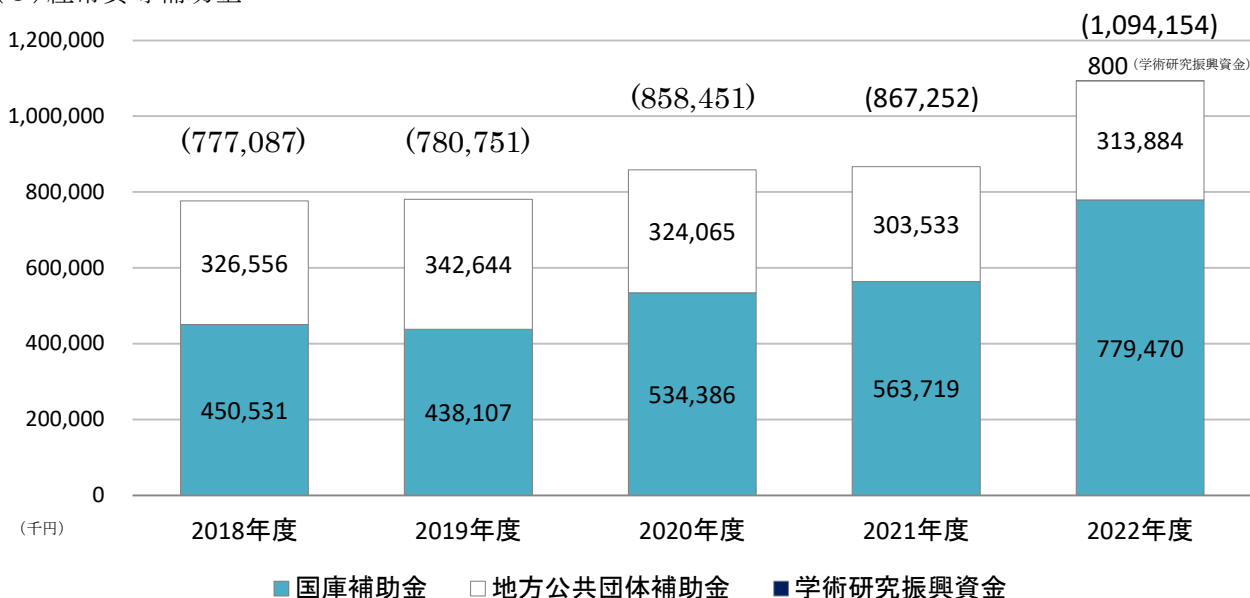


## (4) 寄付金



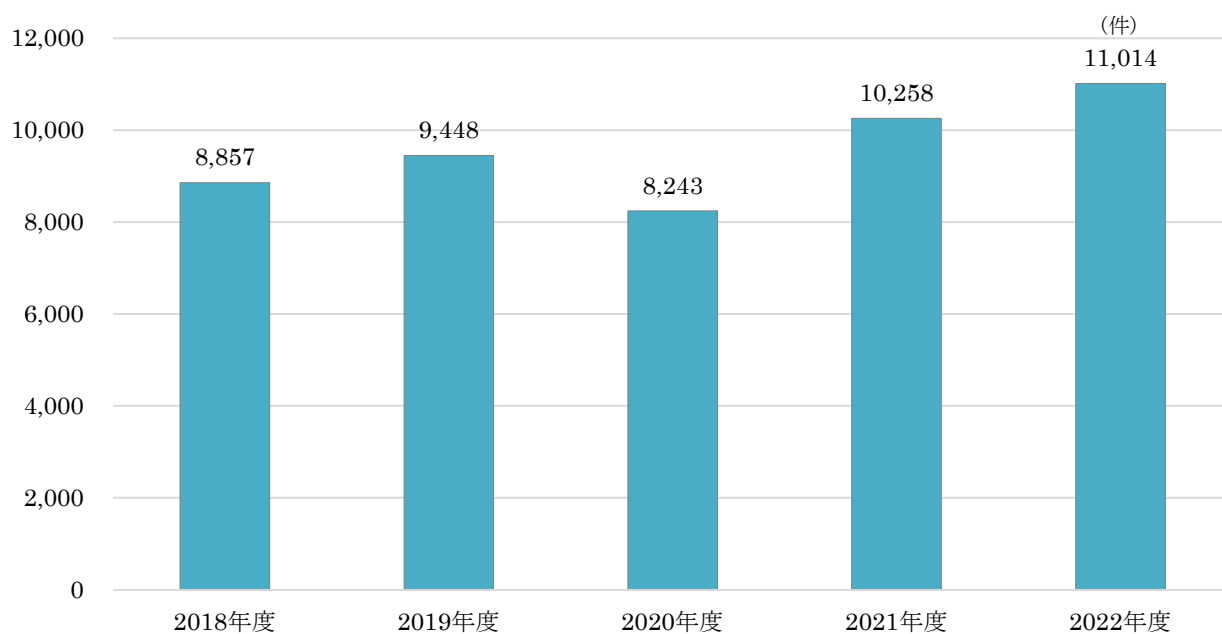
1. 括弧内の数字は、各年度の寄付金合計金額である。
2. 2017年度から麻布獣医学園未来募金を開始した。
3. 2020年度未来募金は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る麻布大学同窓会からの寄付（25,720千円：学習環境補助のための奨学金に充当）を含む。
4. 2022年度未来募金は、公正証書遺言に基づく個人からの寄付（22,000千円給付型奨学金に充当）を含む。

## (5) 経常費等補助金



1. 括弧内の数字は、各年度の経常費等補助金合計金額である。
2. 2020年度、2021年度及び2022年度に私立大学等改革総合支援事業に選定された。
3. 2020年度に「知識集約型社会を支える人材育成事業」（出る杭を引き出す教育プログラム）に選定された。
4. 2020年度以降の国庫補助金には修学支援新制度に係る授業料等減免費交付金を含む。
5. 2021年度に「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に選定された。（補助金の交付は2022年度予定）
6. 2022年度に「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」に選定された。

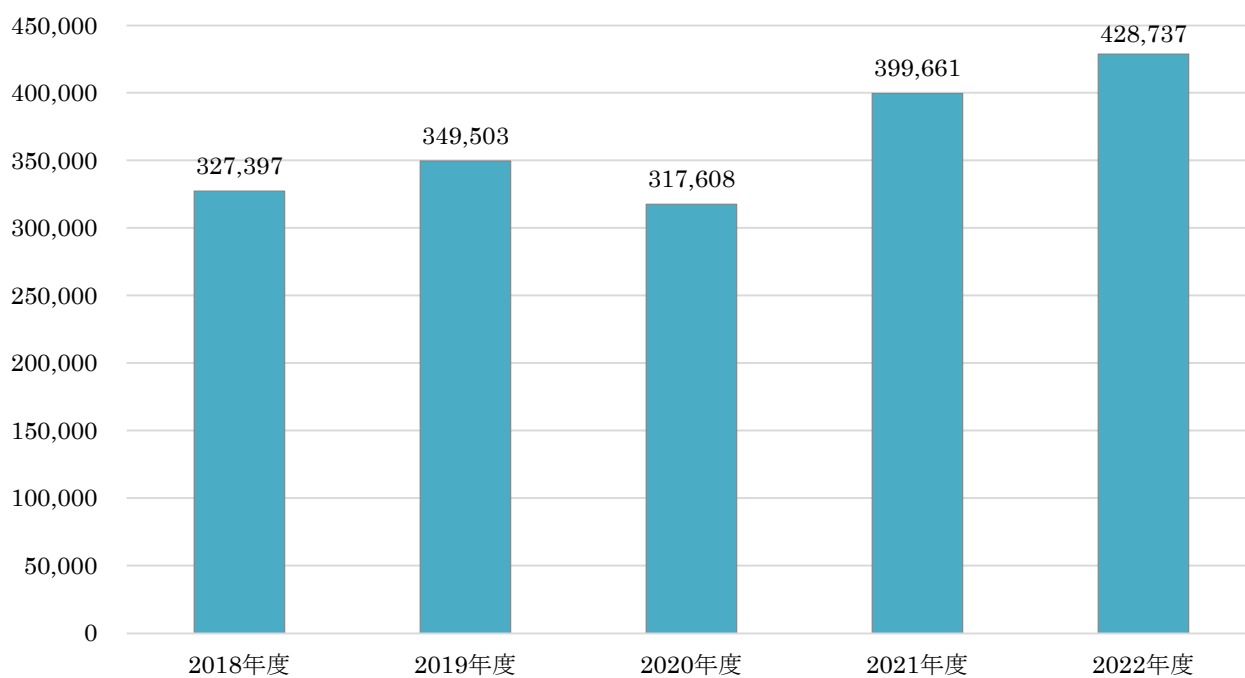
(6) 附属動物病院診療件数



\* 学用(教育研究用)の件数を除いた診療件数である。

(7) 附属動物病院診療収入

(千円)





### 3. 財務比率の推移

本学園では、2016年度から2030年度までの期間を「財政基盤強化期間」とし、予算編成上、次の3つを数値目標に設定しています。

そして、学園教職員の協力の下、**全ての年度で数値目標を「達成」**しており、本章でお示ししている各財務指標においても、**学園の財政が改善傾向にある**ことが確認できます。

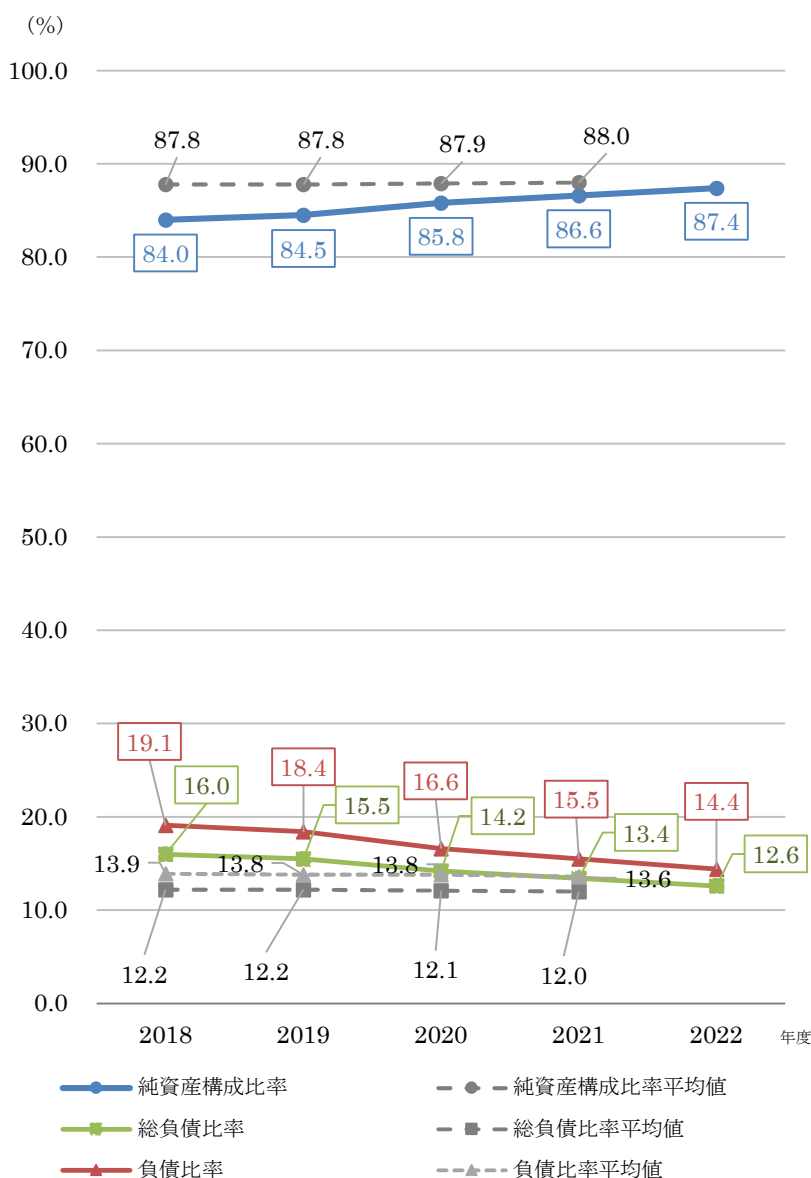
(数値目標)

- ① 施設関係支出・設備関係支出の上限設定  
▶ 2016～2030年度の支出総額の上限を120億円に設定
- ② 施設設備引当特定資産・減価償却引当特定資産の拡充  
▶ 2030年度までにこれらの特定資産を合計30億円純増
- ③ 基本金組入前当年度収支差額の目標額の設定  
▶ 毎年度1億円を設定

▼ 以下に示す財務指標において、上述の番号を引用して適宜説明しています。▼

※ 財務比率の「全国平均値」は、いずれも「今日の私学財政（大学・短期大学編）」（日本私立学校振興・共済事業団編）の医歯系法人を除く大学法人の平均値です。

#### (1) 純資産構成比率、総負債比率、負債比率



● 純資産構成比率は、全国平均値よりも低い水準ですが、学園の財政に係る数値目標（主に③）の達成に伴い、改善傾向にあります。

総負債比率及び負債比率も同様に改善傾向にあります。

📌 「純資産構成比率」 =  $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}} \times 100$

○ 資産の調達源泉を分析し、財政基盤の安定性を把握することができる最も概括的で重要な指標であり、高いほど、総資産に対する自己資金率が高く、財政状態が安定しているといえる。

📌 「総負債比率」 =  $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$

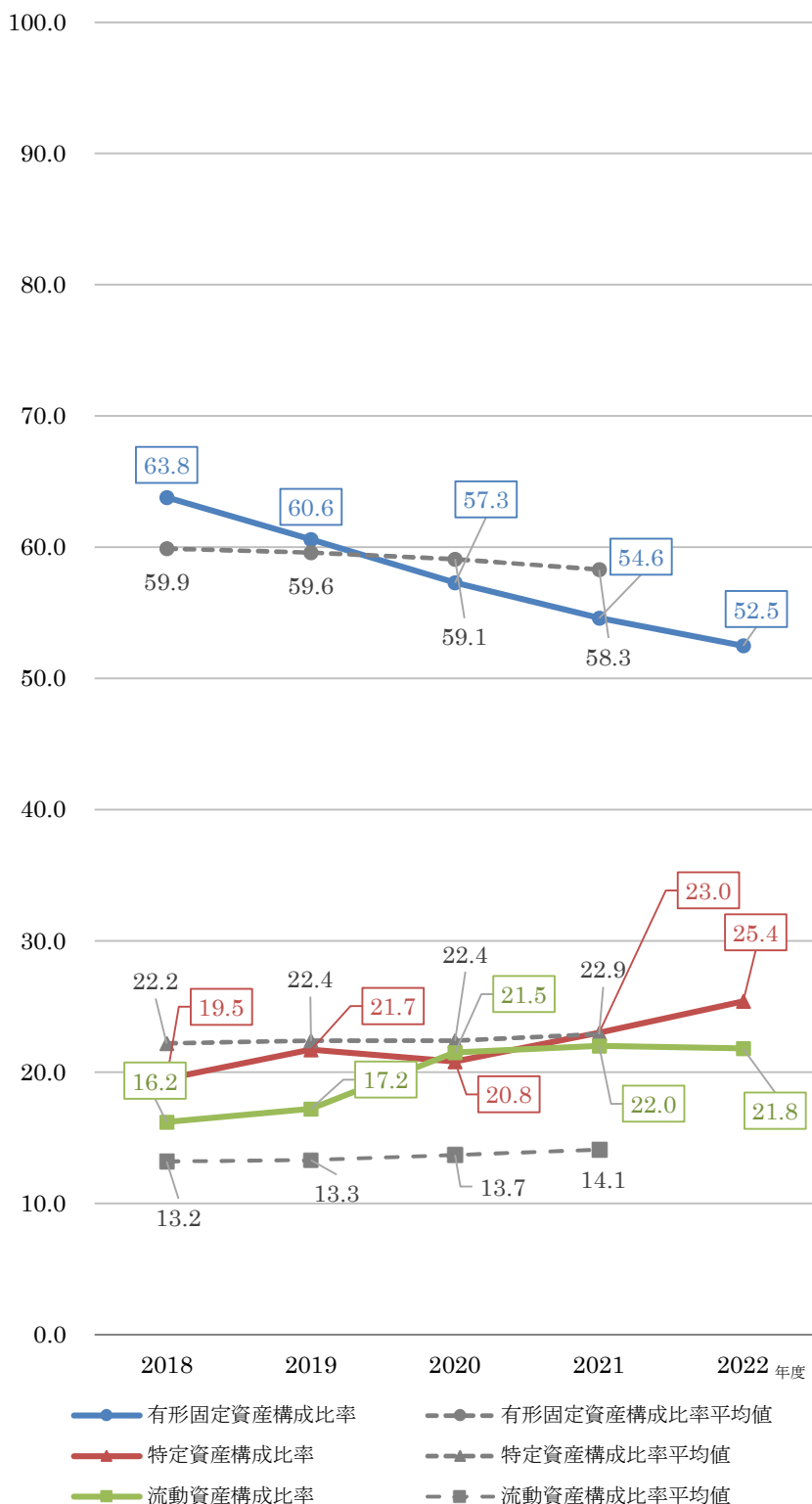
○ 総資産に対する他人資金の比重を評価する比率で、低いほど、自己資金が多く、財政基盤が安定しているといえる。

📌 「負債比率」 =  $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}} \times 100$

○ 他人資金である総負債が、自己資金である純資産を上回っていないかを測る比率であり、低い方が望ましい。

(2)有形固定資産構成比率、特定資産構成比率、流動資産構成比率

(%)



「有形固定資産構成比率」= 有形固定資産 ÷ 総資産 × 100

○土地・建物等の有形固定資産の構成比が、資産構成上、バランスをとれているか評価する指標である。学校規模に対して、設備投資が過剰となる場合は、財政を逼迫させる要因となるため、注意が必要である。

「特定資産構成比率」= 特定資産 ÷ 総資産 × 100

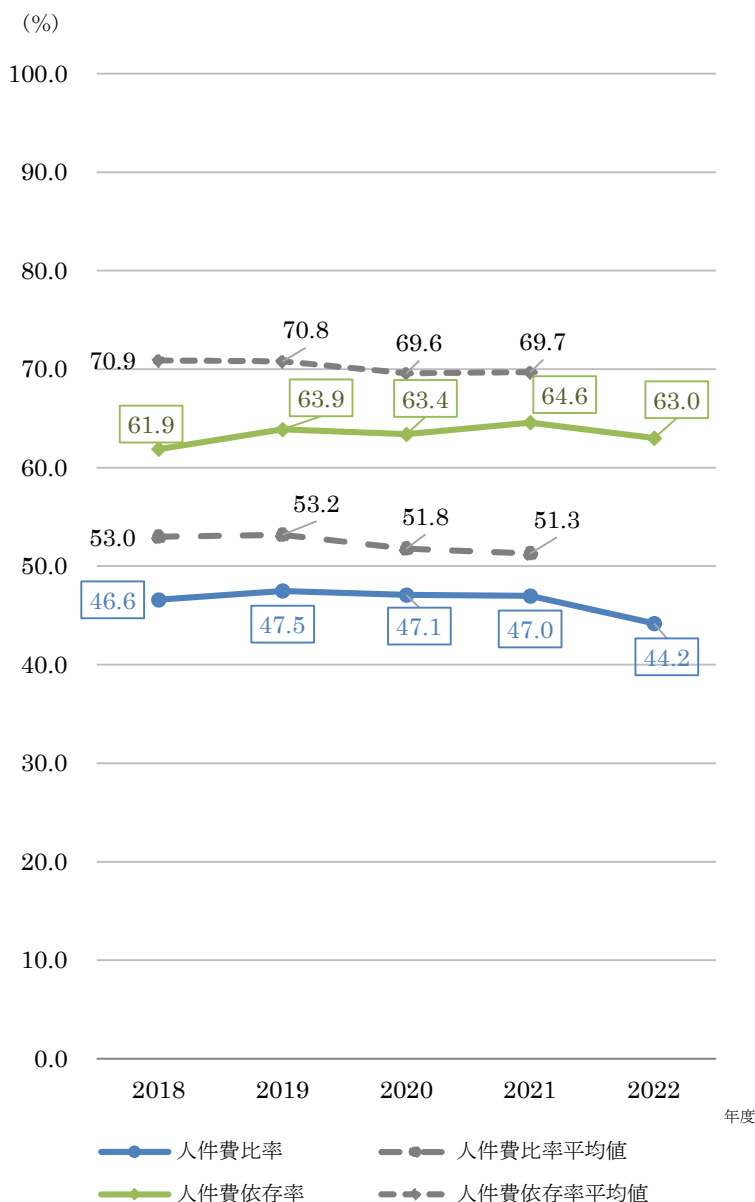
○長期にわたって特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況を評価する指標である。この比率が高い場合、中長期的な財政支出に対する備えが充実しており、計画的な学校法人経営に資するといえる。

「流動資産構成比率」= 流動資産 ÷ 総資産 × 100

○現金預金や短期有価証券などの現金化が可能な資産の保有状況を評価する指標である。この比率が著しく低い場合、資金繰りが苦しい状況にあると評価できるが、低い場合であっても、有利な運用条件を求めて特定資産化している場合もあり、その点も合わせて評価する必要がある。

- 有形固定資産構成比率は、学園の財政に係る数値目標（主に①）の達成に伴い、全国平均値より低い値になっています。同様の理由で、流動資産構成比率が上昇傾向にあります。
- 特定資産構成比率は、学園の財政に係る数値目標（主に②）の達成に伴い、全国平均値に近い水準です。

(3) 人件費比率、人件費依存率



「人件費比率」 = 人件費 ÷ 経常収入 × 100

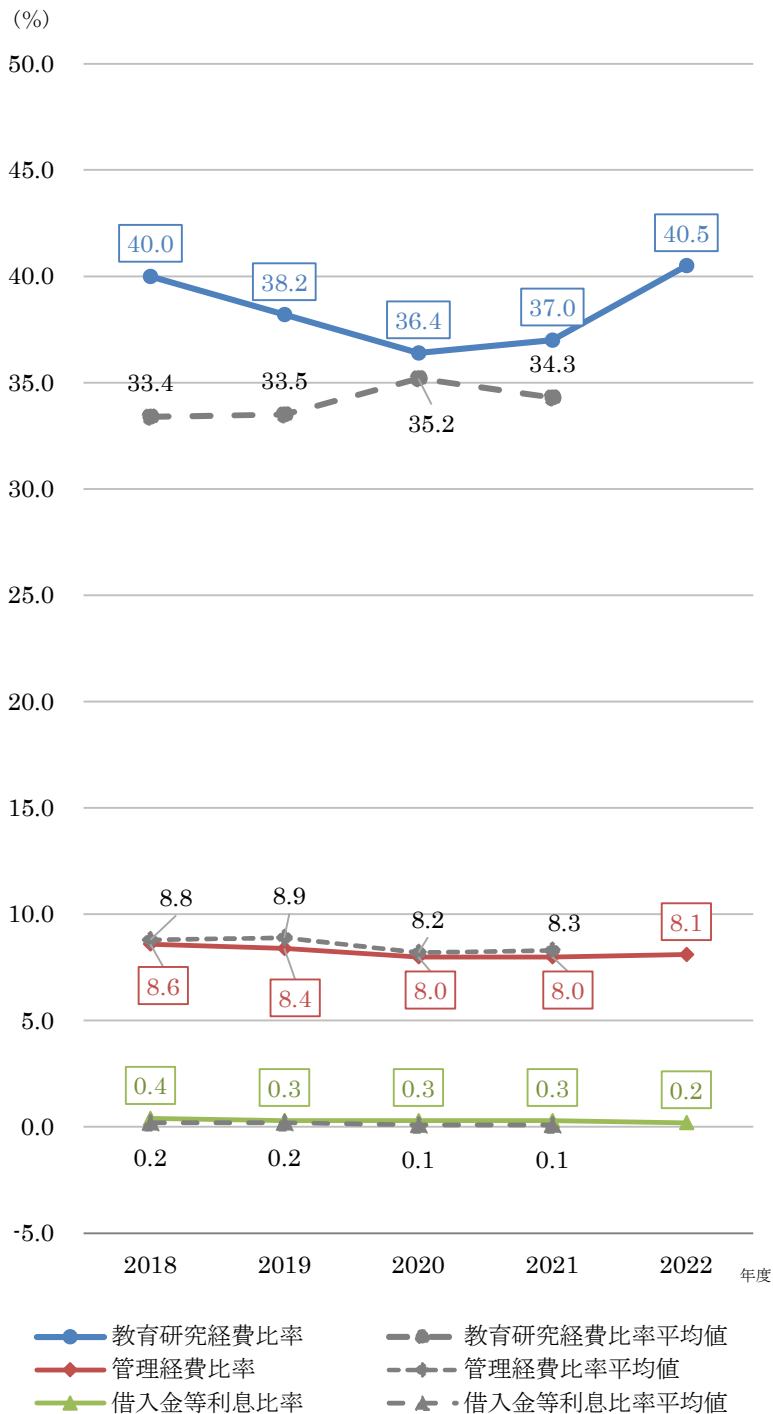
○人件費は経常支出の中で最大の部分を占めるため、この比率が特に高くなると支出全体を膨張させ、収支の悪化を招きやすい。

「人件費依存率」 = 人件費 ÷ 学生生徒等納付金 × 100

○一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっていること(100%以内)が理想的である。

●人件費比率及び人件費依存率は、いずれも全国平均値よりも低い水準です。

(4) 教育研究経費比率、管理経費比率、借入金等利息比率



「教育研究経費比率」 = 教育研究経費 ÷ 経常収入 × 100

○教育研究経費は、学校法人の本業である教育研究活動の維持・発展を支えると共に、経常費等補助金の配分とも関係する費用であり、収支均衡を失しない範囲内(基本金組入後収支比率が100%前後であること)で高くなることが望ましい。

「管理経費比率」 = 管理経費 ÷ 経常収入 × 100

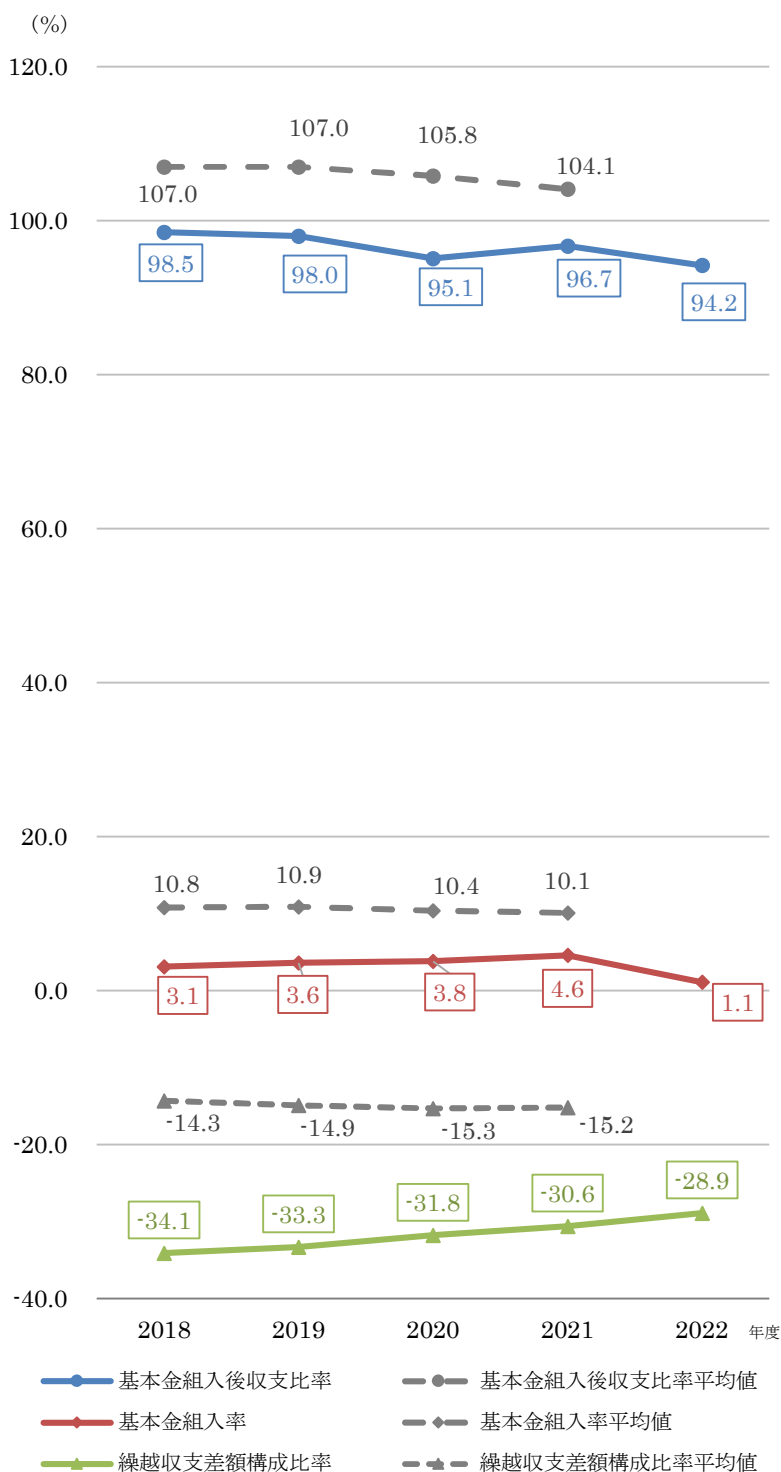
○管理経費は、学校法人の運営のため、ある程度の支出は必要であるが、教育研究活動以外の目的で支出される経費であり、比率としては低い方が望ましい。

「借入金等利息比率」 = 借入金等利息 ÷ 経常収入 × 100

○借入金等利息は、外部有利子負債がなければ発生しないものであるため、この比率は低い方が望ましい。

- 教育研究経費比率及び借入金等利息比率は、いずれも全国平均値より高い水準です。
- 管理経費比率は全国平均値に近い水準です。

(5) 基本金組入後収支比率、基本金組入率、繰越収支差額構成比率



「基本金組入後収支比率」= 事業活動支出 ÷ (事業活動収入 - 基本金組入額) × 100

○この比率は、一般的に収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、基本金組入額の影響を受けるため、評価する際は、基本金組入内容を考慮する必要がある。

「基本金組入率」= 基本金組入額 ÷ 事業活動収入 × 100

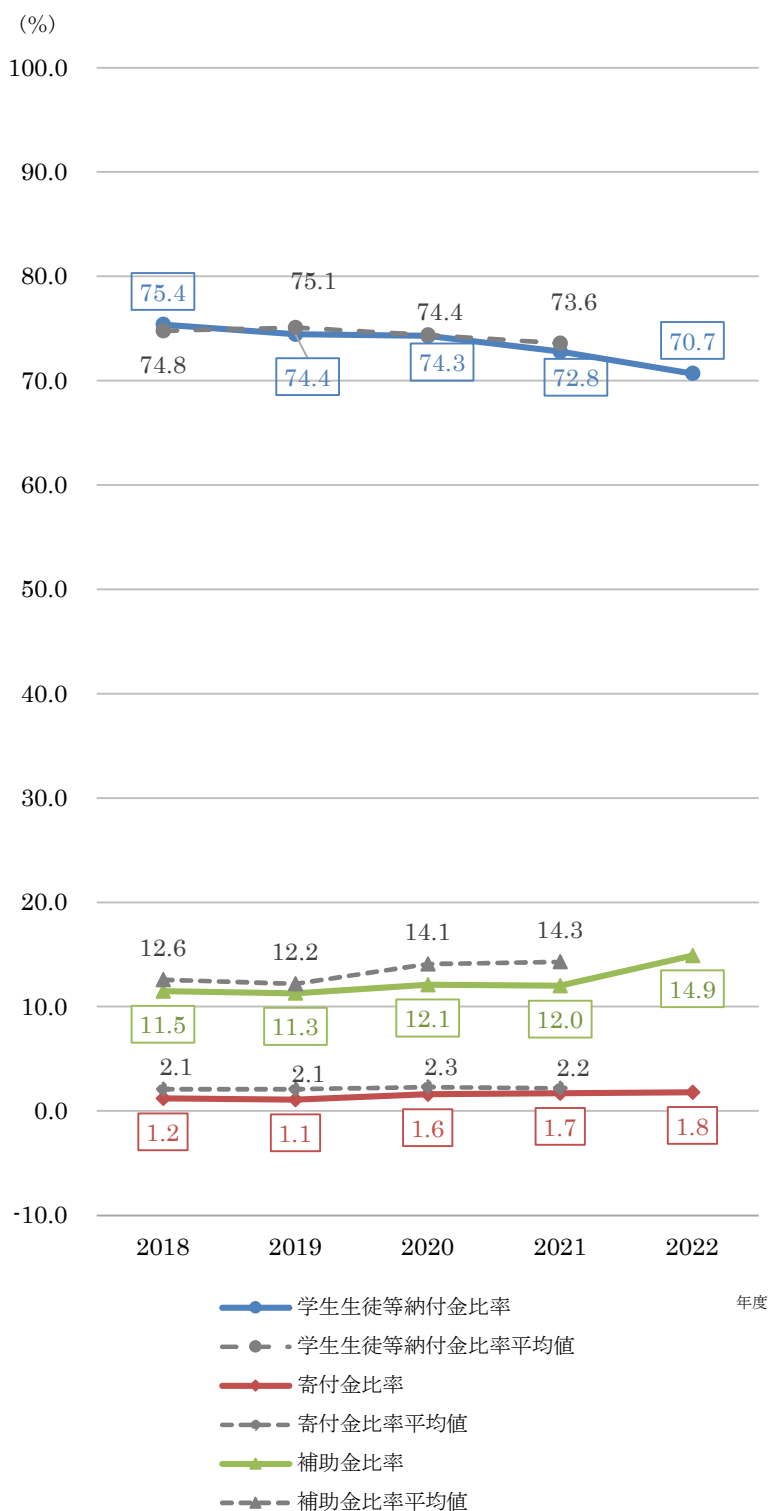
○大規模な施設の取得等を単年度に集中して行った場合、一時的にこの比率が上昇する。

「繰越収支差額構成比率」= 繰越収支差額 ÷ (総負債 + 純資産) × 100

○繰越収支差額は、毎会計年度の当年度収支差額が累積されたもので、学校法人の収支均衡状態を示す重要な指標であり、収支均衡を示す0%前後であることが望ましい。ただし、繰越収支差額は、主に基本金組入額の影響を受けるため、基本金組入内容や中長期的な事業計画と合わせて評価する必要がある。

- 基本金組入後収支比率は、収支が均衡する100%よりも低い水準(収入超過)で推移しています。基本金組入率は、全国平均値よりも低い水準です。繰越収支差額構成比率は、0%以下で全国平均値よりも低い水準ですが、学園の財政に係る数値目標(①と③)の達成に伴い、改善が見られます。なお、今後、大規模な施設の取得時に悪化することが予想されます。

(6) 学生生徒等納付金比率、寄付金比率、補助金比率



「学生生徒等納付金比率」＝ 学生生徒等納付金 ÷ 経常収入 × 100

○事業活動収入の中で最大の割合を占めており、補助金や寄付金と比べて外部要因に影響されることがない自己財源であることから、安定的に推移することが望ましい。なお、この比率が高いほど、学生生徒等納付金の依存度が高く、収入源の多様化が課題となる。

「寄付金比率」＝ 寄付金（特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付含む）÷ 事業活動収入 × 100

○一定水準の寄付金収入を継続して確保することが経営の安定のために好ましい。

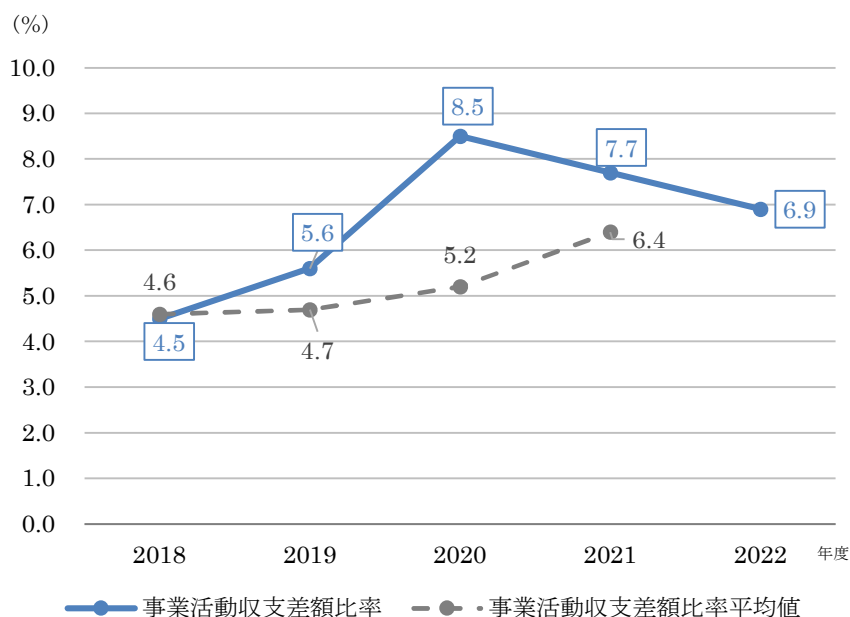
「補助金比率」＝ 補助金（特別収支の施設設備補助金含む）÷ 事業活動収入 × 100

○学校法人の教育研究活動や管理運営機能、また、教育研究に係る環境の整備、安全性の確保等の支援を目的として交付される資金であり、この比率が高いということは自助努力による多様な取り組みが評価されている表れでもあるが、補助金は、国や地方公共団体の補助金政策の動向に影響を受けることから、他の収入の比率と合わせて評価する必要がある。

● 学生生徒等納付金比率は、全国平均値に近い値です。

寄付金比率及び補助金比率は、全国平均値よりも低い水準で推移しています。

(7) 事業活動収支差額比率

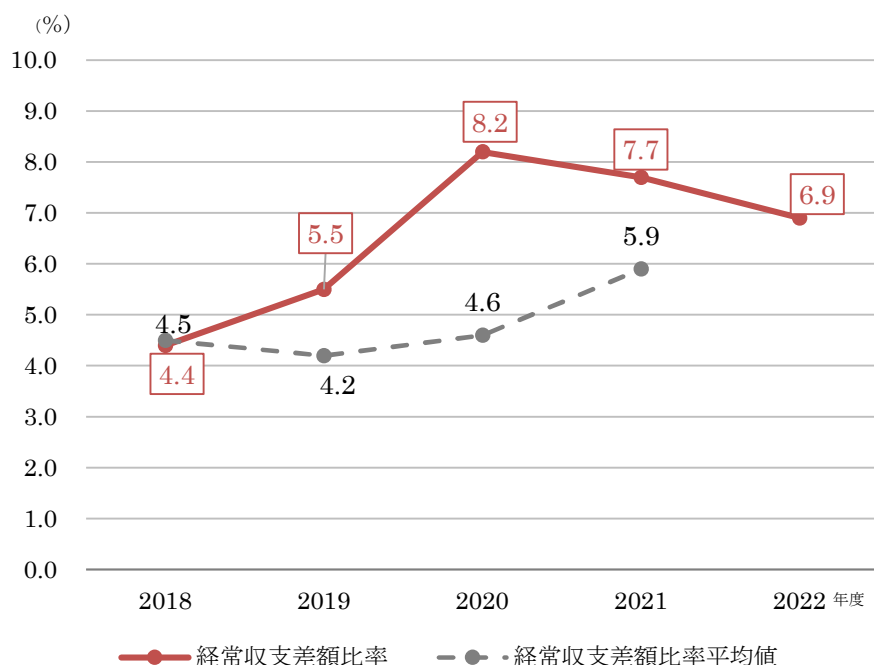


「事業活動収支差額比率」＝ 基本  
基金組入前当年度収支差額 ÷ 事業  
活動収入 × 100

○臨時的な要素も含めた毎年度の  
収支バランスを測る指標。この比  
率がマイナスであることは、当年  
度の事業活動収入で事業活動支  
出を賄うことができない状況であ  
り、経営が圧迫されており、将来  
の資金繰りに支障をきたす可能性  
を示唆している。この比率のプ  
ラスが大きいほど、自己資金が充  
実し、財政面での将来的な余裕に  
つながることを示唆し、プラスの  
範囲内で基本基金組入額が収まる  
ことが望ましい。

●学園の財政に係る数値目標（主に③）の達成に伴い、全国平均値より高い水準に改善しています。

(8) 経常収支差額比率



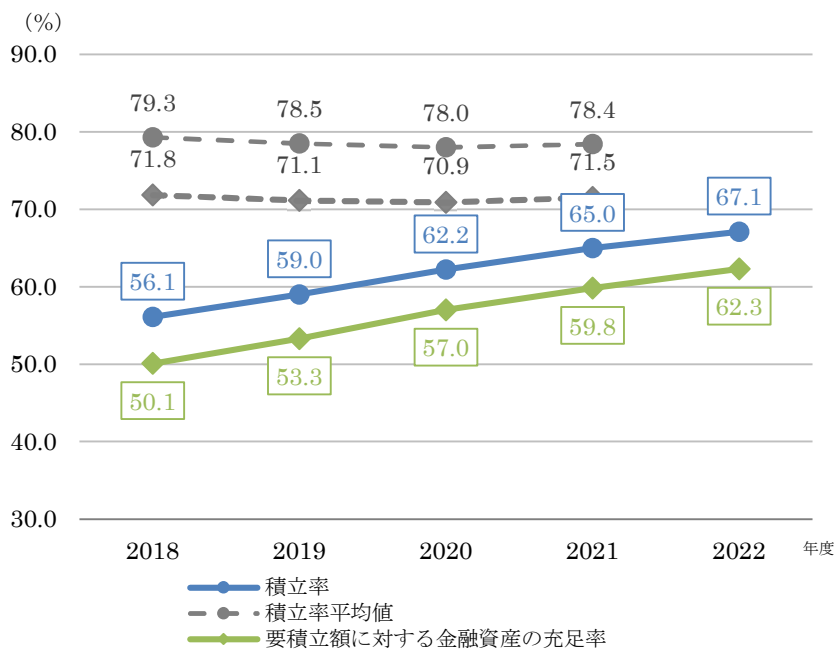
「経常収支差額比率」＝ 経常収支  
差額 ÷ 経常収入 × 100

○臨時的な要素を除いた経常的な活  
動に関する収支に着目した収支バ  
ランスを測る比率。経営の健全性を  
測る重要な指標で、この比率がプ  
ラスで大きいほど経常的な収支は  
安定していることを表し、経営に  
余裕があると考えられ、施設設備  
の取替更新や新規投資に向けた資  
金を確保できることになる。逆  
に、支出超過の場合は、財政が  
逼迫していることを表しており、  
早急な改善が求められる。

●学園の財政に係る数値目標（主に③）の達成に伴い、全国平均値より高い水準に改善しています。



(9) 積立率、要積立額に対する金融資産の充足率



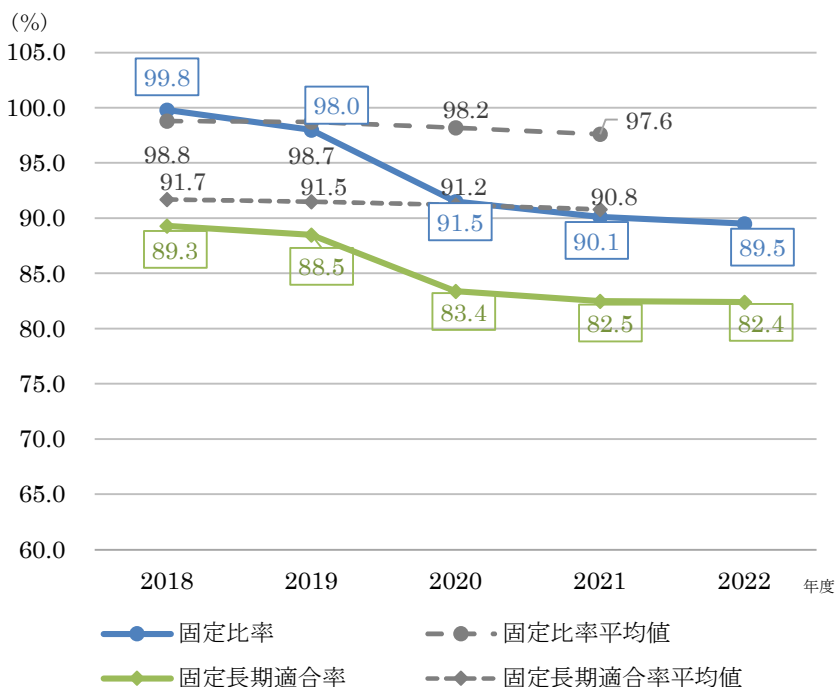
「積立率」=  $\frac{\text{運用資産(特定資産} + \text{有価証券} + \text{現金預金})}{\text{要積立額(減価償却累計額(有形固定資産) + \text{退職給与引当金} + \text{第2,3号基本金})}} \times 100$

「要積立額に対する金融資産の充足率」=  $\frac{\text{金融資産(特定資産} + \text{有価証券} + \text{現金預金} + \text{未収入金})}{\text{要積立額(減価償却累計額} + \text{退職給与引当金} + \text{借入金} + \text{未払金} \cdot \text{割賦金} + \text{第2,3,4号基本金})}} \times 100$

○経営を持続的かつ安定的に継続するために必要となる運用資産や金融資産の保有状況を測る比率。一般的に高い方が望ましい。

●積立率及び要積立額に対する金融資産の充足率ともに、全国平均値よりも低い水準ですが、学園の財政に係る数値目標（主に①）の達成に伴い、改善傾向にあります。なお、今後、大規模な施設の取得時に悪化することが予想されます。

(10) 固定比率、固定長期適合率



「固定比率」=  $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}} \times 100$

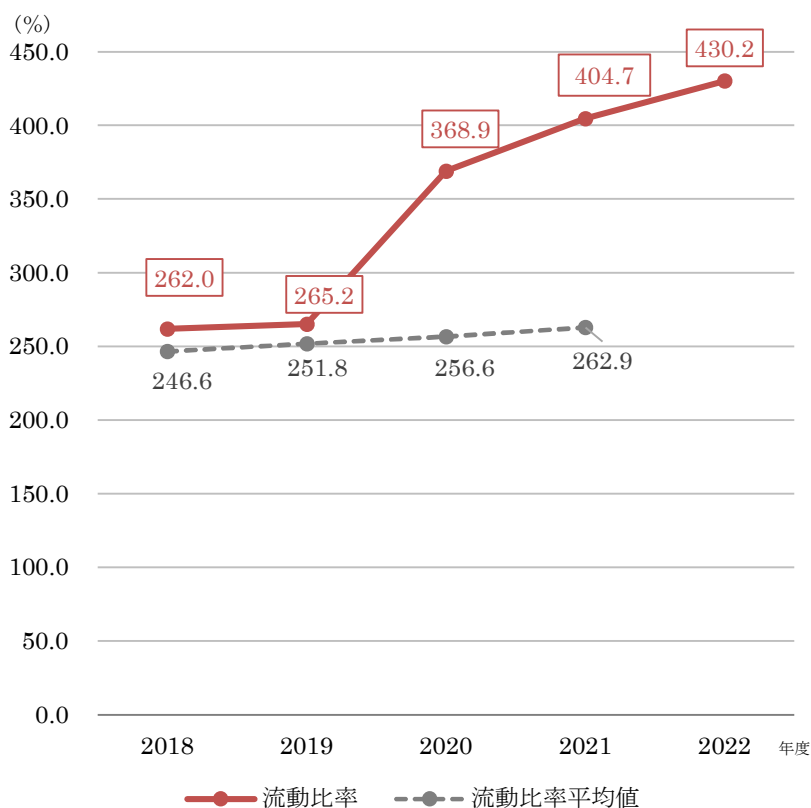
○土地・建物・施設等の固定資産に対して、どの程度純資産が投下されているか、すなわち、資金の調達源泉とその使途を対比させる比率である。本来投下資金は自己資金を充てることが望ましく、借入金等の外部資金を投下資金とした場合、この比率が100%を超える。

「固定長期適合率」=  $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}} \times 100$

○この比率が100%を超えた場合、固定資産の調達源泉に短期借入金等の流動負債を導入していると解することができ、財政の安定性に欠けることを示すこととなり、100%以下で低いほど、理想的とされる。

●固定比率は、学園の財政に係る数値目標（主に①）の達成に伴い、全国平均値よりも低い水準に改善しています。同様の理由で、固定長期適合率も改善傾向にあります。なお、いずれの財務指標についても、今後、大規模な施設の取得時に悪化することが予想されます。

## (11) 流動比率



「流動比率」 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

○1年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているか、短期的な支払能力を判断する指標である。一般的に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなし、100%を切っている場合、資金繰りに窮しているとみなしている。ただし、将来に備えて引当特定資産に資金を留保している場合もあり、当該資産の積立状況も考慮して評価する必要がある。

- 200%以上を維持して推移しています。学園の財政に係る数値目標（主に①）の達成に伴い、全国平均値よりも高い水準に上昇しています。

(12) 財務比率の推移

| 区分          | 比率名              | 算式                                              | 2018年度           | 2019年度           | 2020年度           | 2021年度           | 2022年度 |
|-------------|------------------|-------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 事業活動収支計算書関係 | 人件費比率            | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$                | 46.6<br>(53.0)   | 47.5<br>(53.2)   | 47.1<br>(51.8)   | 47.0<br>(51.3)   | 44.2   |
|             | 人件費依存率           | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$            | 61.9<br>(70.9)   | 63.9<br>(70.8)   | 63.4<br>(69.6)   | 64.6<br>(69.7)   | 63.0   |
|             | 教育研究経費比率         | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$             | 40.0<br>(33.4)   | 38.2<br>(33.5)   | 36.4<br>(35.2)   | 37.0<br>(34.3)   | 40.5   |
|             | 管理経費比率           | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$               | 8.6<br>(8.8)     | 8.4<br>(8.9)     | 8.0<br>(8.2)     | 8.0<br>(8.3)     | 8.1    |
|             | 借入金等利息比率         | $\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$             | 0.4<br>(0.2)     | 0.3<br>(0.2)     | 0.3<br>(0.1)     | 0.3<br>(0.1)     | 0.2    |
|             | 基本金組入後収支比率       | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$    | 98.5<br>(107.0)  | 98.0<br>(107.0)  | 95.1<br>(105.8)  | 96.7<br>(104.1)  | 94.2   |
|             | 学生生徒等納付金比率       | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$           | 75.4<br>(74.8)   | 74.4<br>(75.1)   | 74.3<br>(74.4)   | 72.8<br>(73.6)   | 70.7   |
|             | 寄付金比率            | $\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$              | 1.2<br>(2.1)     | 1.1<br>(2.1)     | 1.6<br>(2.3)     | 1.7<br>(2.2)     | 1.8    |
|             | 補助金比率            | $\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$              | 11.5<br>(12.6)   | 11.3<br>(12.2)   | 12.1<br>(14.1)   | 12.0<br>(14.3)   | 14.9   |
|             | 基本金組入率           | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$           | 3.1<br>(10.8)    | 3.6<br>(10.9)    | 3.8<br>(10.4)    | 4.6<br>(10.1)    | 1.1    |
|             | 事業活動収支差額比率       | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$    | 4.5<br>(4.6)     | 5.6<br>(4.7)     | 8.5<br>(5.2)     | 7.7<br>(6.4)     | 6.9    |
|             | 経常収支差額比率         | $\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$             | 4.4<br>(4.5)     | 5.5<br>(4.2)     | 8.2<br>(4.6)     | 7.7<br>(5.9)     | 6.9    |
| 貸借対照表関係     | 有形固定資産構成比率       | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$              | 63.8<br>(59.9)   | 60.6<br>(59.6)   | 57.3<br>(59.1)   | 54.6<br>(58.3)   | 52.5   |
|             | 特定資産構成比率         | $\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$                | 19.5<br>(22.2)   | 21.7<br>(22.4)   | 20.8<br>(22.4)   | 23.0<br>(22.9)   | 25.4   |
|             | 流動資産構成比率         | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$                | 16.2<br>(13.2)   | 17.2<br>(13.3)   | 21.5<br>(13.7)   | 22.0<br>(14.1)   | 21.8   |
|             | 固定比率             | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$                | 99.8<br>(98.8)   | 98.0<br>(98.7)   | 91.5<br>(98.2)   | 90.1<br>(97.6)   | 89.5   |
|             | 固定長期適合率          | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$  | 89.3<br>(91.7)   | 88.5<br>(91.5)   | 83.4<br>(91.2)   | 82.5<br>(90.8)   | 82.4   |
|             | 流動比率             | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$               | 262.0<br>(246.6) | 265.2<br>(251.8) | 368.9<br>(256.6) | 404.7<br>(262.9) | 430.2  |
|             | 総負債比率            | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$                 | 16.0<br>(12.2)   | 15.5<br>(12.2)   | 14.2<br>(12.1)   | 13.4<br>(12.0)   | 12.6   |
|             | 負債比率             | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$                 | 19.1<br>(13.9)   | 18.4<br>(13.8)   | 16.6<br>(13.8)   | 15.5<br>(13.6)   | 14.4   |
|             | 純資産構成比率          | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$    | 84.0<br>(87.8)   | 84.5<br>(87.8)   | 85.8<br>(87.9)   | 86.6<br>(88.0)   | 87.4   |
|             | 繰越収支差額構成比率       | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | △34.1<br>(△14.3) | △33.3<br>(△14.9) | △31.8<br>(△15.3) | △30.6<br>(△15.2) | △28.9  |
|             | 積立率              | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$               | 56.1<br>(79.3)   | 59.0<br>(78.5)   | 62.2<br>(78.0)   | 65.0<br>(78.4)   | 67.1   |
|             | 要積立額に対する金融資産の充足率 | 注2参照                                            | 50.1<br>(71.8)   | 53.3<br>(71.1)   | 57.0<br>(70.9)   | 59.8<br>(71.5)   | 62.3   |

注) 1. ( ) 内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」(日本私立学校振興・共済事業団編)に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 要積立額に対する金融資産の充足率の算出方法は下記のとおり。

$$\frac{\text{現金預金} + \text{特定資産} + \text{有価証券(固・流)} + \text{未収入金}}{\text{減価償却累計額} + \text{退職給与引当金} + 2 \cdot 3 \cdot 4 \text{号基本金} + \text{借入金} + \text{未払金}}$$

## 4. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

### (1) 経営状況の分析

2022 年度における財政基盤の安定性を把握することができる「純資産構成比率」は 87.4%であり、医歯系法人を除く私立大学を設置している学校法人の平均値(以下「平均値」という。)である 88.0%(2021 年度)を下回っていますが、近年は改善傾向にあります。また、収支の状況を把握することができる「事業活動収支差額比率」も同様に近年改善傾向にあり、2022 年度においては、平均値である 6.4%(2021 年度)を上回る 6.9%となっています。

### (2) 経営上の成果と課題

財政基盤の安定化策の一環として、2016 年度において、財務に係る 3 つの数値目標を設定しました。そして、設定後の毎年度において、数値目標を達成する結果となっています。一方で、教育研究目的・目標を持続的かつ安定的に実現するために必要となる運用資産の保有状況を把握する「積立率」は、平均値である 78.4%(2021 年度)を下回る 67.1 %となっています。加えて、長期的な収支の状況を把握することができる「繰越収支差額構成比率」は、近年改善傾向にあるものの平均値である▲15.2%(2021 年度)を大きく下回る▲28.9%であり、実数としても▲86 億円という状況であることから、長期的な課題となっています。

### (3) 今後の方針・対応方策

2023 年度以降については、第 4 期中期目標・中期計画に基づき、「財政に関する長期推計」の計画的実施を行い、今後の学園経営の健全性や数値目標の見通しの検証を行う際に、キャンパスマスタープラン第Ⅳ期(改訂版)や資金運用計画等のベース資料として活用し、教育研究目的・目標を持続的かつ安定的に実現するため、財政基盤の安定化を図っていきます。